

益田市 子ども・子育て支援に関する調査
結果報告書

令和6年7月
島根県 益田市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査期間	1
3 調査概要	1
4 報告書を見る際の注意	1
II. 小学校就学前児童保護者アンケート調査結果	2
1 お住まいの地域について	2
(1) 居住地区	2
2 子どもと家族の状況について	2
(1) 子どもの年齢	2
(2) きょうだいの人数	3
(3) 回答者	3
(4) 配偶者の有無	4
(5) 子育ての主な担い手	4
3 子どもの育ちをめぐる環境について	5
(1) 子育てに日常的に関わる方	5
(2) 子育てに最も影響すると思われる環境	5
(3) 日頃子どもをみてもらえる親族・知人	6
(4) 親族や知人に子どもをみてもらっている状況	7
(5) 気軽に相談できる相手	8
4 保護者の就労状況について	9
(1) 就労形態	9
(2) 普段の就労時間	10
(3) 普段の就労時間帯	11
(4) フルタイム就労への転換希望	12
(5) フルタイム就労への転換希望時期	14
5 子どもの平日の「定期的」な教育・保育の利用状況について	15
(1) 平日の定期的な事業の利用状況	15
(2) 利用中の教育・保育の事業の実施場所	20
(3) 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由	21
(4) 教育・保育事業を利用できていない・していない理由	22
(5) 定期的に利用したい平日の教育・保育事業	23
(6) 市内以外で教育・保育事業を利用したい市町村	24
(7) 特に幼稚園の利用を強く希望するか	25
6 子どもの地域の子育て支援事業の利用状況について	26
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況	26
(2) 地域子育て支援拠点事業のサービスについて	27
7 子どもの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	31

(1) 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望	31
(2) 日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	32
(3) 土曜・休日にたまに利用したい理由	33
(4) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	34
(5) 長期休暇中たまに利用したい理由	35
8 子どもの病気やけがの際の対応について	36
(1) 子どもが傷病の場合の1年間の対処方法	36
(2) 子どもが傷病の際に希望する対処法	38
(3) 子どもが傷病の際に利用したい病児・病後児のための保育事業	39
(4) 病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由	40
9 不定期の一時預かり等の利用について	41
(1) 不定期に利用している事業	41
(2) 不定期的な事業を利用していない理由	42
(3) 短期入所生活援助事業の利用を希望する理由	43
(4) 子どもを不定期に預ける場合に望ましい事業形態	44
10 育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援について	45
(1) 育児休業制度や短時間勤務制度の利用状況	45
(2) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由	46
(3) 育児休業取得後の職場復帰	48
(4) 育児休業から職場復帰のタイミング	49
(5) 職場復帰時の子どもの年齢	51
(6) 育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望期間	53
(7) 子どもが1歳になった時に必ず利用できる事業があった場合の職場復帰	54
(8) 育児休業給付、保険料免除についての認知	55
11 子どもや若者の意見反映について	56
(1) 市に対して意見を伝えやすい方法	56
12 さいごに	58
(1) 子育て環境や支援への満足度	58
Ⅲ. 小学校就学児童保護者アンケート調査結果	59
1 お住まいの地域について	59
(1) 居住地区	59
2 子どもと家族の状況について	59
(1) 子どもの年齢	59
(2) きょうだいの人数	60
(3) 末っ子の年齢	60
(4) 回答者	61
(5) 配偶者の有無	61
(6) 子育ての主な担い手	61
3 子どもの育ちをめぐる環境について	62
(1) 子育てに日常的に関わる方	62

(2) 子育てに最も影響すると思われる環境.....	62
(3) 日頃子どもをみてもらえる親族・知人.....	63
(4) 親族や知人に子どもをみてもらっている状況.....	64
(5) 気軽に相談できる相手.....	65
(6) 子どもが参加している地域の催し.....	66
4 保護者の就労状況について.....	67
(1) 就労形態.....	67
(2) 普段の就労時間.....	68
(3) 普段の就労時間帯.....	69
(4) フルタイム就労への転換希望.....	70
(5) フルタイム就労への転換希望時期.....	71
5 子どもの病気やけがの際の対応について.....	72
(1) 子どもが傷病の場合の1年間の対処方法.....	72
(2) 子どもが傷病の際に希望する対処法.....	74
(3) 子どもが傷病の際に利用したい病児・病後児のための保育事業.....	75
(4) 病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由.....	76
6 不定期の一時預かり等の利用について.....	77
(1) 短期入所生活援助事業の利用を希望する理由.....	77
7 放課後等の過ごし方について.....	78
(1) 子どもが放課後や休日に過ごす場所.....	78
(2) 休日の学童保育の利用希望.....	90
8 子どもや若者の意見反映について.....	93
(1) 市に対して意見を伝えやすい方法.....	93
9 さいごに.....	95
(1) 子育て環境や支援への満足度.....	95
IV. 自由回答.....	96
1 小学校就学前児童保護者.....	96
(1) 子育てをする上で周囲に望むサポート.....	96
(2) 子育て環境や支援に関するご意見.....	100
2 小学校就学児童保護者.....	101
(1) 子育てをする上で周囲に望むサポート.....	101
(2) 子育て環境や支援に関するご意見.....	105
V. 調査結果からみた課題.....	107
(1) 子どもの育ちをめぐる環境について.....	107
(2) 保護者の就労状況について.....	107
(3) 子どもの「定期的」な教育・保育の利用状況について.....	107
(4) 不定期の一時預かり等の利用について.....	107
(5) 地域子育て支援事業の認知とニーズについて.....	108
(6) 子どもの病気やけがの際の対応について.....	108

(7) 放課後児童クラブ（学童保育）の利用について.....	108
(8) 職場の両立支援制度について.....	108
(9) 子どもや若者の意見反映について.....	109
(10) 子育て環境や支援への満足度について.....	109

I. 調査の概要

1 調査目的

本調査は、こども基本法第10条に基づく「(仮称) 益田市こども計画」策定の基礎資料として、本市のこども・若者及び子育て当事者の現状と課題を把握することを目的として実施しました。

2 調査期間

令和6年4月～5月

3 調査概要

子ども・子育て支援に関する調査			
調査対象者	市内の就学前児童の保護者		市内の小学生（小学1～6年生）の保護者
調査方法	紙アンケート		紙アンケート
アンケート実施方法	郵送による配布・回収	保育施設での配布・回収	郵送による配布・回収
配布数	246人	915人	1,576人
	合計：1,161人		
回収数	88人	599人	609人
	合計：687人		
回収率	35.8%	65.5%	38.6%
	合計：59.2%		

※本調査においては、対象別に次の2種類のアンケート調査を実施しました。就学前児童と小学生の両者がいる世帯には、それぞれ配布し、また、就学前児童同士のきょうだい、小学生同士のきょうだいがいる場合には下の児童の状況について回答を求めました。

4 報告書を見る際の注意

- ・図表中の「n=○」とは、集計対象者総数（または分類別の該当対象者数）を示しています。
- ・調査結果の比率は百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答については、合計が100%を超える場合があります。
- ・グラフに関して、主に単純集計を単数回答は帯グラフ、複数回答は棒グラフとしていますが、選択肢の多い単数回答は棒グラフとし、年齢や日数等、数量で回答していただいた設問については、階級順の棒グラフ、あるいは表としてまとめています。また、帯グラフにおいては0.0%の表記を省略しています。棒グラフにおいては「その他」「わからない」「特になし」などの選択肢に該当しない、あるいは具体的な内容を含まないという選択肢を除き、割合による降順となっています。なお、集計対象者総数（n）が10人以下の場合は、グラフ等による割合の表記はせず、表により人数を記しています。表に色が付いている場合は、横の項目でみて最も高い割合となっています。
- ・集計結果において、回答者を限定する設問などによっては該当者が少なくなり、割合が偏る、あるいは分散することがあります。そのため、集計対象者総数（全体）が10人以下の場合は、コメントしておりません。

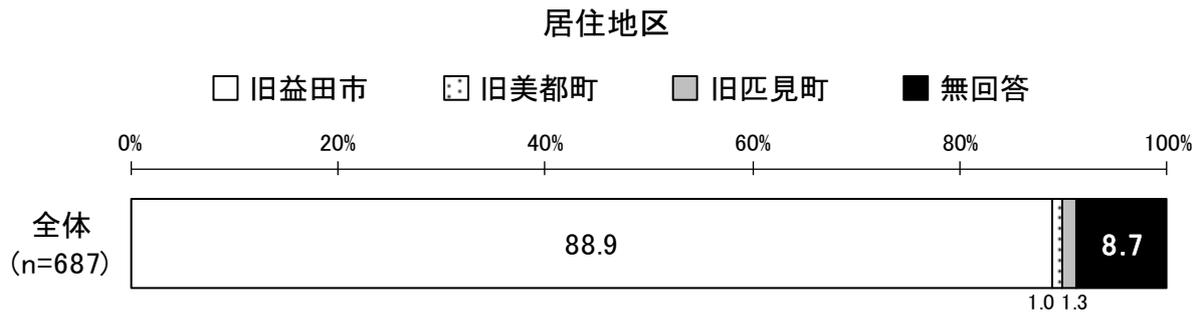
Ⅱ. 小学校就学前児童保護者アンケート調査結果

1 お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区名を記入してください。

居住地区については、全体では「旧益田市」の割合が88.9%で最も高く、次いで「旧匹見町」(1.3%)、「旧美都町」(1.0%)の順となっています。

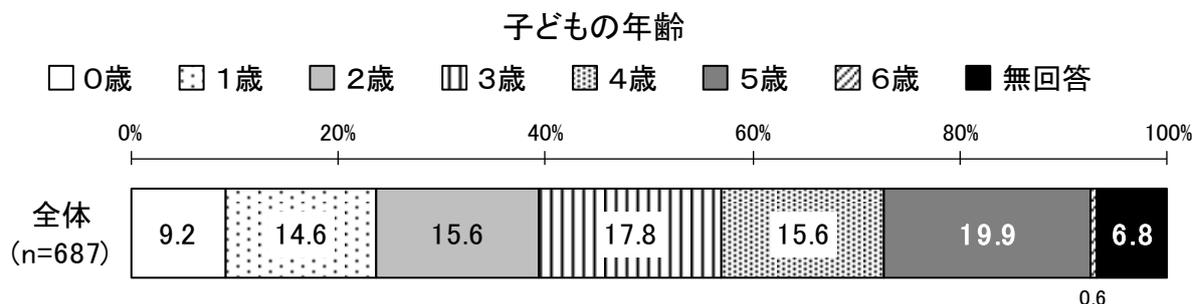


2 子どもと家族の状況について

(1) 子どもの年齢

問2 お子さんの年齢(令和6年4月2日時点※)をお答えください。(当てはまるもの1つに○) ※令和6年4月2日以降に生まれたお子さんは「1.0歳」と答えください。

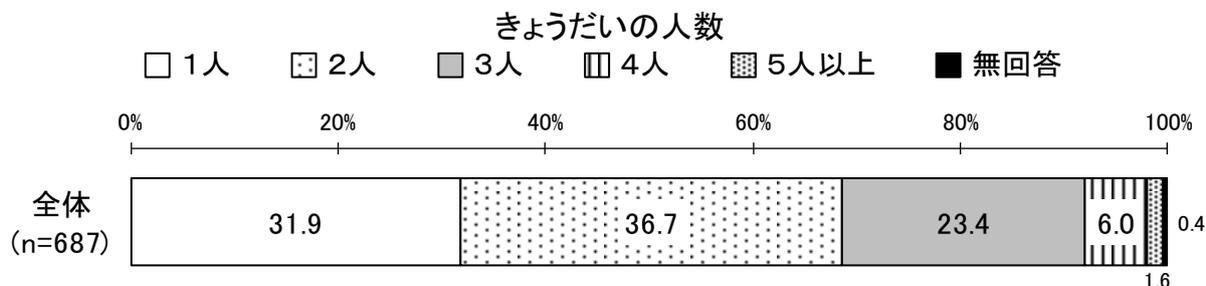
子どもの年齢については、全体では「5歳」の割合が19.9%で最も高く、次いで「3歳」(17.8%)、「2歳」「4歳」(同率15.6%)、「1歳」(14.6%)、「0歳」(9.2%)、「6歳」(0.6%)の順となっています。



(2) きょうだいの人数

問3 お子さんのきょうだいの数（調査対象のお子さんを含めた人数）をお答えください。
（当てはまるもの1つに○）

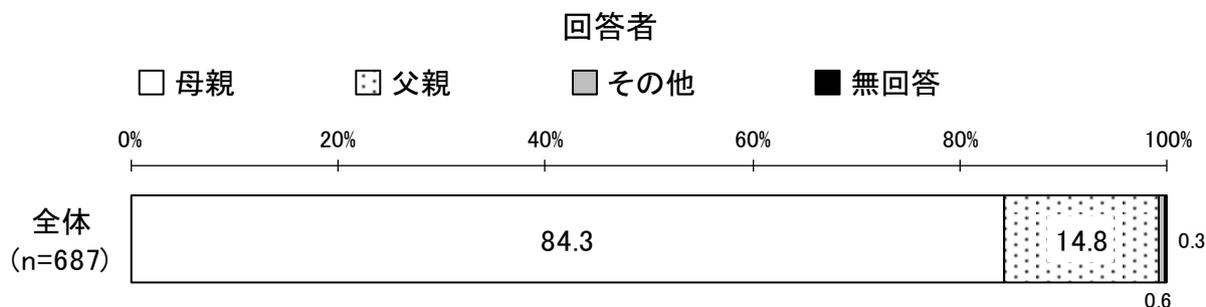
きょうだいの人数については、全体では「2人」の割合が36.7%で最も高く、次いで「1人」（31.9%）、「3人」（23.4%）、「4人」（6.0%）、「5人以上」（1.6%）の順となっています。



(3) 回答者

問4 この調査にご回答いただく方はどなたですか。（当てはまるもの1つに○）

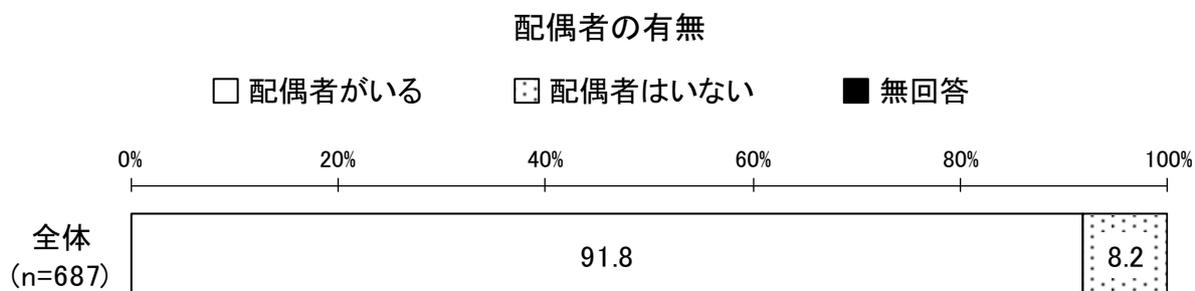
回答者については、全体では「母親」の割合が84.3%で最も高く、次いで「父親」（14.8%）、「その他」（0.6%）の順となっています。



(4) 配偶者の有無

問5 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(当てはまるもの1つに○)

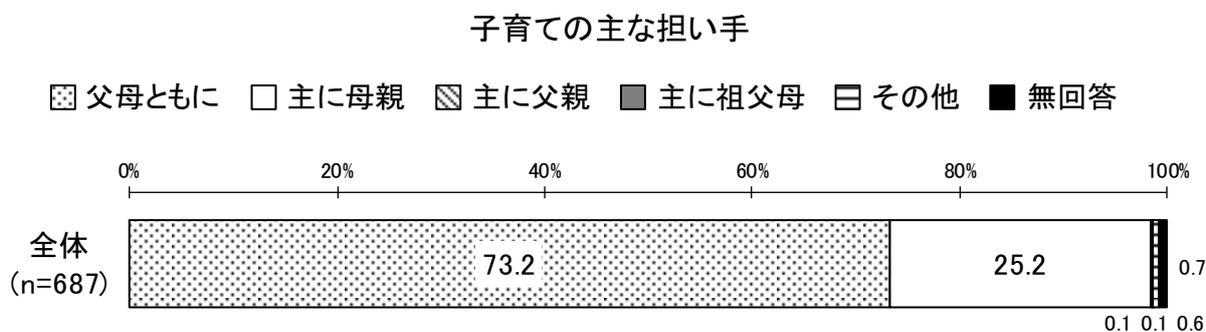
配偶者の有無については、全体では「配偶者がいる」の割合が91.8%を占めており、一方、「配偶者はいない」の割合は8.2%となっています。



(5) 子育ての主な担い手

問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方をお答えください。(当てはまるもの1つに○)

子育ての主な担い手については、全体では「父母ともに」の割合が73.2%で最も高く、次いで「主に母親」(25.2%)、「主に父親」(0.1%)、「主に祖父母」(0.1%)などの順となっています。

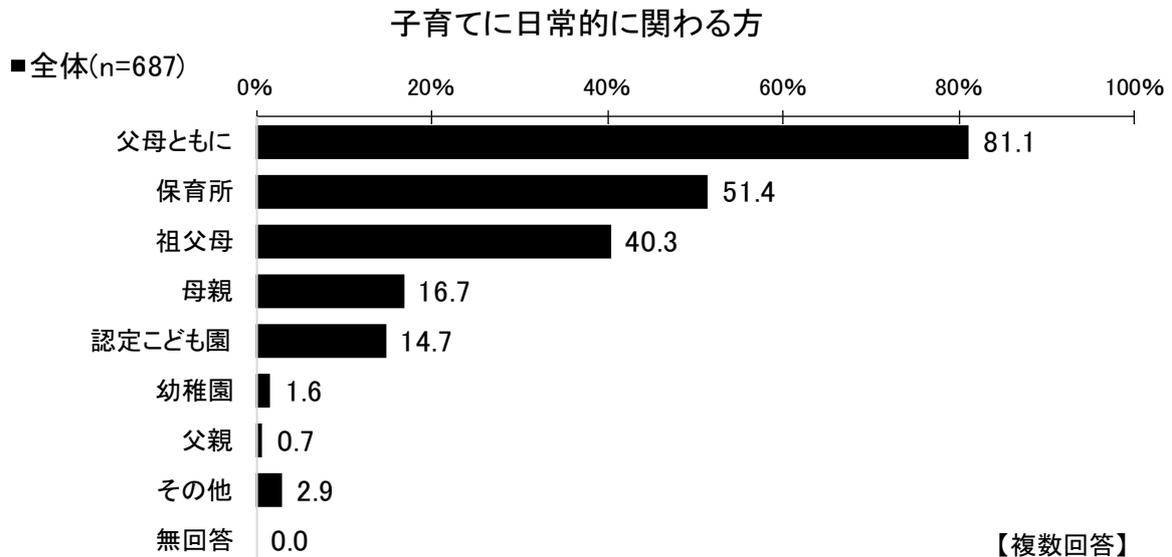


3 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わる方

問7 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（どこ）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（当てはまるものすべてに○）

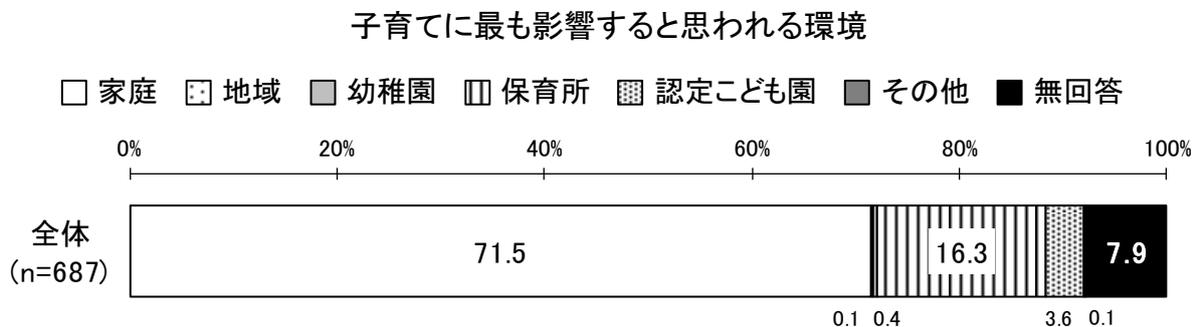
子育てに日常的に関わる方については、全体では「父母ともに」の割合が81.1%で最も高く、次いで「保育所」（51.4%）、「祖父母」（40.3%）などの順となっています。



(2) 子育てに最も影響すると思われる環境

問8 お子さんの子育て（教育を含む）に、最も影響すると思われる環境についてお答えください。（当てはまるもの1つに○）

子育てに最も影響すると思われる環境については、全体では「家庭」の割合が71.5%で最も高く、次いで「保育所」（16.3%）、「認定こども園」（3.6%）などの順となっています。



(3) 日頃子どもをみてもらえる親族・知人

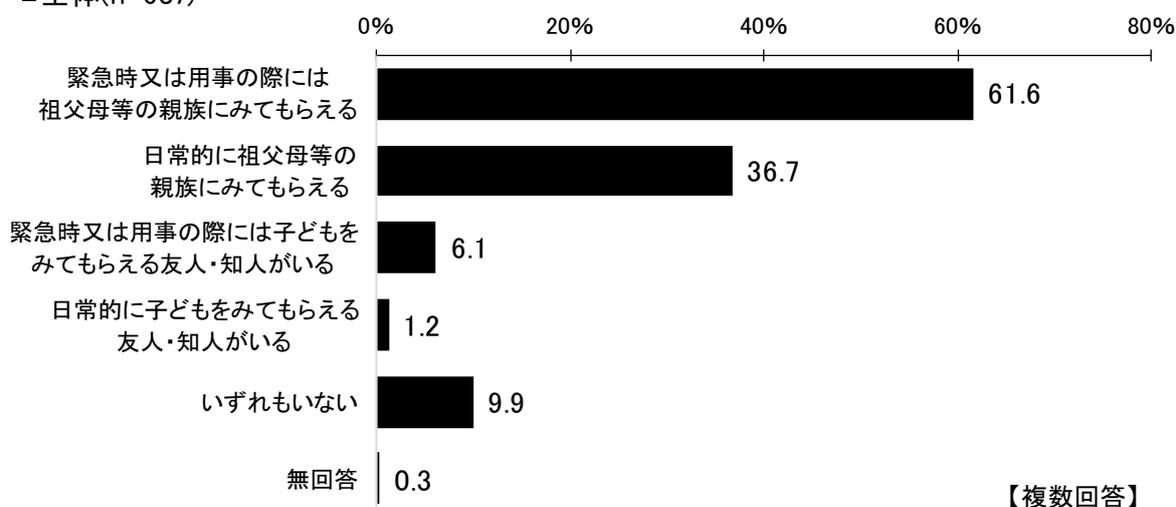
問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(当てはまるものすべてに○)

日頃子どもをみてもらえる親族・知人については、全体では「緊急時又は用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が61.6%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(36.7%)、「緊急時又は用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(6.1%)などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、『0歳』では「緊急時又は用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合が全体に比べて13ポイント高くなっています。

日頃子どもをみてもらえる親族・知人

■全体(n=687)



日頃子どもをみてもらえる親族・知人／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体(n)	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時又は用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時又は用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
全体	687	36.7	61.6	1.2	6.1	9.9	0.3
0歳	63	39.7	74.6	3.2	7.9	6.3	0.0
1歳	100	32.0	57.0	1.0	4.0	14.0	1.0
2歳	107	34.6	61.7	1.9	6.5	12.1	0.0
3歳	122	31.1	59.8	0.0	5.7	13.1	0.0
4歳	107	34.6	60.7	0.0	4.7	11.2	0.0
5～6歳	141	41.1	61.0	0.7	7.1	5.7	0.7

(4) 親族や知人に子どもをみてもらっている状況

【問9で「いずれもない」以外を選んだ方にうかがいます。】

問9-1 親族や知人（お相手）にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（当てはまるもの1つに○）

親族や知人に子どもをみてもらっている状況については、全体では「相手の負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が63.7%で最も高く、次いで「相手の金銭的・体力的負担や時間的制約が大きく心苦しい」（27.7%）、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」（3.4%）などの順となっています。

親族や知人に子どもをみてもらっている状況

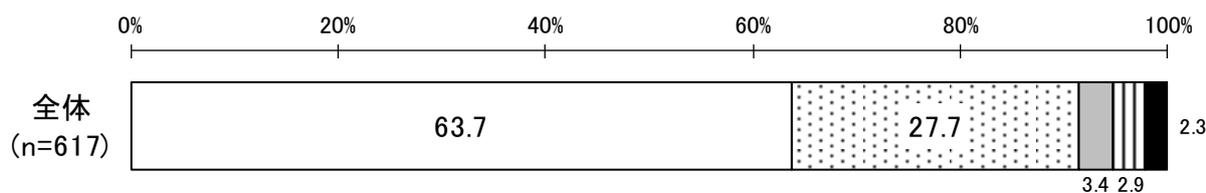
相手の負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる

相手の金銭的・体力的負担や時間的制約が大きく心苦しい

子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある

その他

無回答



親族や知人に子どもをみてもらっている状況／子どもの年齢別

(単位：%)

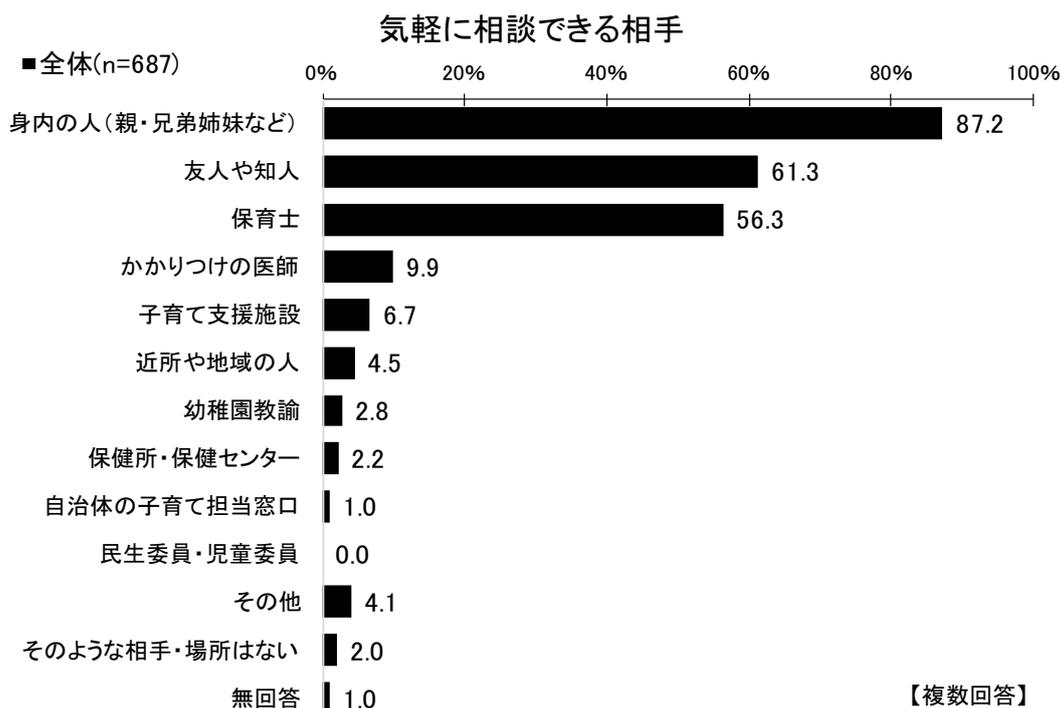
	全体 (n)	相手の負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	相手の金銭的・体力的負担や時間的制約が大きく心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答
全体	617	63.7	27.7	3.4	2.9	2.3
0歳	59	64.4	27.1	1.7	3.4	3.4
1歳	85	70.6	24.7	1.2	1.2	2.4
2歳	94	60.6	30.9	4.3	3.2	1.1
3歳	106	60.4	30.2	5.7	1.9	1.9
4歳	95	67.4	23.2	4.2	3.2	2.1
5～6歳	132	62.1	28.8	1.5	5.3	2.3

(5) 気軽に相談できる相手

問10 子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所は誰（どこ）ですか。
（当てはまるものすべてに○）

気軽に相談できる相手については、全体では「身内の人（親・兄弟姉妹など）」の割合が87.2%で最も高く、次いで「友人や知人」（61.3%）、「保育士」（56.3%）などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、『0歳』では全体に比べて「子育て支援施設」が13.9ポイント高く、「保育士」が26.1ポイント低くなっています。また、『3歳』では「保育士」と回答した割合が全体に比べて12.6ポイント高くなっています。



気軽に相談できる相手／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	身内の人 (親・兄弟姉妹など)	友人や知人	近所や地域の人	子育て支援施設	保健所・保健センター	保育士	幼稚園教諭
全体	687	87.2	61.3	4.5	6.7	2.2	56.3	2.8
0歳	63	96.8	63.5	3.2	20.6	1.6	30.2	0.0
1歳	100	90.0	63.0	3.0	9.0	1.0	62.0	1.0
2歳	107	87.9	64.5	5.6	7.5	3.7	56.1	3.7
3歳	122	85.2	56.6	3.3	5.7	2.5	68.9	3.3
4歳	107	85.0	66.4	5.6	2.8	3.7	54.2	3.7
5～6歳	141	82.3	59.6	5.0	3.5	1.4	57.4	3.5

	全体 (n)	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て担当窓口	その他	そのような相手・場所はない	無回答
全体	687	0.0	9.9	1.0	4.1	2.0	1.0
0歳	63	0.0	3.2	0.0	6.3	1.6	0.0
1歳	100	0.0	14.0	0.0	2.0	1.0	0.0
2歳	107	0.0	11.2	2.8	4.7	1.9	0.0
3歳	122	0.0	11.5	1.6	2.5	1.6	1.6
4歳	107	0.0	12.1	0.9	3.7	3.7	2.8
5～6歳	141	0.0	6.4	0.7	6.4	2.1	1.4

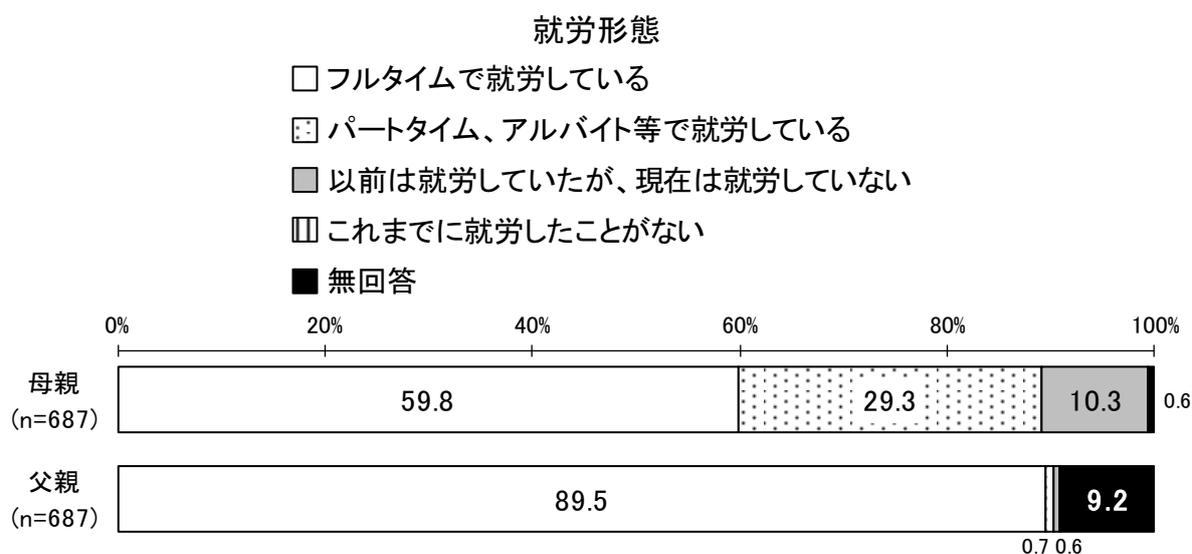
4 保護者の就労状況について

(1) 就労形態

問12・13 就労形態についてお答えください。(当てはまるもの1つに○)

就労形態については、母親・父親ともに「フルタイムで就労している」の割合が最も高く、母親が59.8%、父親が89.5%で、母親に比べて父親の割合が高くなっています。一方、母親では「パートタイム、アルバイト等で就労している」と回答した割合が29.3%で、父親に比べて高くなっています。

子どもの年齢別でみると、母親の『0歳』では「以前は就労していたが、現在は就労していない」と回答した割合が全体に比べて13.5ポイント高くなっています。



就労形態／子どもの年齢別

(単位：%)

		全体 (n)	フルタイムで就労している	パートタイム、アルバイト等で就労している	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまでに就労したことがない	無回答
母親	全体	687	59.8	29.3	10.3	0.0	0.6
	0歳	63	54.0	22.2	23.8	0.0	0.0
	1歳	100	57.0	30.0	12.0	0.0	1.0
	2歳	107	57.9	29.0	13.1	0.0	0.0
	3歳	122	67.2	27.0	5.7	0.0	0.0
	4歳	107	56.1	30.8	11.2	0.0	1.9
	5～6歳	141	61.0	34.8	4.3	0.0	0.0
父親	全体	687	89.5	0.7	0.6	0.0	9.2
	0歳	63	90.5	0.0	3.2	0.0	6.3
	1歳	100	93.0	0.0	0.0	0.0	7.0
	2歳	107	88.8	0.9	0.0	0.0	10.3
	3歳	122	87.7	2.5	0.0	0.0	9.8
	4歳	107	89.7	0.9	0.9	0.0	8.4
	5～6歳	141	86.5	0.0	0.7	0.0	12.8

(2) 普段の就労時間

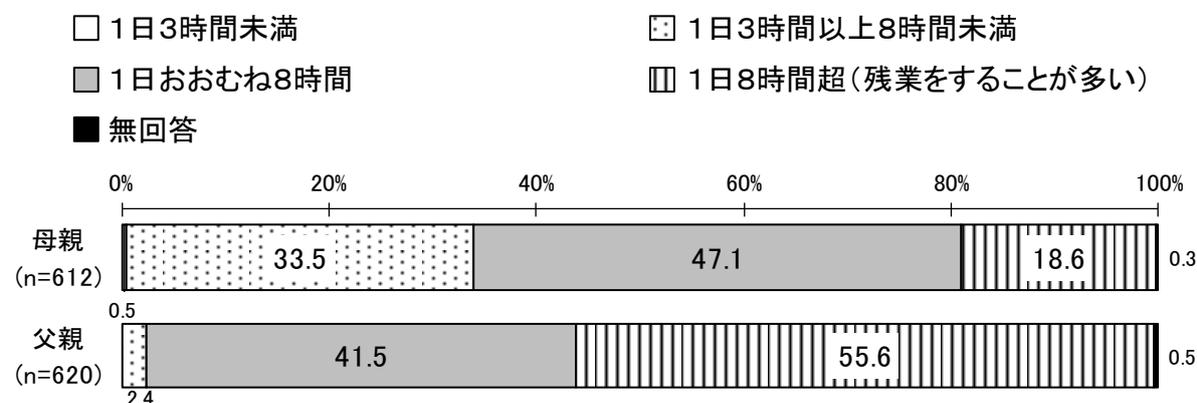
【問12・13で「フルタイムで就労している」「パートタイム、アルバイト等で就労している」を選んだ方にうかがいます。】

問12・13-1 普段の就労時間について、最も多いパターンをお答えください。（当てはまるもの1つに○）

普段の就労時間については、母親では「1日おおむね8時間」の割合が47.1%で最も高く、父親では「1日8時間超（残業をすることが多い）」の割合が55.6%で最も高くなっています。次いで母親では「1日3時間以上8時間未満」（33.5%）、父親では「1日おおむね8時間」（41.5%）が続き、父親は母親に比べて普段の就労時間が長くなっています。

子どもの年齢別でみると、母親の『0歳』では「1日3時間以上8時間未満」の割合が最も高く、それ以外の年齢では「1日おおむね8時間」の割合が最も高くなっています。一方、父親はすべての年齢で「1日8時間超（残業をすることが多い）」の割合が最も高くなっています。

普段の就労時間



普段の就労時間／子どもの年齢別

(単位：%)

		全体 (n)	1日3時間未満	1日3時間以上8時間未満	1日おおむね8時間	1日8時間超(残業をすることが多い)	無回答
母親	全体	612	0.5	33.5	47.1	18.6	0.3
	0歳	48	2.1	39.6	37.5	20.8	0.0
	1歳	87	1.1	35.6	41.4	20.7	1.1
	2歳	93	1.1	30.1	50.5	17.2	1.1
	3歳	115	0.0	27.0	52.2	20.9	0.0
	4歳	93	0.0	39.8	46.2	14.0	0.0
	5～6歳	135	0.0	36.3	45.2	18.5	0.0
父親	全体	620	0.0	2.4	41.5	55.6	0.5
	0歳	57	0.0	5.3	38.6	54.4	1.8
	1歳	93	0.0	0.0	45.2	54.8	0.0
	2歳	96	0.0	1.0	43.8	55.2	0.0
	3歳	110	0.0	2.7	41.8	54.5	0.9
	4歳	97	0.0	4.1	41.2	54.6	0.0
	5～6歳	122	0.0	2.5	41.0	55.7	0.8

(3) 普段の就労時間帯

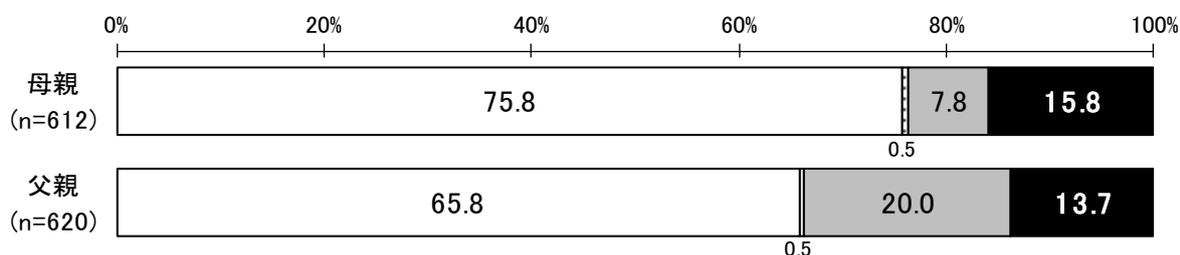
【問12・13で「フルタイムで就労している」「パートタイム、アルバイト等で就労している」を選んだ方にかがいます。】

問12・13-2 普段の就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。（当てはまるもの1つに○）

普段の就労時間帯については、母親・父親ともに「主に昼間の就労」（75.8%・65.8%）の割合が最も高くなっています。

普段の就労時間帯

主に昼間の就労 主に夜間の就労 昼間・夜間の就労、いずれもある 無回答



普段の就労時間帯／子どもの年齢別

(単位：%)

		全体 (n)	主に昼間の就労	主に夜間の就労	昼間・夜間の就労、いずれもある	無回答
母親	全体	612	75.8	0.5	7.8	15.8
	0歳	48	75.0	0.0	8.3	16.7
	1歳	87	74.7	0.0	6.9	18.4
	2歳	93	79.6	1.1	4.3	15.1
	3歳	115	75.7	0.0	7.0	17.4
	4歳	93	82.8	0.0	5.4	11.8
	5～6歳	135	74.1	0.7	11.1	14.1
父親	全体	620	65.8	0.5	20.0	13.7
	0歳	57	61.4	0.0	26.3	12.3
	1歳	93	66.7	0.0	16.1	17.2
	2歳	96	64.6	0.0	22.9	12.5
	3歳	110	68.2	0.0	14.5	17.3
	4歳	97	72.2	2.1	17.5	8.2
	5～6歳	122	63.1	0.8	23.8	12.3

(4) フルタイム就労への転換希望

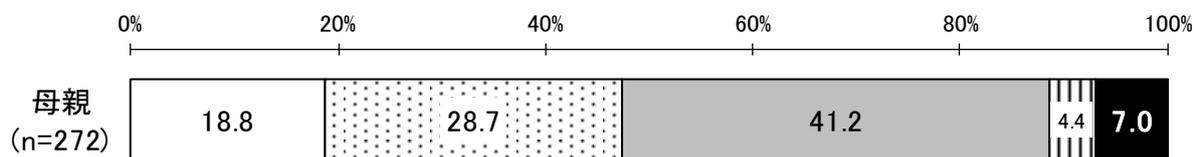
【問12・13で「フルタイムで就労している」以外を選んだ方にうかがいます。】
 問12・13-3 今後、フルタイム就労への転換を希望されますか。（当てはまるもの1つに○）

フルタイム就労への転換希望については、母親では「今後（も）パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」の割合が41.2%で最も高く、次いで「出来ればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」（28.7%）、「出来ればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」（18.8%）、「今後（も）就労せず、子育てや家事に専念したい」（4.4%）の順となっています。

子どもの年齢別でみると、『3歳』『5～6歳』では「出来ればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」と「今後（も）パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」の割合が同率となっています。また、『5～6歳』では「出来ればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」の割合が全体に比べて11.3ポイント高くなっています。

【母親】フルタイム就労への転換希望

- 出来ればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- 出来ればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない
- 今後（も）パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する
- 今後（も）就労せず、子育てや家事に専念したい
- 無回答



【母親】フルタイム就労への転換希望／子どもの年齢別

（単位：％）

	全体 (n)	出来ればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	出来ればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない	今後（も）パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する	今後（も）就労せず、子育てや家事に専念したい	無回答
全体	272	18.8	28.7	41.2	4.4	7.0
0歳	29	27.6	20.7	34.5	6.9	10.3
1歳	42	21.4	21.4	40.5	9.5	7.1
2歳	45	22.2	31.1	37.8	4.4	4.4
3歳	40	12.5	35.0	35.0	5.0	12.5
4歳	45	15.6	24.4	53.3	0.0	6.7
5～6歳	55	14.5	40.0	40.0	1.8	3.6

父親では「出来ればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が2人、「出来ればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」と「今後（も）パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が1人ずつとなっています。

【父親】フルタイム就労への転換希望

項目	回答数(n)
出来ればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	2
出来ればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない	1
今後（も）パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する	1
今後（も）就労せず、子育てや家事に専念したい	0
無回答	5
非該当	678
全体（非該当除く）	9

(5) フルタイム就労への転換希望時期

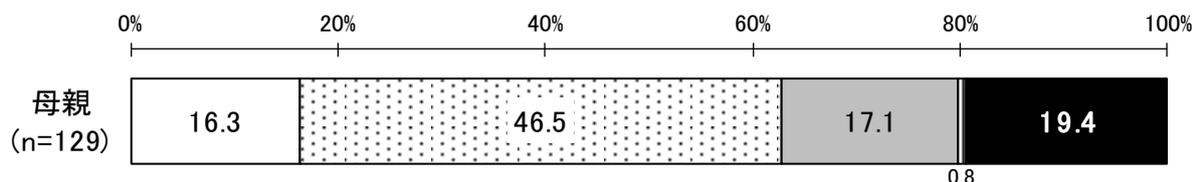
【問12・13で「フルタイムで就労している」以外を選んだ方にうかがいます。】
 問12・13-4 フルタイム就労への転換希望時期をお答えください。（当てはまるもの1つに○）

フルタイム就労への転換希望時期については、母親では「子どもが小学生になったら」の割合が46.5%で最も高く、次いで「子どもが中学生になったら」（17.1%）、「今すぐに」（16.3%）などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、『1歳』では「今すぐに」と「子どもが小学生になったら」の割合が同率となっており、全体に比べて「今すぐに」は17ポイント高く、「子どもが小学生になったら」は13.2ポイント低くなっています。一方、『5～6歳』では「今すぐに」の割合が全体に比べて13.0ポイント低くなっています。また、『4歳』では「子どもが小学生になったら」の割合が全体に比べて13.2ポイント低くなっています。

【母親】フルタイム就労への転換希望時期

- 今すぐに 子どもが小学生になったら 子どもが中学生になったら
 子どもが高校生になったら 無回答



【母親】フルタイム就労への転換希望時期／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	今すぐに	子どもが小学生になったら	子どもが中学生になったら	子どもが高校生になったら	無回答
全体	129	16.3	46.5	17.1	0.8	19.4
0歳	14	28.6	42.9	7.1	0.0	21.4
1歳	18	33.3	33.3	5.6	0.0	27.8
2歳	24	25.0	54.2	12.5	0.0	8.3
3歳	19	10.5	47.4	26.3	0.0	15.8
4歳	18	11.1	33.3	16.7	0.0	38.9
5～6歳	30	3.3	53.3	26.7	3.3	13.3

父親では「今すぐに」が2人となっています。

【父親】フルタイム就労への転換希望時期

項目	回答数 (n)
今すぐに	2
子どもが小学生になったら	0
子どもが中学生になったら	0
子どもが高校生になったら	0
無回答	1
非該当	684
全体（非該当除く）	3

5 子どもの平日の「定期的」な教育・保育の利用状況について

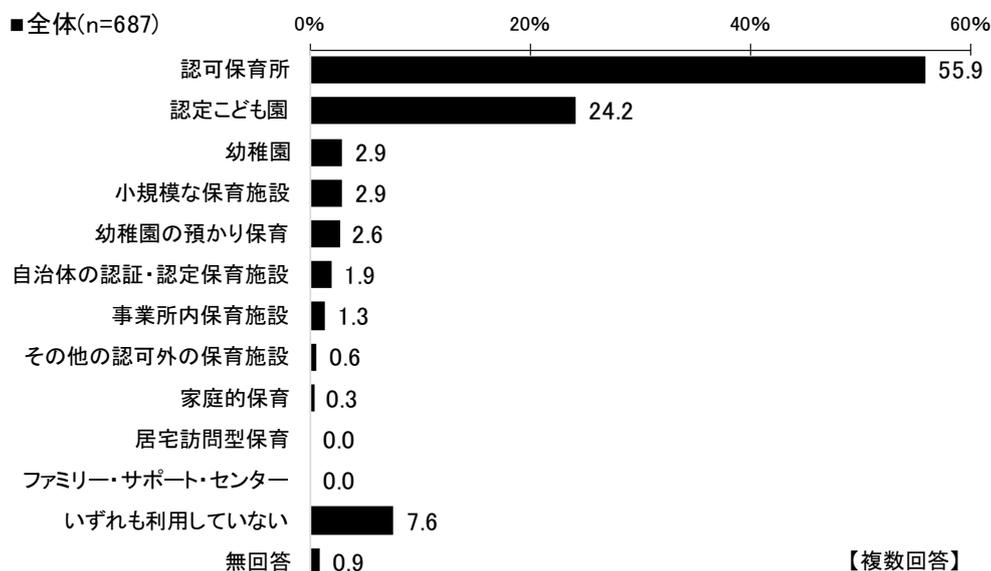
(1) 平日の定期的な事業の利用状況

問14 お子さんは、現在、平日、「定期的に」（月1回以上）以下の事業を利用していますか。（当てはまるもの全てに○）また、実際の利用頻度、利用希望の頻度を具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず【（例）9時から18時まで】のように24時間制でご記入ください。

平日の定期的な事業の利用状況については、全体では「認可保育所」の割合が55.9%で最も高く、次いで「認定こども園」（24.2%）、「いずれも利用していない」（7.6%）などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、『0歳』では「いずれも利用していない」の割合が最も高く、「認可保育所」の割合が全体に比べて27.3ポイント低くなっています。また、『2歳』では「認可保育所」の割合が全体に比べて11.4ポイント高くなっています。

平日の定期的な事業の利用状況



平日の定期的な事業の利用状況／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
全体	687	2.9	2.6	55.9	24.2	2.9	0.3	1.3
0歳	63	0.0	0.0	28.6	9.5	4.8	0.0	0.0
1歳	100	1.0	1.0	57.0	22.0	4.0	1.0	1.0
2歳	107	2.8	1.9	67.3	18.7	1.9	0.9	0.9
3歳	122	1.6	3.3	57.4	29.5	2.5	0.0	1.6
4歳	107	7.5	3.7	59.8	24.3	1.9	0.0	1.9
5～6歳	141	2.8	5.0	56.7	29.8	3.5	0.0	0.7

	全体 (n)	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	いずれも利用していない	無回答
全体	687	1.9	0.6	0.0	0.0	7.6	0.9
0歳	63	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	1.6
1歳	100	3.0	2.0	0.0	0.0	8.0	0.0
2歳	107	0.9	0.0	0.0	0.0	5.6	0.9
3歳	122	1.6	0.8	0.0	0.0	0.8	0.8
4歳	107	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0
5～6歳	141	2.8	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7

現在の1か月当たりの利用日数

(上段：n、下段：%)

【現在】 1か月当たりの利用日数	全体	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～25日	26～30日	無回答
1. 幼稚園	20	1 5.0	0 0.0	0 0.0	15 75.0	3 15.0	1 5.0	0 0.0
2. 幼稚園の預かり保育	18	3 16.7	0 0.0	2 11.1	5 27.8	6 33.3	0 0.0	2 11.1
3. 認可保育所	384	5 1.3	4 1.0	3 0.8	158 41.1	173 45.1	26 6.8	15 3.9
4. 認定こども園	166	3 1.8	2 1.2	2 1.2	68 41.0	66 39.8	15 9.0	10 6.0
5. 小規模な保育施設	20	0 0.0	1 5.0	1 5.0	5 25.0	13 65.0	0 0.0	0 0.0
6. 家庭的保育	2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0
7. 事業所内保育施設	9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 44.4	3 33.3	1 11.1	1 11.1
8. 自治体の認証・認定保育施設	13	1 7.7	1 7.7	0 0.0	6 46.2	5 38.5	0 0.0	0 0.0
9. その他の認可外の保育施設	4	0 0.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
10. 居宅訪問型保育	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
11. ファミリー・サポート・センター	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

希望する1か月当たりの利用日数

(上段：n、下段：%)

【希望】 1か月当たりの利用日数	全体	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～25日	26～30日	無回答
1. 幼稚園	20	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 20.0	3 15.0	1 5.0	12 60.0
2. 幼稚園の預かり保育	18	1 5.6	0 0.0	0 0.0	5 27.8	2 11.1	0 0.0	10 55.6
3. 認可保育所	384	2 0.5	2 0.5	0 0.0	73 19.0	75 19.5	15 3.9	217 56.5
4. 認定こども園	166	2 1.2	2 1.2	1 0.6	38 22.9	28 16.9	8 4.8	87 52.4
5. 小規模な保育施設	20	0 0.0	1 5.0	0 0.0	2 10.0	7 35.0	0 0.0	10 50.0
6. 家庭的保育	2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0
7. 事業所内保育施設	9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	1 11.1	7 77.8
8. 自治体の認証・認定保育施設	13	1 7.7	0 0.0	0 0.0	2 15.4	1 7.7	0 0.0	9 69.2
9. その他の認可外の保育施設	4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0
10. 居宅訪問型保育	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
11. ファミリー・サポート・センター	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

現在の1日当たりの利用時間

(上段：n、下段：%)

【現在】1日当たりの利用時間	全体	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間以上	無回答
1. 幼稚園	20	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	12 60.0	1 5.0	4 20.0	0 0.0
2. 幼稚園の預かり保育	18	0 0.0	1 5.6	3 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 61.1	3 16.7
3. 認可保育所	384	0 0.0	5 1.3	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	7 1.8	16 4.2	341 88.8	14 3.6
4. 認定こども園	166	0 0.0	1 0.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.2	7 4.2	146 88.0	9 5.4
5. 小規模な保育施設	20	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	19 95.0
6. 家庭的保育	2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
7. 事業所内保育施設	9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 100.0	0 0.0
8. 自治体の認証・認定保育施設	13	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4	10 76.9	0 0.0
9. その他の認可外の保育施設	4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0
10. 居宅訪問型保育	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
11. ファミリー・サポート・センター	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

希望する1日当たりの利用時間

(上段：n、下段：%)

【希望】1日当たりの利用時間	全体	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間以上	無回答
1. 幼稚園	20	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	0 0.0	6 30.0	12 60.0
2. 幼稚園の預かり保育	18	0 0.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 33.3	10 55.6
3. 認可保育所	384	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	7 1.8	161 41.9	215 56.0
4. 認定こども園	166	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0	2 1.2	2 1.2	75 45.2	86 51.8
5. 小規模な保育施設	20	0 0.0	0 0.0	10 50.0	10 50.0						
6. 家庭的保育	2	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0						
7. 事業所内保育施設	9	0 0.0	0 0.0	2 22.2	7 77.8						
8. 自治体の認証・認定保育施設	13	0 0.0	0 0.0	4 30.8	9 69.2						
9. その他の認可外の保育施設	4	0 0.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0						
10. 居宅訪問型保育	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0						
11. ファミリー・サポート・センター	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0						

現在の利用開始時刻

(上段：n、下段：%)

【現在】利用開始時刻	全体	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	無回答
1. 幼稚園	20	1 5.0	6 30.0	12 60.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2. 幼稚園の預かり保育	18	3 16.7	5 27.8	3 16.7	0 0.0	0 0.0	4 22.2	3 16.7
3. 認可保育所	384	43 11.2	250 65.1	83 21.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 2.1
4. 認定こども園	166	25 15.1	106 63.9	34 20.5	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0
5. 小規模な保育施設	20	1 5.0	15 75.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
6. 家庭的保育	2	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
7. 事業所内保育施設	9	1 11.1	7 77.8	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
8. 自治体の認証・認定保育施設	13	1 7.7	7 53.8	5 38.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
9. その他の認可外の保育施設	4	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
10. 居宅訪問型保育	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
11. ファミリー・サポート・センター	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

希望する利用開始時刻

(上段：n、下段：%)

【希望】利用開始時刻	全体	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	無回答
1. 幼稚園	20	1 5.0	3 15.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 60.0
2. 幼稚園の預かり保育	18	1 5.6	3 16.7	2 11.1	1 5.6	0 0.0	1 5.6	10 55.6
3. 認可保育所	384	21 5.5	112 29.2	35 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	216 56.3
4. 認定こども園	166	12 7.2	53 31.9	17 10.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	84 50.6
5. 小規模な保育施設	20	0 0.0	7 35.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 50.0
6. 家庭的保育	2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
7. 事業所内保育施設	9	0 0.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 77.8
8. 自治体の認証・認定保育施設	13	1 7.7	1 7.7	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 69.2
9. その他の認可外の保育施設	4	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0
10. 居宅訪問型保育	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
11. ファミリー・サポート・センター	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

現在の利用終了時刻

(上段：n、下段：%)

【現在】利用終了時刻	全体	～15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答
1. 幼稚園	20	16 80.0	1 5.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2. 幼稚園の預かり保育	18	0 0.0	1 5.6	11 61.1	2 11.1	0 0.0	0 0.0	4 22.2
3. 認可保育所	384	7 1.8	75 19.5	156 40.6	138 35.9	1 0.3	0 0.0	7 1.8
4. 認定こども園	166	4 2.4	26 15.7	68 41.0	67 40.4	1 0.6	0 0.0	0 0.0
5. 小規模な保育施設	20	0 0.0	4 20.0	11 55.0	5 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
6. 家庭的保育	2	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
7. 事業所内保育施設	9	0 0.0	0 0.0	3 33.3	5 55.6	1 11.1	0 0.0	0 0.0
8. 自治体の認証・認定保育施設	13	1 7.7	3 23.1	7 53.8	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
9. その他の認可外の保育施設	4	0 0.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
10. 居宅訪問型保育	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
11. ファミリー・サポート・センター	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

希望する利用終了時刻

(上段：n、下段：%)

【希望】利用終了時刻	全体	～15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答
1. 幼稚園	20	2 10.0	1 5.0	5 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 60.0
2. 幼稚園の預かり保育	18	1 5.6	0 0.0	4 22.2	3 16.7	0 0.0	0 0.0	10 55.6
3. 認可保育所	384	5 1.3	23 6.0	72 18.8	62 16.1	5 1.3	1 0.3	216 56.3
4. 認定こども園	166	4 2.4	15 9.0	30 18.1	31 18.7	2 1.2	0 0.0	84 50.6
5. 小規模な保育施設	20	0 0.0	3 15.0	6 30.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	10 50.0
6. 家庭的保育	2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
7. 事業所内保育施設	9	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0	7 77.8
8. 自治体の認証・認定保育施設	13	0 0.0	1 7.7	2 15.4	1 7.7	0 0.0	0 0.0	9 69.2
9. その他の認可外の保育施設	4	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0
10. 居宅訪問型保育	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
11. ファミリー・サポート・センター	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

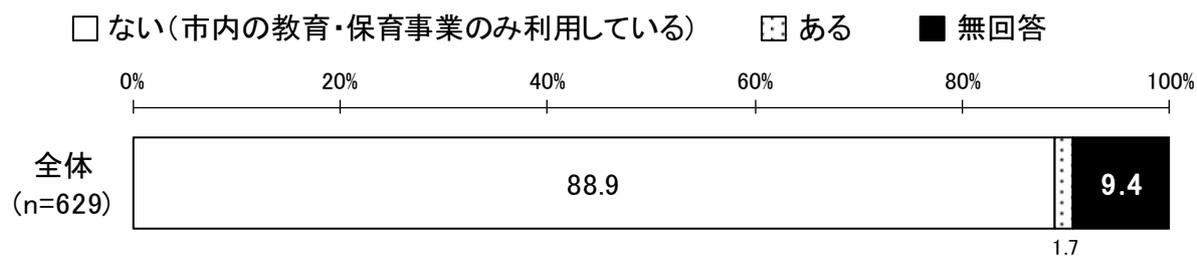
(2) 利用中の教育・保育の事業の実施場所

【問14で「いずれも利用していない」以外を選んだ方にうかがいます。】

問14-1 現在利用している教育・保育事業の実施場所で、市内以外の市町村はありますか。ある場合は市町村名もお答えください。(当てはまるもの1つに○)

利用中の教育・保育の事業の実施場所については、全体では「ない(市内の教育・保育事業のみ利用している)」の割合が88.9%を占めています。

利用中の教育・保育の事業の実施場所



利用中の教育・保育の事業の実施場所／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	ない(市内の教育・保育事業のみ利用している)	ある	無回答
全体	629	88.9	1.7	9.4
0歳	27	92.6	0.0	7.4
1歳	92	88.0	2.2	9.8
2歳	100	85.0	2.0	13.0
3歳	120	90.8	3.3	5.8
4歳	107	87.9	1.9	10.3
5～6歳	139	89.2	0.0	10.8

(3) 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由

【問14で「いずれも利用していない」以外を選んだ方にうかがいます。】

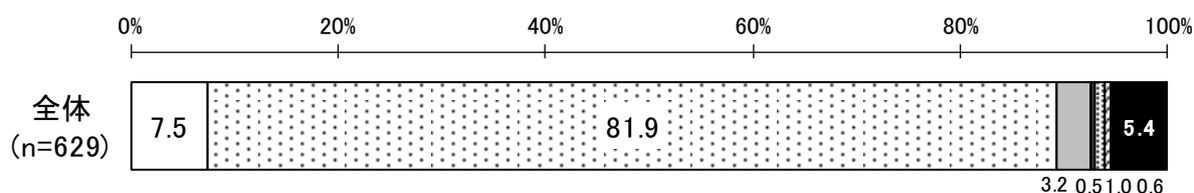
問14-2 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。主な理由をお答えください。（当てはまるもの1つに○）

平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由については、全体では「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」の割合が81.9%を占めています。

子どもの年齢別でみると、『0歳』では「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」の割合が全体に比べて15.2ポイント低くなっています。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由

- 子どもの教育や発達のため
- 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
- 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
- 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
- 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障がいがある
- 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
- その他
- 無回答



平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由／子どもの年齢別

(単位：%)

	子どもの教育や発達のため	子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している	子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である	子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している	子育て（教育を含む）をしている方が病気や障がいがある	子育て（教育を含む）をしている方が学生である	その他	無回答	
全体 (n)	629	7.5	81.9	3.2	0.5	1.0	0.0	0.6	5.4
0歳	27	7.4	66.7	11.1	0.0	3.7	0.0	3.7	7.4
1歳	92	7.6	82.6	6.5	1.1	1.1	0.0	0.0	1.1
2歳	100	7.0	84.0	3.0	0.0	1.0	0.0	1.0	4.0
3歳	120	5.8	81.7	3.3	1.7	0.8	0.0	0.8	5.8
4歳	107	13.1	74.8	1.9	0.0	0.0	0.0	0.9	9.3
5～6歳	139	5.8	84.9	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	6.5

(4) 教育・保育事業を利用できていない・していない理由

【問14で「利用していない」を選んだ方にうかがいます。】

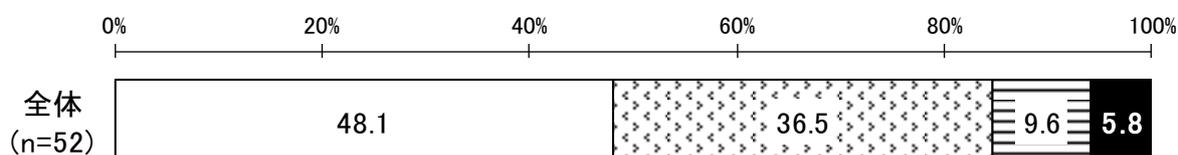
問14-3 教育・保育事業を利用できていない・していない理由は何ですか。主な理由をお答えください。（当てはまるもの1つに○）

教育・保育事業を利用できていない・していない理由については、全体では「保護者がみている」の割合が48.1%で最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため、成長したら利用したい」（36.5%）などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、『0歳』では「子どもがまだ小さいため、成長したら利用したい」の割合が最も高く、全体に比べて12.1ポイント高くなっています。

教育・保育事業を利用できていない・していない理由

- 保護者がみている
- 子どもの祖父母や親戚の人がみている
- 近所の人や父母の友人・知人がみている
- 利用したいが、保育・教育の定員に空きがない
- 利用したいが、経済的な理由で利用できない
- 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- 利用したいが、質や場所など、納得できる事業がない
- 子どもがまだ小さいため、成長したら利用したい
- その他
- 無回答



教育・保育事業を利用できていない・していない理由／子どもの年齢別

(単位：%)

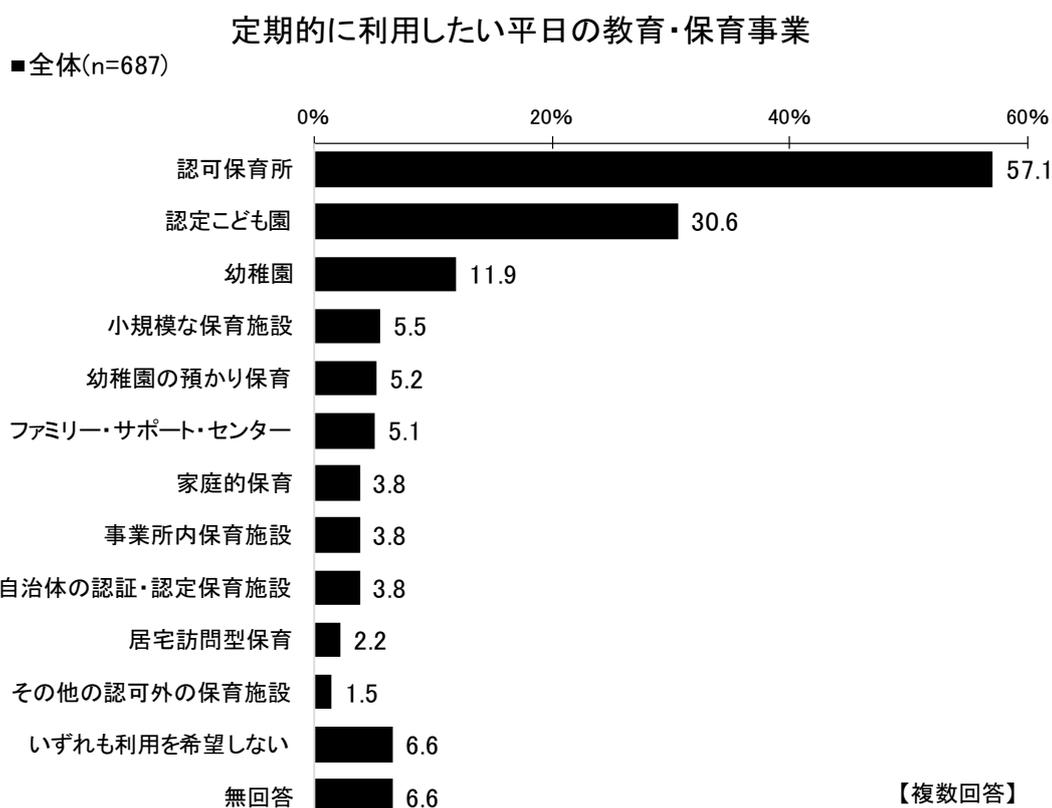
	全体 (n)	保護者がみている	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育の定員に空きがない	利用したいが、経済的な理由で利用できない
		全体	52	48.1	0.0	0.0
0歳	35	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1歳	8	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2歳	6	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0
3歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5～6歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	全体 (n)	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため、成長したら利用したい	その他	無回答
		全体	52	0.0	0.0	36.5
0歳	35	0.0	0.0	48.6	11.4	0.0
1歳	8	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
2歳	6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
3歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
4歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5～6歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(5) 定期的に利用したい平日の教育・保育事業

問15 現在利用している、していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（当てはまるものすべてに○）

定期的にご利用したい平日の教育・保育事業については、全体では「認可保育所」の割合が57.1%で最も高く、次いで「認定こども園」（30.6%）、「幼稚園」（11.9%）などの順となっています。



定期的にご利用したい平日の教育・保育事業／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
		自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	いずれも利用を希望しない	無回答	
全体	687	11.9	5.2	57.1	30.6	5.5	3.8	3.8
0歳	63	14.3	4.8	66.7	33.3	6.3	0.0	1.6
1歳	100	14.0	8.0	59.0	31.0	10.0	5.0	6.0
2歳	107	13.1	3.7	61.7	26.2	3.7	5.6	4.7
3歳	122	13.9	2.5	60.7	34.4	5.7	4.9	4.9
4歳	107	14.0	8.4	57.0	34.6	6.5	2.8	2.8
5～6歳	141	5.0	5.0	49.6	27.0	2.1	4.3	2.8
全体	687	3.8	1.5	2.2	5.1	6.6	6.6	
0歳	63	1.6	1.6	3.2	6.3	0.0	6.3	
1歳	100	8.0	1.0	4.0	5.0	4.0	4.0	
2歳	107	3.7	1.9	1.9	5.6	6.5	3.7	
3歳	122	5.7	3.3	0.8	5.7	4.9	5.7	
4歳	107	0.9	1.9	1.9	2.8	6.5	9.3	
5～6歳	141	2.1	0.0	2.1	4.3	10.6	7.1	

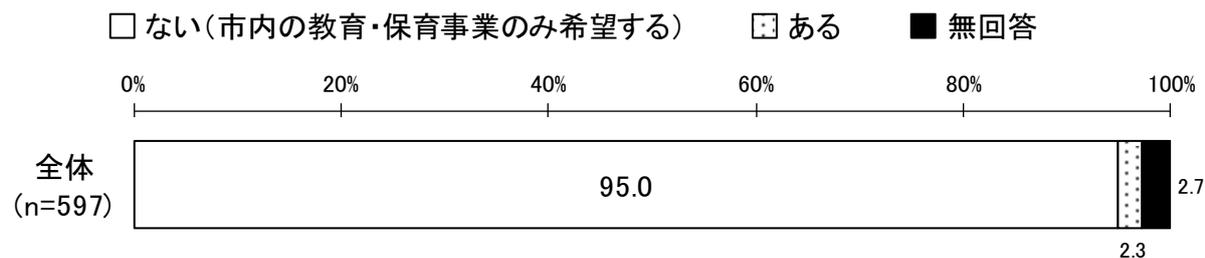
(6) 市内以外で教育・保育事業を利用したい市町村

【問15で「いずれも利用を希望しない」以外を選んだ方にうかがいます。】

問15-1 教育・保育事業を利用したい場所で、市内以外の市町村のご希望はありますか。ご希望の場合は具体的な市町村名もお答えください。（当てはまるもの1つに○）

市内以外で教育・保育事業を利用したい市町村については、全体では「ない（市内の教育・保育事業のみ希望する）」の割合が95.0%を占めています。

市内以外で教育・保育事業を利用したい市町村



市内以外で教育・保育事業を利用したい市町村／子どもの年齢別

（単位：％）

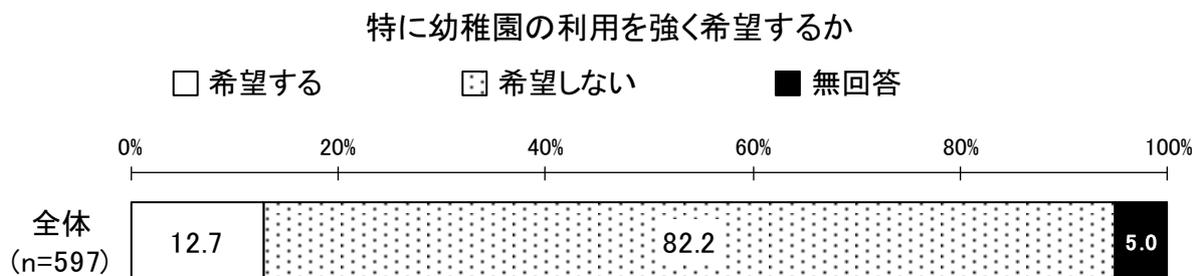
	全体 (n)	ない（市内の教育・保育事業のみ希望する）	ある	無回答
全体	597	95.0	2.3	2.7
0歳	59	91.5	5.1	3.4
1歳	92	91.3	5.4	3.3
2歳	96	95.8	2.1	2.1
3歳	109	95.4	0.9	3.7
4歳	90	96.7	1.1	2.2
5～6歳	116	96.6	0.9	2.6

(7) 特に幼稚園の利用を強く希望するか

【問15で「いずれも利用を希望しない」以外を選んだ方にうかがいます。】

問15-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（当てはまるもの1つに○）

特に幼稚園の利用を強く希望するかについては、全体では「希望しない」の割合が82.2%、「希望する」の割合が12.7%となっています。



特に幼稚園の利用を強く希望するか／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	希望する	希望しない	無回答
全体	597	12.7	82.2	5.0
0歳	59	8.5	86.4	5.1
1歳	92	14.1	83.7	2.2
2歳	96	12.5	85.4	2.1
3歳	109	10.1	84.4	5.5
4歳	90	17.8	73.3	8.9
5～6歳	116	11.2	85.3	3.4

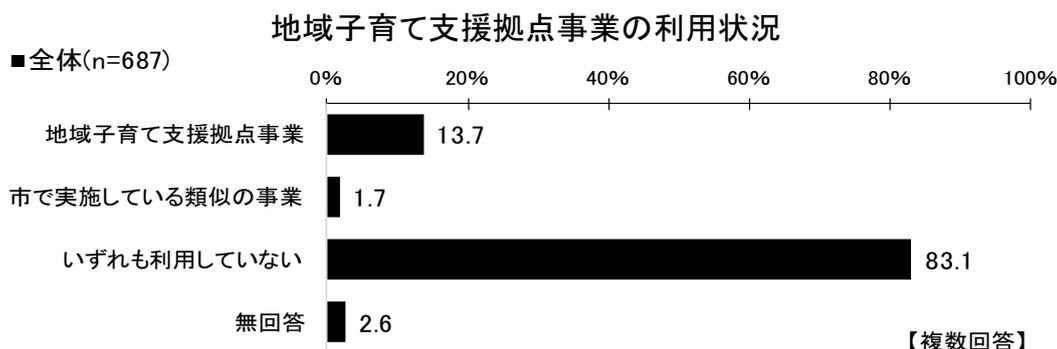
6 子どもの地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問16 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、およその利用回数（頻度）を、具体的な数字でご記入ください。

地域子育て支援拠点事業の利用状況については、全体では「地域子育て支援拠点事業」の割合が13.7%、「市で実施している類似の事業」の割合が1.7%となっています。なお、「いずれも利用していない」の割合は83.1%でした。

子どもの年齢別でみると、「地域子育て支援拠点事業」では年齢層が上がるにつれて割合が減少しています。



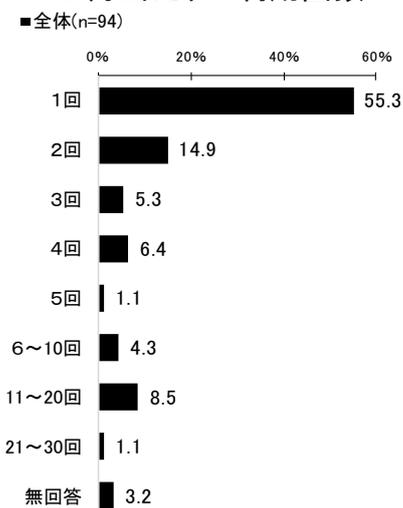
地域子育て支援拠点事業の利用状況／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	地域子育て支援拠点事業	市で実施している類似の事業	いずれも利用していない	無回答
全体	687	13.7	1.7	83.1	2.6
0歳	63	33.3	3.2	66.7	0.0
1歳	100	23.0	1.0	75.0	2.0
2歳	107	15.9	2.8	81.3	2.8
3歳	122	14.8	2.5	81.1	2.5
4歳	107	6.5	0.9	89.7	3.7
5～6歳	141	2.1	1.4	94.3	2.1

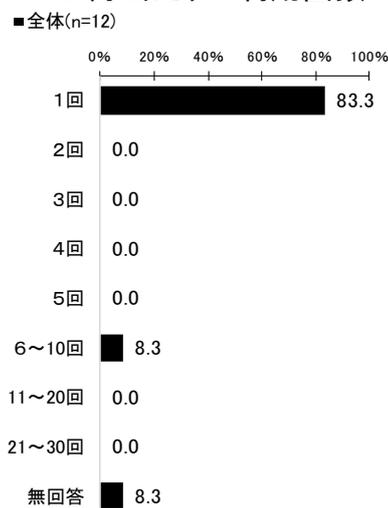
地域子育て支援拠点事業の

1か月当たりの利用回数



市で実施している類似の事業の

1か月当たりの利用回数



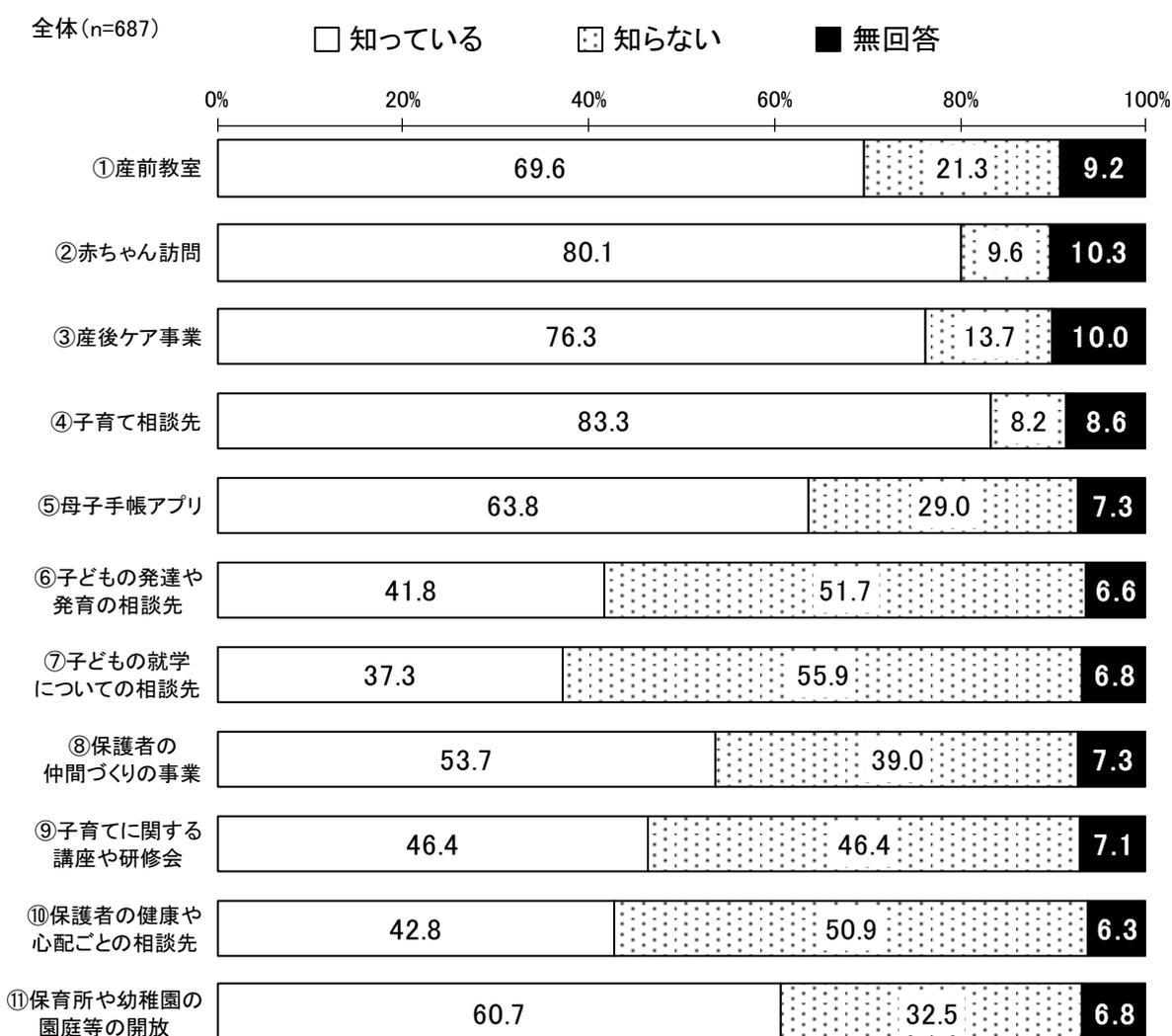
(2) 地域子育て支援拠点事業のサービスについて

問17 下記の①～⑪のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。利用したことがあるサービスについては満足していますか。また、今後利用したいと思いますか。(サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、1つに○)

地域子育て支援拠点事業のサービスの認知については、「知っている」の割合をみると、『④子育て相談先』の割合が83.3%で他の項目に比べて最も高く、次いで『②赤ちゃん訪問』(80.1%)、『③産後ケア事業』(76.3%)などの順となっています。

一方、「知らない」の割合をみると、『⑦子どもの就学についての相談先』の割合が55.9%で他の項目に比べて最も高く、次いで『⑥子どもの発達や発育の相談先』(51.7%)、『⑩保護者の健康や心配ごとの相談先』(50.9%)などの順となっています。

A 地域子育て支援拠点事業のサービスの認知



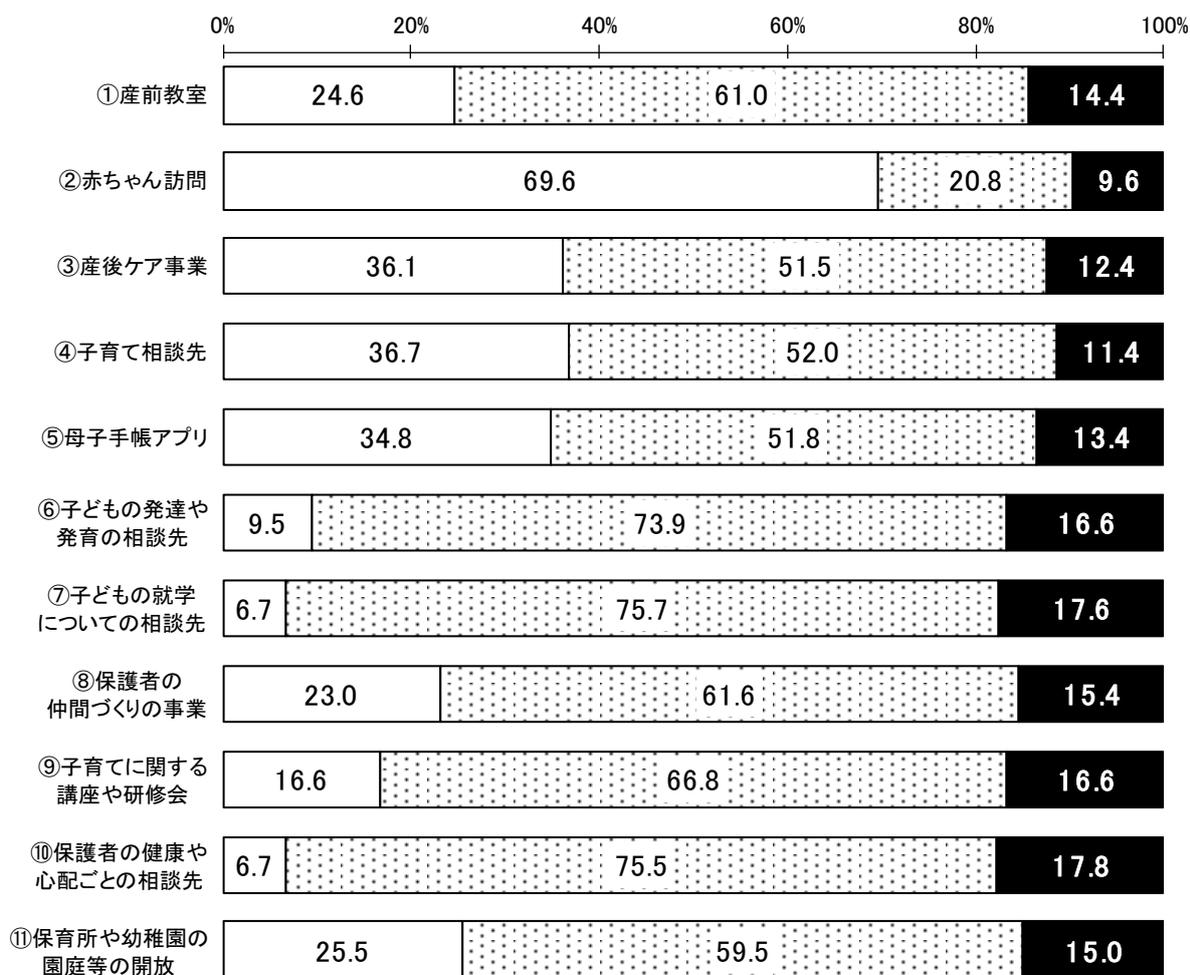
地域子育て支援拠点事業のサービスの利用状況については、「利用したことがある」の割合をみると、『②赤ちゃん訪問』の割合が69.6%で他の項目に比べて最も高く、次いで『④子育て相談先』（36.7%）、『③産後ケア事業』（36.1%）などの順となっています。

一方、「利用したことがない」の割合をみると、『⑦子どもの就学についての相談先』の割合が75.7%で他の項目に比べて最も高く、次いで『⑩保護者の健康や心配ごとの相談先』（75.5%）、『⑥子どもの発達や発育の相談先』（73.9%）などの順となっています。

B 地域子育て支援拠点事業のサービスの利用状況

全体(n=687)

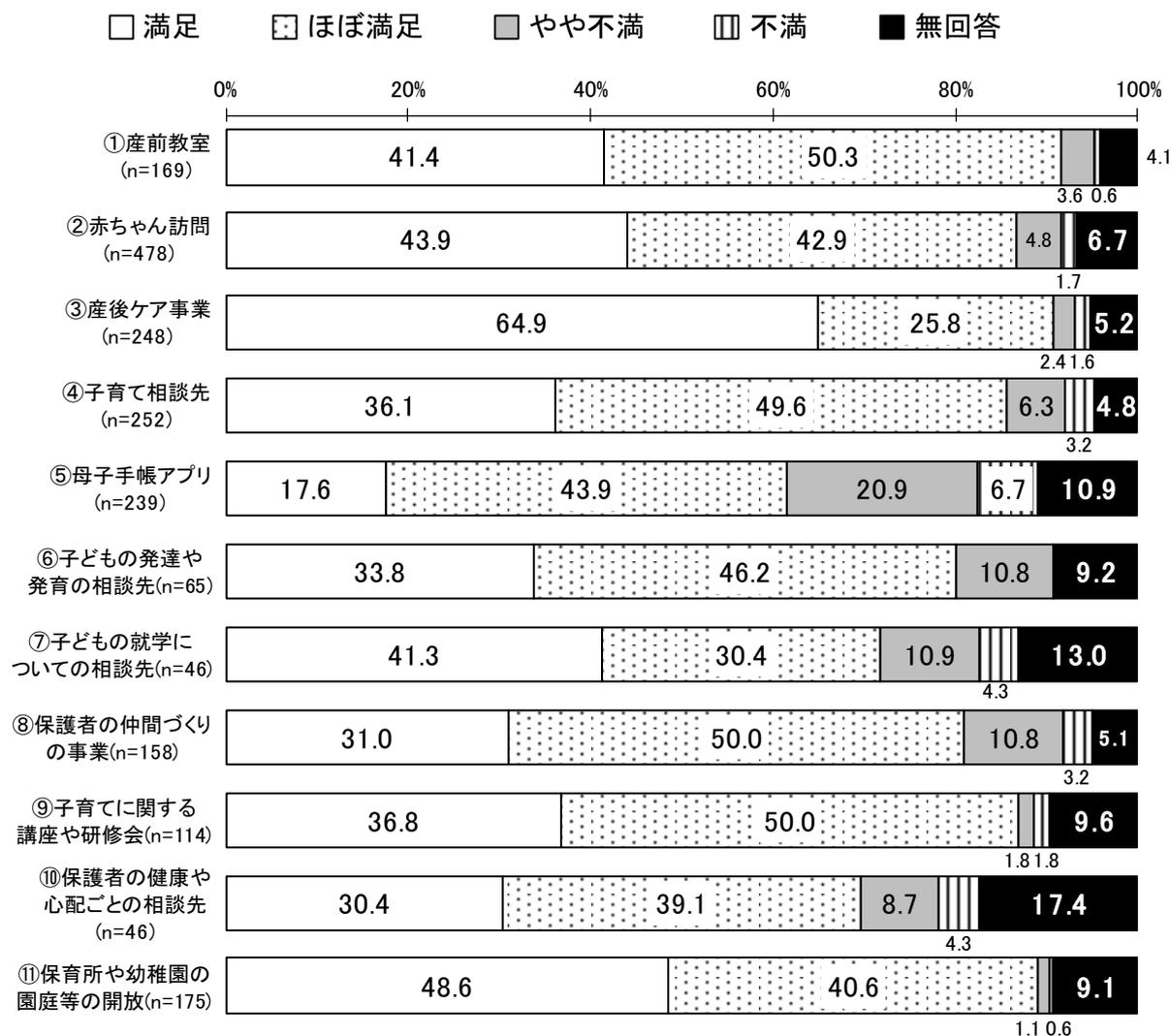
□ 利用したことがある ▨ 利用したことがない ■ 無回答



地域子育て支援拠点事業のサービスの満足度については、「満足」と「ほぼ満足」を合わせた“満足”の割合をみると、『①産前教室』の割合が91.7%で他の項目に比べて最も高く、次いで『③産後ケア事業』（90.7%）、『⑪保育所や幼稚園の園庭等の開放』（89.2%）などの順となっています。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合をみると、『⑤母子手帳アプリ』の割合が27.6%で他の項目に比べて最も高く、『⑦子どもの就学についての相談先』（15.2%）、『⑧保護者の仲間づくりの事業』（14.0%）などの順となっています。

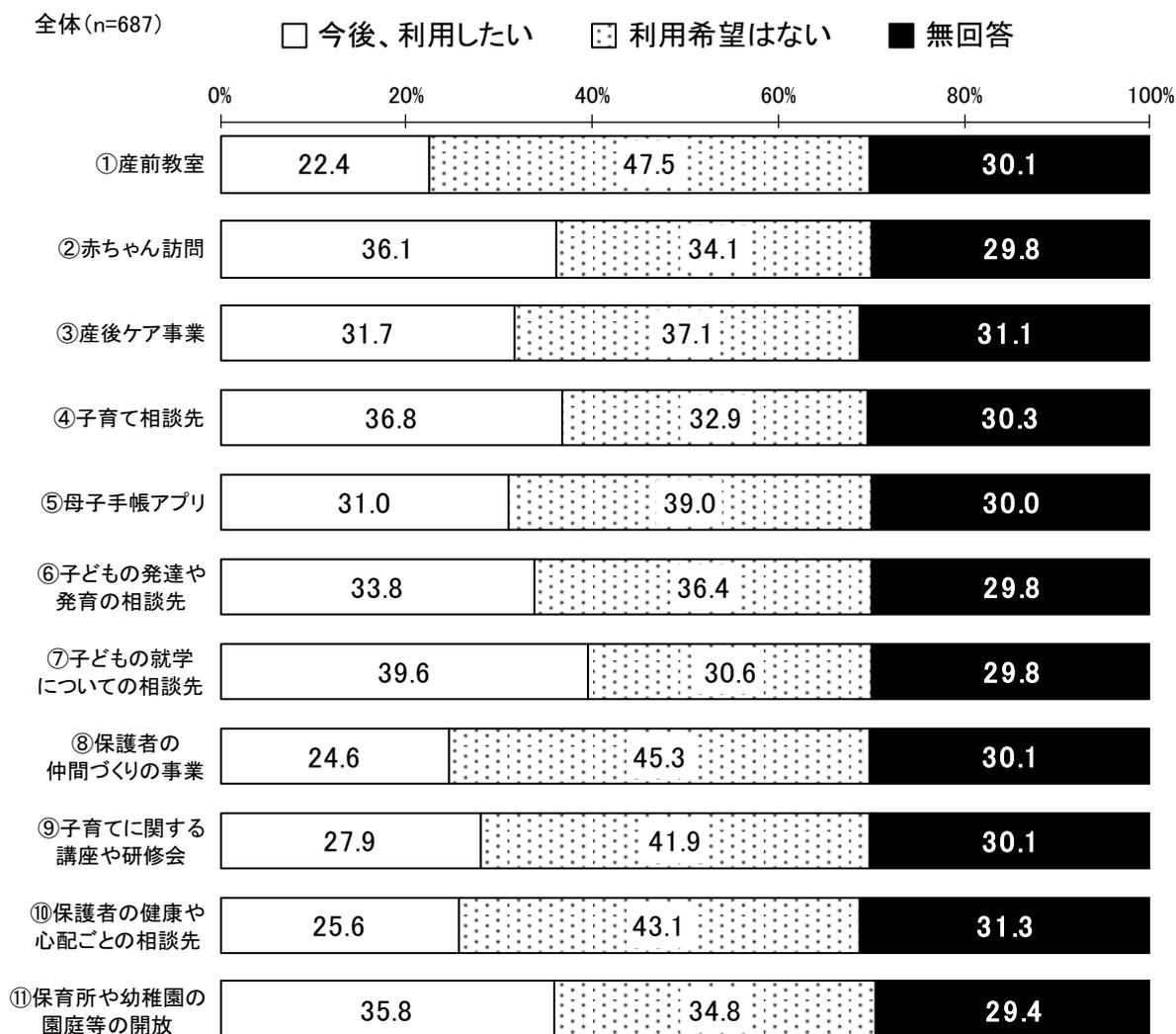
B-1 地域子育て支援拠点事業のサービスの満足度



地域子育て支援拠点事業のサービスの今後の利用希望については、「今後、利用したい」の割合をみると、『⑦子どもの就学についての相談先』の割合が39.6%で最も高く、次いで『④子育て相談先』（36.8%）、『②赤ちゃん訪問』（36.1%）などの順となっています。

一方、「利用希望はない」の割合をみると、『①産前教室』の割合が47.5%で最も高く、次いで『⑧保護者の仲間づくりの事業』（45.3%）、『⑩保護者の健康や心配ごとの相談先』（43.1%）などの順となっています。

C 地域子育て支援拠点事業のサービスの今後の利用希望



7 子どもの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

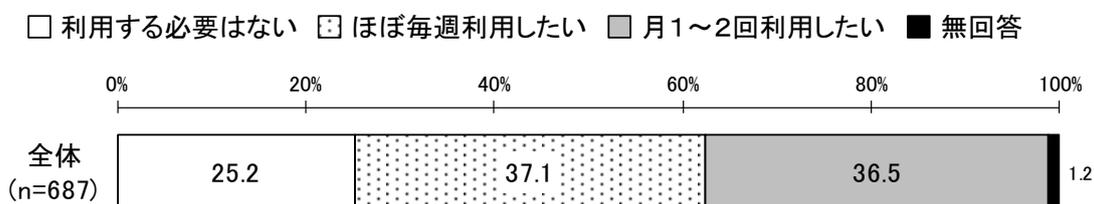
(1) 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問18 お子さんについて、土曜日に「定期的な」教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、【(例) 9時から18時まで】のように24時間制でご記入ください。

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、全体では「ほぼ毎週利用したい」の割合が37.1%で最も高く、次いで「月1～2回利用したい」(36.5%)、「利用する必要はない」(25.2%)の順となっています。

子どもの年齢別でみると、『0歳』『3歳』『5～6歳』では「ほぼ毎週利用したい」の割合が最も高く、それ以外の年齢では『月1～2回利用したい』の割合が最も高くなっています。

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望

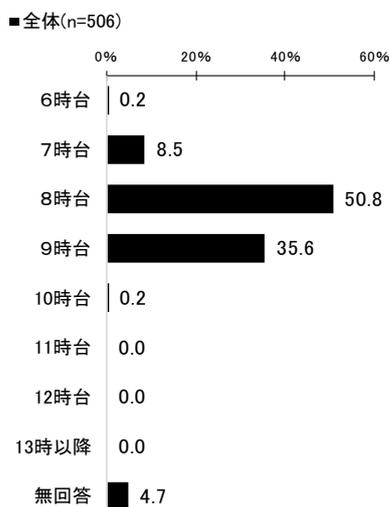


土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望／子どもの年齢別

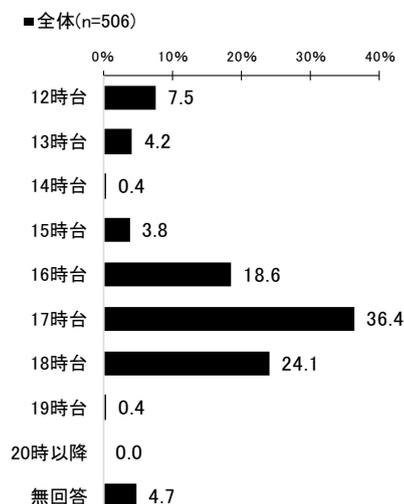
(単位: %)

	全体 (n)	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月1～2回利用したい	無回答
全体	687	25.2	37.1	36.5	1.2
0歳	63	33.3	34.9	31.7	0.0
1歳	100	26.0	32.0	41.0	1.0
2歳	107	19.6	37.4	41.1	1.9
3歳	122	22.1	40.2	36.9	0.8
4歳	107	26.2	34.6	38.3	0.9
5～6歳	141	28.4	40.4	29.8	1.4

利用希望開始時刻



利用希望終了時刻

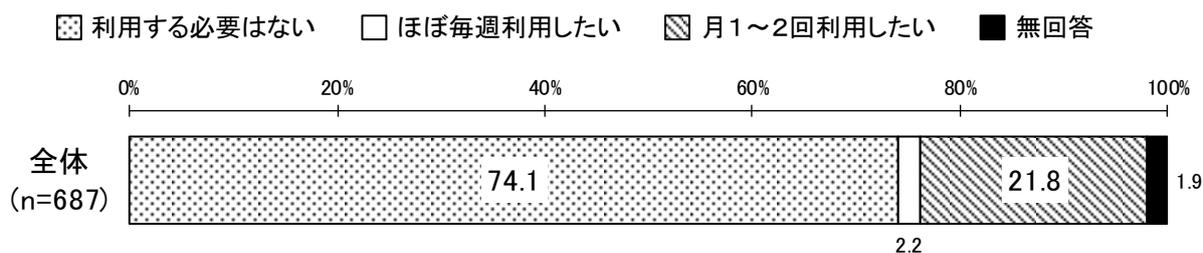


(2) 日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問19 お子さんについて、日曜・祝日に、「定期的な」教育・保育事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、【（例）9時から18時まで】のように24時間制でご記入ください。

日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、全体では「利用する必要はない」の割合が74.1%で最も高く、次いで「月1～2回利用したい」（21.8%）、「ほぼ毎週利用したい」（2.2%）の順となっています。

日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

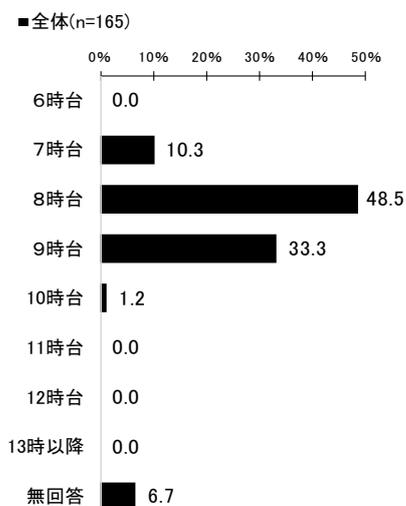


日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望／子どもの年齢別

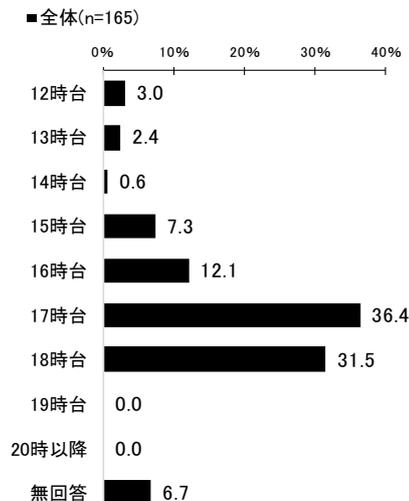
(単位：%)

	全体(n)	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月1～2回利用したい	無回答
全体	687	74.1	2.2	21.8	1.9
0歳	63	74.6	3.2	22.2	0.0
1歳	100	72.0	2.0	25.0	1.0
2歳	107	67.3	0.9	28.0	3.7
3歳	122	77.0	1.6	20.5	0.8
4歳	107	76.6	2.8	19.6	0.9
5～6歳	141	76.6	2.1	17.7	3.5

利用希望開始時刻



利用希望終了時刻



(3) 土曜・休日にたまに利用したい理由

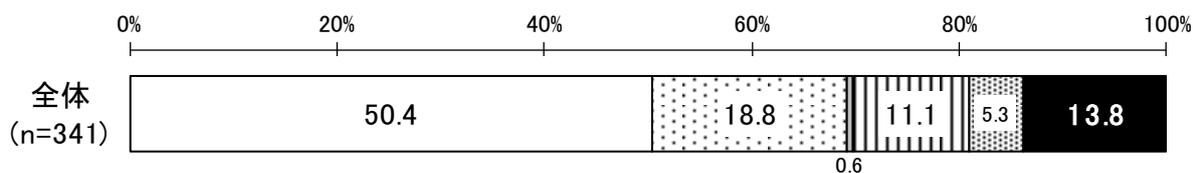
【問18または問19で「月に1～2回利用したい」を選んだ方にうかがいます。】
 問19-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（当てはまるもの1つに○）

土曜・休日にたまに利用したい理由については、全体では「月に数回仕事が入るため」の割合が50.4%で最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」（18.8%）、「息抜きのため」（11.1%）などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、『3歳』では「月に数回仕事が入るため」と「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が同率で最も高くなっています。また、「月に数回仕事が入るため」の割合は全体に比べて20ポイント低く、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合は全体に比べて11.6ポイント高くなっています。また、『5～6歳』では「月に数回仕事が入るため」の割合が全体と比べて14.1ポイント高くなっています。

土曜・休日にたまに利用したい理由

- 月に数回仕事が入るため
- 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
- 親族の介護や手伝いが必要なため
- 息抜きのため
- その他
- 無回答



土曜・休日にたまに利用したい理由／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	月に数回仕事が入るため	平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	親族の介護や手伝いが必要なため	息抜きのため	その他	無回答
全体	341	50.4	18.8	0.6	11.1	5.3	13.8
0歳	30	43.3	13.3	0.0	20.0	10.0	13.3
1歳	55	58.2	14.5	0.0	10.9	7.3	9.1
2歳	60	55.0	15.0	1.7	11.7	5.0	11.7
3歳	56	30.4	30.4	1.8	16.1	5.4	16.1
4歳	54	42.6	27.8	0.0	9.3	5.6	14.8
5～6歳	62	64.5	9.7	0.0	3.2	1.6	21.0

(4) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

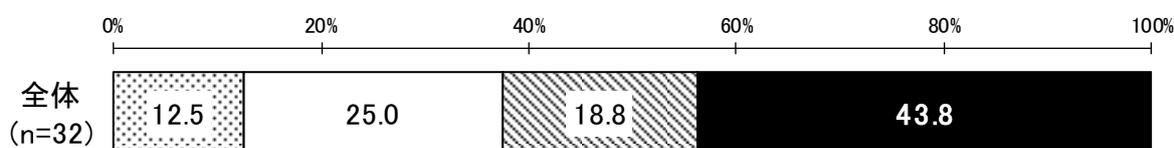
【「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。】

問19-2 お子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期期間中の教育・保育事業の利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、【(例) 9時から18時まで】のように24時間制でご記入ください。

長期休暇中の教育・保育事業の利用希望については、全体では「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が25.0%で最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」(18.8%)、「利用する必要はない」(12.5%)の順となっています。

長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

- 利用する必要はない
- 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
- 休みの期間中、週に数日利用したい
- 無回答

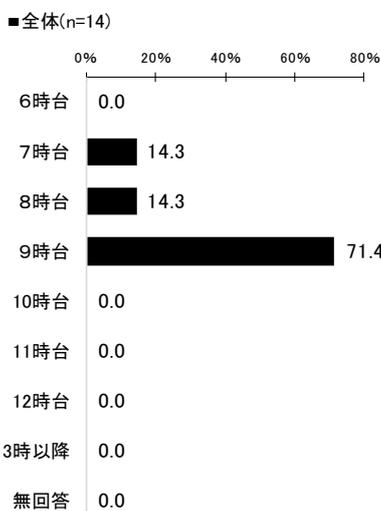


長期休暇中の教育・保育事業の利用希望／子どもの年齢別

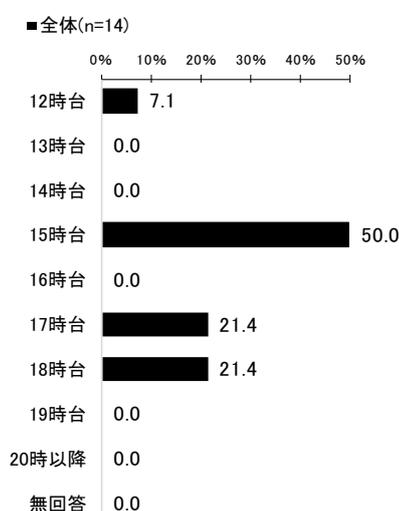
(単位：%)

	全体 (n)	利用する必要はない	休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	休みの期間中、週に数日利用したい	無回答
全体	32	12.5	25.0	18.8	43.8
0歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
1歳	2	0.0	0.0	0.0	100.0
2歳	3	33.3	66.7	0.0	0.0
3歳	6	0.0	16.7	16.7	66.7
4歳	11	18.2	27.3	27.3	27.3
5～6歳	8	0.0	12.5	25.0	62.5

利用希望開始時刻



利用希望終了時刻



(5) 長期休暇中たまに利用したい理由

【問19-2で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方にうかがいます。】
問19-3 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（当てはまるもの1つに○）

長期休暇中たまに利用したい理由については、全体では「月に数回仕事が入るため」が3人、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が2人、「その他」が1人となっています。

長期休暇中たまに利用したい理由

項目	回答数(n)
月に数回仕事が入るため	3
平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	2
親族の介護や手伝いが必要なため	0
息抜きのため	0
その他	1
無回答	0
非該当	681
全体（非該当除く）	6

8 子どもの病気やけがの際の対応について

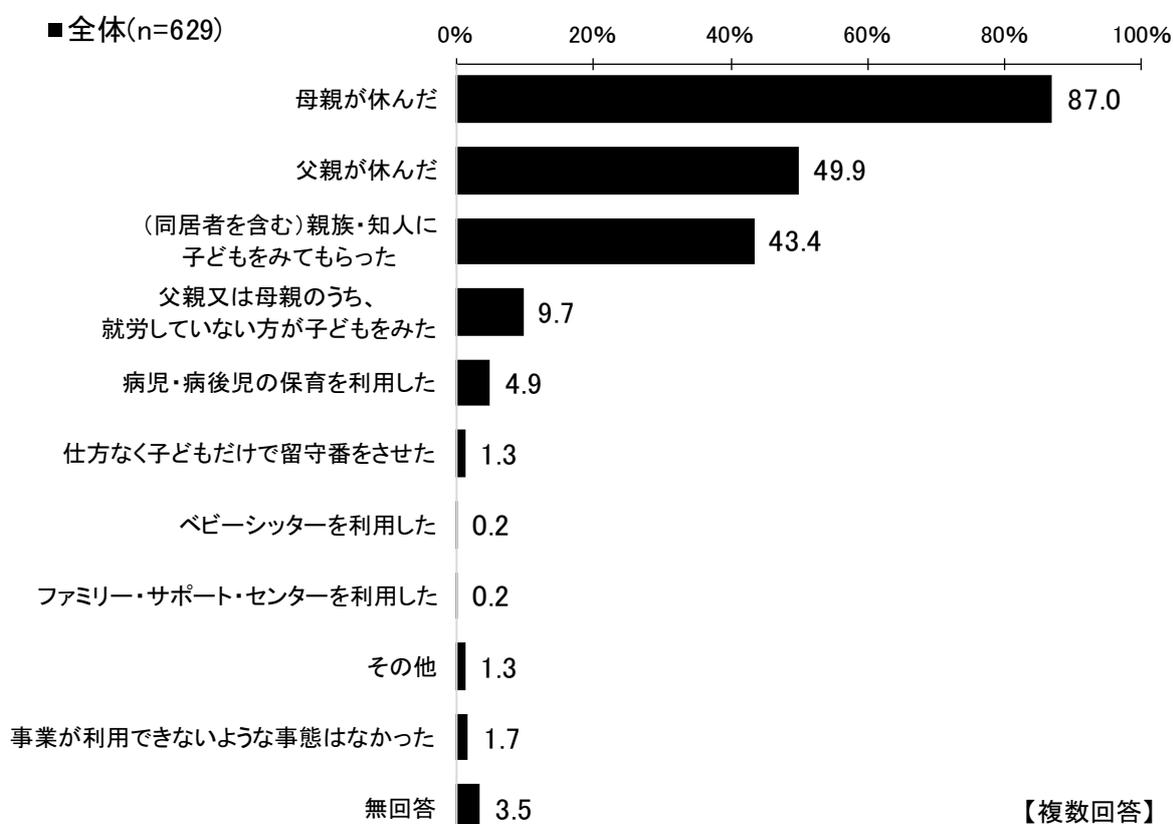
(1) 子どもが傷病の場合の1年間の対処方法

問20 お子さんが、病気やけがで通常の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法について、当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も具体的な数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

子どもが傷病の場合の1年間の対処方法については、全体では「母親が休んだ」の割合が87.0%で最も高く、次いで「父親が休んだ」（49.9%）、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」（43.4%）などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、『0歳』では「父親が休んだ」と「母親が休んだ」の割合が全体に比べて20ポイント以上低くなっています。

子どもが傷病の場合の1年間の対処方法



子どもが傷病の場合の1年間の対処方法／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち、就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した
		全体	629	49.9	87.0	43.4	9.7
0歳	27	25.9	66.7	33.3	11.1	3.7	0.0
1歳	92	55.4	84.8	37.0	10.9	4.3	0.0
2歳	100	53.0	87.0	45.0	8.0	10.0	1.0
3歳	120	55.8	90.8	49.2	12.5	5.0	0.0
4歳	107	49.5	85.0	37.4	11.2	4.7	0.0
5～6歳	139	41.7	89.9	45.3	3.6	2.2	0.0

	全体 (n)	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	事業が利用できないような事態はなかった	無回答
		全体	629	0.2	1.3	1.3
0歳	27	0.0	0.0	7.4	11.1	14.8
1歳	92	0.0	0.0	1.1	3.3	2.2
2歳	100	1.0	1.0	0.0	2.0	5.0
3歳	120	0.0	0.0	0.0	0.8	3.3
4歳	107	0.0	0.9	3.7	0.9	0.9
5～6歳	139	0.0	2.9	0.7	0.7	2.9

1年間の対処方法と日数

(上段：n、下段：%)

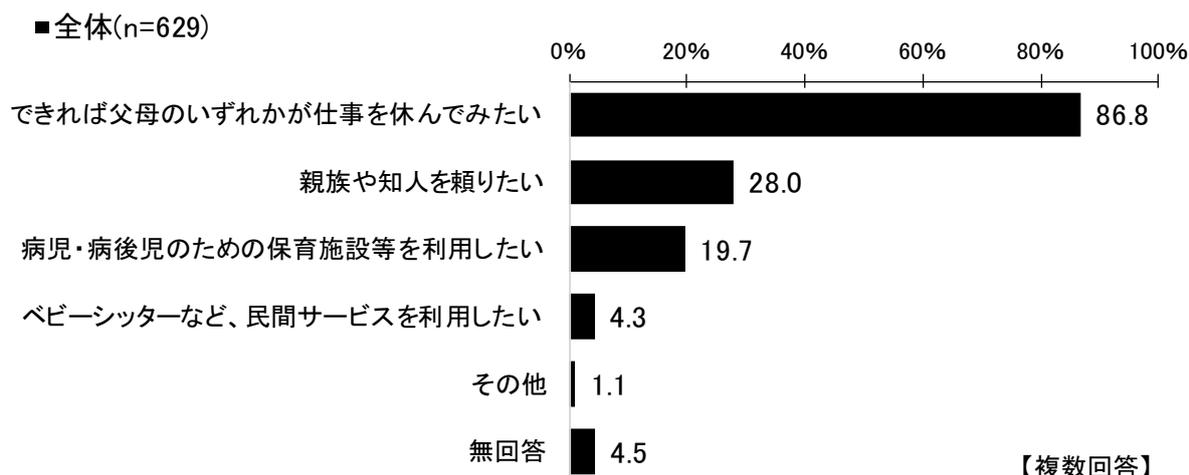
1年間の対処方法と日数	全体	1～2日	3～4日	5～10日	11～15日	16～20日	21～25日	26～30日	31日以上	無回答
		1. 父親が休んだ	314	69 22.0	65 20.7	139 44.3	9 2.9	8 2.5	1 0.3	3 1.0
2. 母親が休んだ	547	34 6.2	56 10.2	235 43.0	45 8.2	73 13.3	9 1.6	29 5.3	23 4.2	43 7.9
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	273	48 17.6	50 18.3	127 46.5	7 2.6	12 4.4	0 0.0	4 1.5	4 1.5	21 7.7
4. 父親又は母親のうち、就労していない方が子どもをみた	61	6 9.8	8 13.1	24 39.3	0 0.0	6 9.8	1 1.6	3 4.9	6 9.8	7 11.5
5. 病児・病後児の保育を利用した	31	13 41.9	7 22.6	4 12.9	2 6.5	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 12.9
6. ベビーシッターを利用した	1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	8	4 50.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
9. その他	8	0 0.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	3 37.5

(2) 子どもが傷病の際に希望する対処法

問21 お子さんが病気やけがの際、どのように対応することを希望しますか。当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も具体的な数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

子どもが傷病の際に希望する対処法については、全体では「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」の割合が86.8%で最も高く、次いで「親族や知人を頼りたい」（28.0%）、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」（19.7%）などの順となっています。

子どもが傷病の際に希望する対処法



子どもが傷病の際に希望する対処法／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい	病児・病後児のための保育施設等を利用したい	ベビーシッターなど、民間サービスを利用したい	親族や知人を頼りたい	その他	無回答
全体	629	86.8	19.7	4.3	28.0	1.1	4.5
0歳	27	81.5	11.1	3.7	29.6	0.0	11.1
1歳	92	80.4	29.3	6.5	29.3	2.2	3.3
2歳	100	88.0	25.0	4.0	28.0	2.0	6.0
3歳	120	88.3	20.0	4.2	25.8	1.7	4.2
4歳	107	89.7	18.7	2.8	31.8	0.0	2.8
5～6歳	139	88.5	10.8	5.0	23.7	0.7	4.3

子どもが傷病の際に希望する年間対処日数

(上段：n、下段：%)

子どもが傷病の際に希望する年間対処日数	全体	1～2日	3～4日	5～10日	11～15日	16～20日	21～25日	26～30日	31日以上	無回答
1. できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい	546	12 2.2	23 4.2	211 38.6	34 6.2	75 13.7	6 1.1	39 7.1	26 4.8	120 22.0
2. 病児・病後児のための保育施設等を利用したい	124	10 8.1	15 12.1	50 40.3	3 2.4	12 9.7	0 0.0	5 4.0	3 2.4	26 21.0
3. ベビーシッターなど、民間サービスを利用したい	27	3 11.1	6 22.2	12 44.4	1 3.7	0 0.0	0 0.0	1 3.7	1 3.7	3 11.1
4. 親族や知人を頼りたい	176	15 8.5	17 9.7	89 50.6	1 0.6	11 6.3	0 0.0	5 2.8	2 1.1	36 20.5
5. その他	7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 71.4

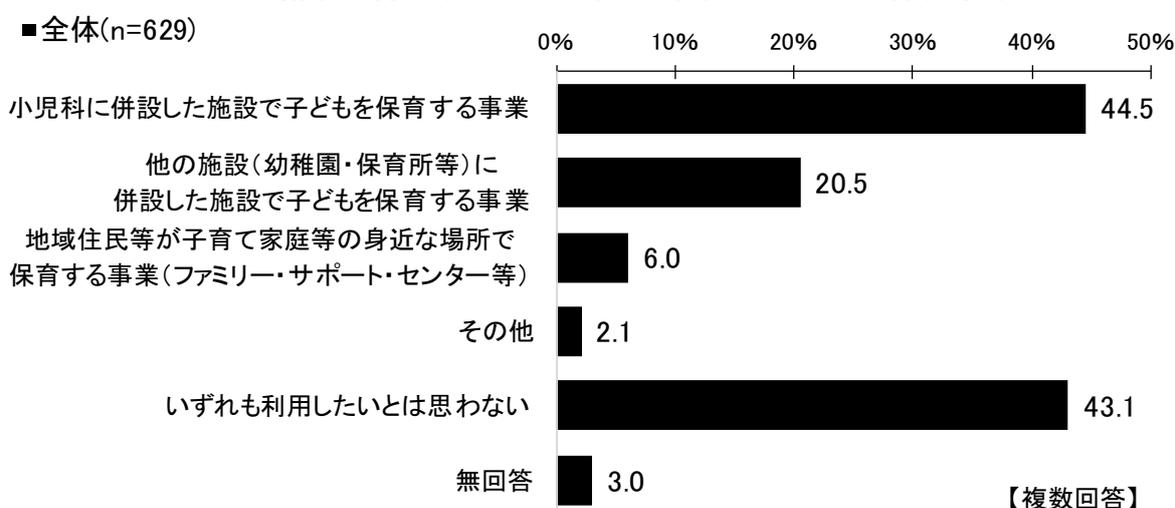
(3) 子どもが傷病の際に利用したい病児・病後児のための保育事業

問22 今後、お子さんが病気やけがの際、利用したい病児・病後児のための保育事業等がありますか。(当てはまるものすべてに○)

子どもが傷病の際に利用したい病児・病後児のための保育事業については、全体では「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が44.5%で最も高く、次いで「他の施設(幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」(20.5%)、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(ファミリー・サポート・センター等)」(6.0%)などの順となっています。なお、「いずれも利用したいとは思わない」の割合は43.1%でした。

子どもの年齢別でみると、『0～2歳』では「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が最も高くなっています。

子どもが傷病の際に利用したい病児・病後児のための保育事業



子どもが傷病の際に利用したい病児・病後児のための保育事業／子どもの年齢別

(単位: %)

	全体(n)	他の施設(幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業	小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(ファミリー・サポート・センター等)	その他	いずれも利用したいとは思わない	無回答
全体	629	20.5	44.5	6.0	2.1	43.1	3.0
0歳	27	18.5	44.4	7.4	0.0	29.6	14.8
1歳	92	26.1	48.9	8.7	3.3	39.1	1.1
2歳	100	26.0	50.0	3.0	2.0	37.0	5.0
3歳	120	19.2	41.7	6.7	1.7	46.7	2.5
4歳	107	21.5	43.9	6.5	2.8	44.9	0.9
5～6歳	139	14.4	36.7	5.0	2.2	50.4	2.9

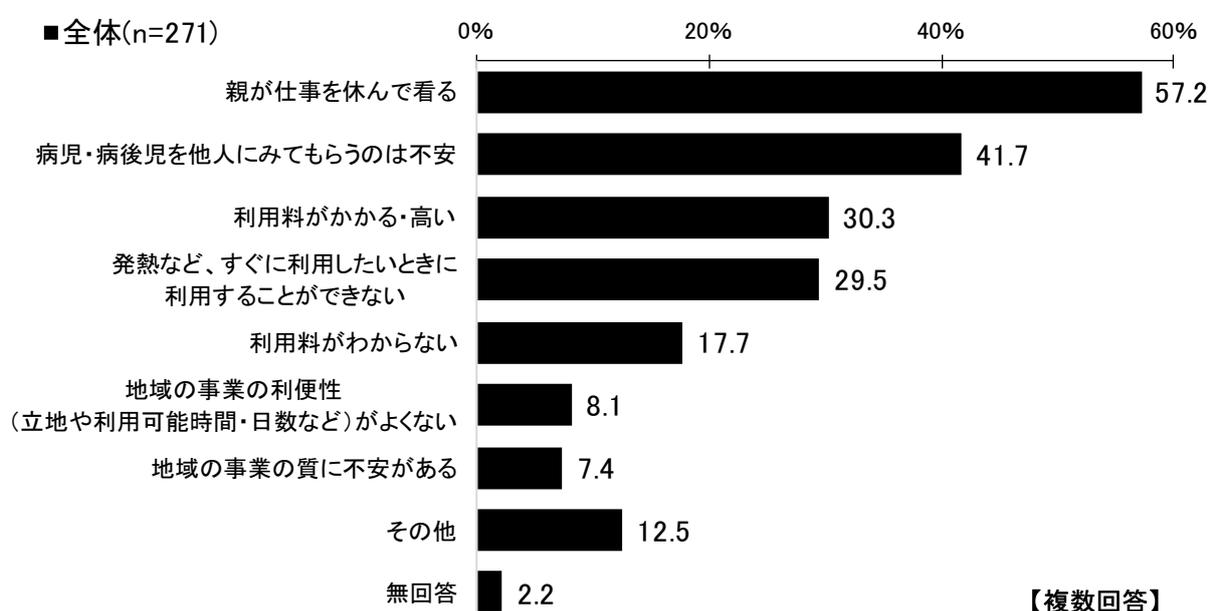
(4) 病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由

【問22で「いずれも利用したいとは思わない」を選んだ方にうかがいます。】
 問22-1 病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由については、全体では「親が仕事を休んで見る」の割合が57.2%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」（41.7%）、「利用料がかかる・高い」（30.3%）などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、『2歳』では「発熱など、すぐに利用したいときに利用することができない」の割合が全体に比べて19.1ポイント高くなっています。また、『4歳』では「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が全体に比べて10.4ポイント高くなっています。

病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由



病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由／子どもの年齢別

(単位: %)

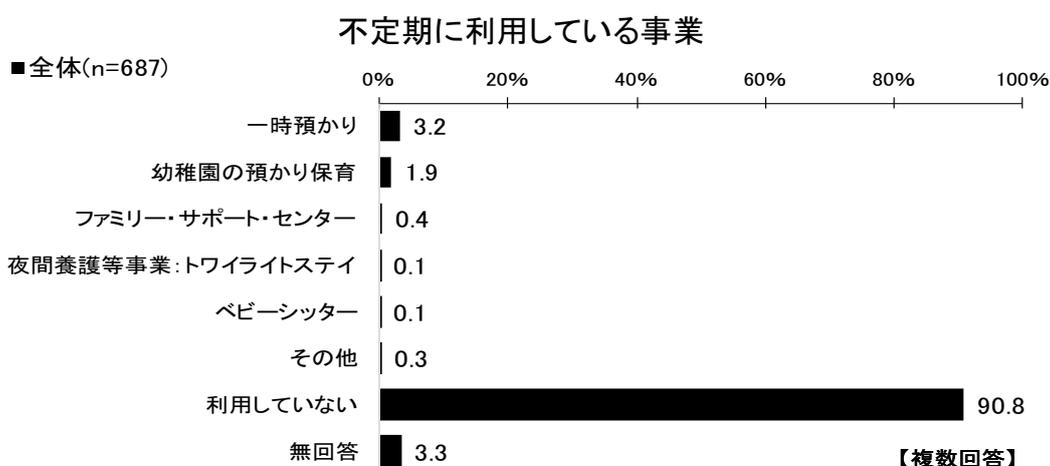
	全体 (n)	病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	地域の事業の質に不安がある	地域の事業の利便性 (立地や利用可能時間・日数など)がよくない	利用料がかかる・高い	利用料がわからない	親が仕事を休んで見る	発熱など、すぐに利用したいときに利用することができない	その他	無回答
全体	271	41.7	7.4	8.1	30.3	17.7	57.2	29.5	12.5	2.2
0歳	8	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	62.5	25.0	12.5	0.0
1歳	36	38.9	8.3	5.6	22.2	22.2	63.9	27.8	5.6	2.8
2歳	37	51.4	5.4	8.1	29.7	13.5	54.1	48.6	8.1	2.7
3歳	56	41.1	8.9	8.9	25.0	14.3	60.7	23.2	12.5	0.0
4歳	48	52.1	10.4	10.4	31.3	14.6	60.4	31.3	16.7	2.1
5～6歳	70	38.6	7.1	5.7	28.6	24.3	50.0	24.3	15.7	2.9

9 不規則の一時預かり等の利用について

(1) 不規則に利用している事業

問23 お子さんについて、日中の「定期的な」保育や、病気やけがでの利用以外に、私用、不規則の就労等の目的で、「不規則に」利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

不規則に利用している事業については、全体では「一時預かり」の割合が3.2%で最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」（1.9%）、「ファミリー・サポート・センター」（0.4%）などの順となっています。なお、「利用していない」の割合は90.8%となっています。



不規則に利用している事業／子どもの年齢別

(単位: %)

	全体(n)	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	夜間養護等事業:トワイライトステイ	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
全体	687	3.2	1.9	0.4	0.1	0.1	0.3	90.8	3.3
0歳	63	6.3	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	90.5	1.6
1歳	100	7.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	89.0	3.0
2歳	107	2.8	1.9	0.0	0.9	0.0	0.9	90.7	2.8
3歳	122	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	93.4	4.9
4歳	107	3.7	4.7	0.9	0.0	0.9	0.0	88.8	2.8
5～6歳	141	1.4	2.1	0.0	0.0	0.0	0.7	92.2	3.5

不規則に利用している事業の年間利用日数

(上段: n、下段: %)

不規則に利用している事業の年間利用日数	全体	1～2日	3～4日	5～10日	11～15日	16～20日	21～25日	26～30日	31日以上	無回答
		n	%	%	%	%	%	%	%	
1. 一時預かり	22	3	4	3	1	3	1	1	4	2
		13.6	18.2	13.6	4.5	13.6	4.5	4.5	18.2	9.1
2. 幼稚園の預かり保育	13	1	0	7	1	0	0	1	1	2
		7.7	0.0	53.8	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7	15.4
3. ファミリー・サポート・センター	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0
		66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4. 夜間養護等事業:トワイライトステイ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
5. ベビーシッター	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

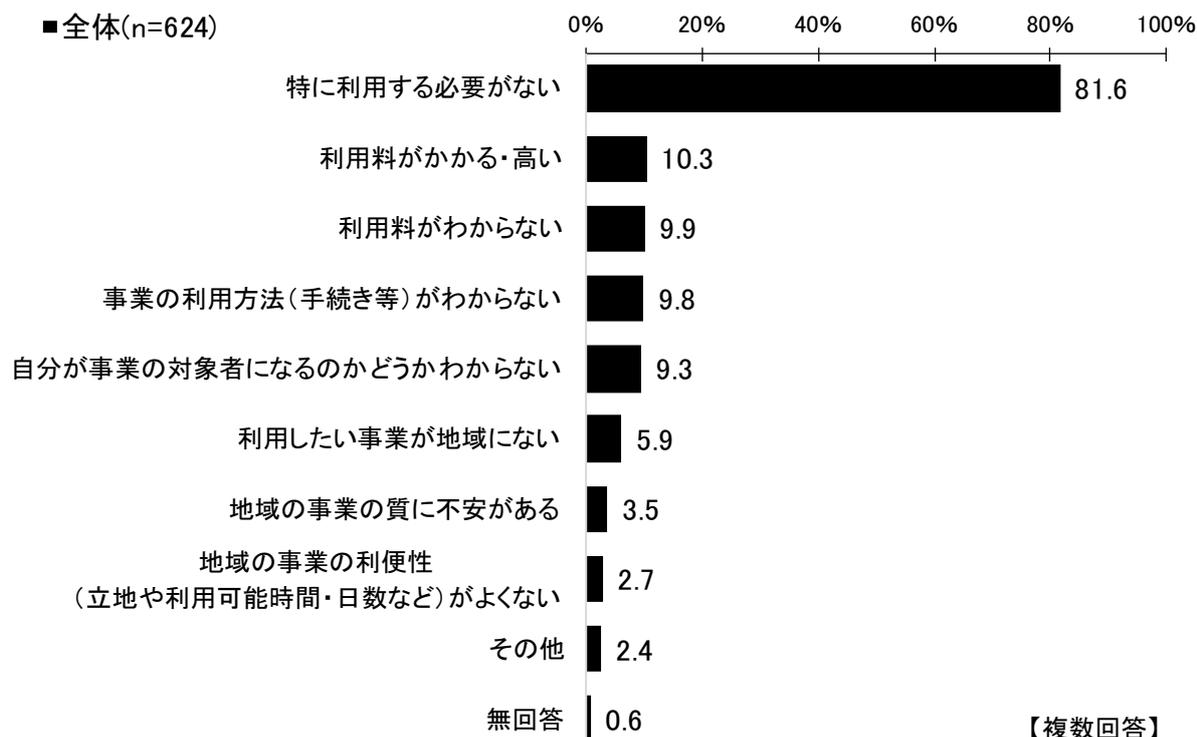
(2) 不定期な事業を利用していない理由

【問23で「利用していない」を選んだ方にうかがいます。】

問23-1 利用していない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

不定期な事業を利用していない理由については、全体では「特に利用する必要がない」の割合が81.6%で最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」(10.3%)、「利用料がわからない」(9.9%)などの順となっています。

不定期な事業を利用していない理由



不定期な事業を利用していない理由／子どもの年齢別

(単位: %)

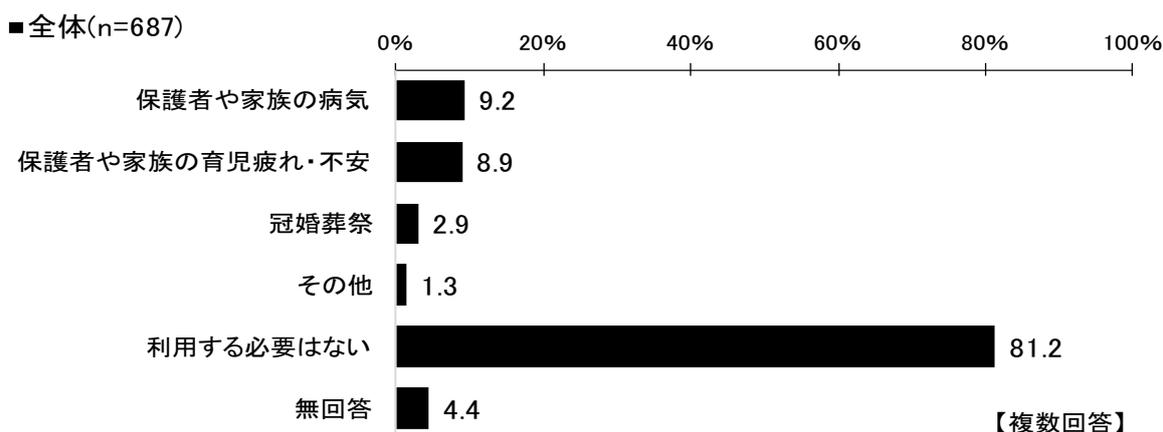
	全体(n)	特に利用する必要がない	利用したい事業が地域にない	地域の事業の質に不安がある	地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	利用料がかかる・高い	利用料がわからない	自分が事業の対象者になるのかわからない	事業の利用方法(手続き等)がわからない	その他	無回答
全体	624	81.6	5.9	3.5	2.7	10.3	9.9	9.3	9.8	2.4	0.6
0歳	57	77.2	7.0	5.3	3.5	7.0	5.3	14.0	10.5	5.3	0.0
1歳	89	87.6	4.5	3.4	2.2	9.0	11.2	7.9	13.5	0.0	1.1
2歳	97	80.4	7.2	3.1	2.1	10.3	10.3	10.3	9.3	1.0	1.0
3歳	114	79.8	5.3	2.6	2.6	13.2	8.8	7.9	8.8	2.6	0.0
4歳	95	82.1	8.4	5.3	3.2	7.4	10.5	11.6	8.4	4.2	0.0
5~6歳	130	83.1	3.1	3.8	3.1	11.5	9.2	8.5	8.5	3.1	0.8

(3) 短期入所生活援助事業の利用を希望する理由

問24 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気等）により、お子さんを泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用を希望する理由について、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も数字でご記入ください。

短期入所生活援助事業の利用を希望する理由については、全体では「保護者や家族の病気」の割合が9.2%で最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」（8.9%）、「冠婚葬祭」（2.9%）などの順となっています。

短期入所生活援助事業の利用を希望する理由



短期入所生活援助事業の利用を希望する理由／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	冠婚葬祭	保護者や家族の育児疲れ・不安	保護者や家族の病気	その他	利用する必要はない	無回答
全体	687	2.9	8.9	9.2	1.3	81.2	4.4
0歳	63	3.2	11.1	7.9	1.6	84.1	3.2
1歳	100	3.0	10.0	11.0	3.0	81.0	4.0
2歳	107	3.7	7.5	9.3	0.0	81.3	3.7
3歳	122	1.6	12.3	9.0	2.5	79.5	3.3
4歳	107	1.9	6.5	13.1	0.0	81.3	3.7
5～6歳	141	3.5	7.1	7.8	1.4	80.9	7.1

希望する年間宿泊数

(上段：n、下段：%)

希望する年間宿泊数	全体	1～2泊	3～4泊	5～10泊	11～15泊	16～20泊	21～25泊	26～30泊	31日以上	無回答
		n	n	n	n	n	n	n	n	n
1. 冠婚葬祭	20	18 90.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2. 保護者や家族の育児疲れ・不安	61	27 44.3	12 19.7	15 24.6	1 1.6	2 3.3	0 0.0	1 1.6	1 1.6	2 3.3
3. 保護者や家族の病気	63	24 38.1	12 19.0	22 34.9	0 0.0	1 1.6	0 0.0	1 1.6	1 1.6	2 3.2
4. その他	9	5 55.6	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	1 11.1

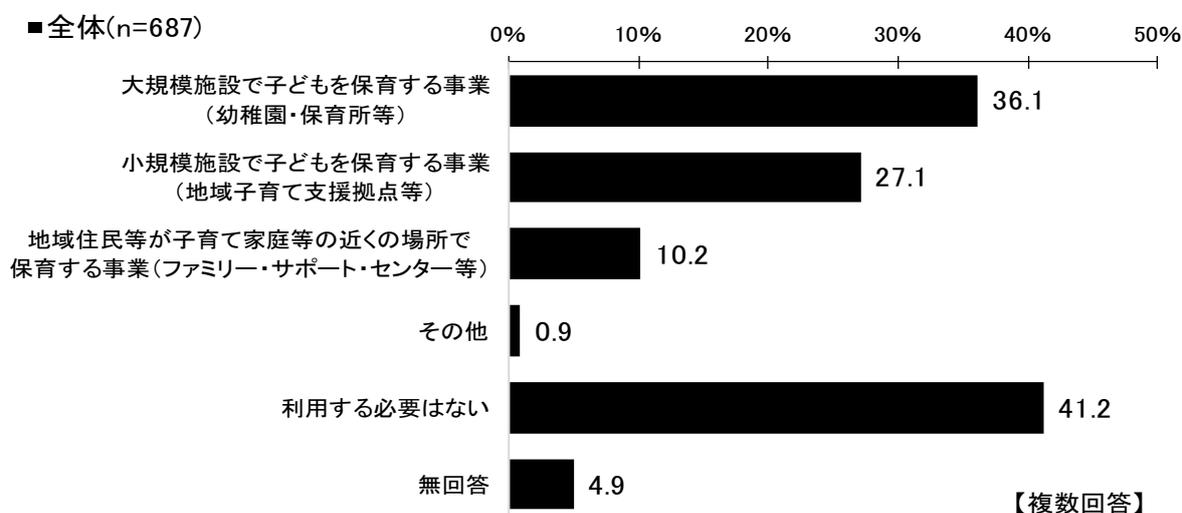
(4) 子どもを不定期に預ける場合に望ましい事業形態

問25 お子さんについて、私用、不定期の就労等の目的で「不定期に」預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

子どもを不定期に預ける場合に望ましい事業形態については、全体では「大規模施設で子どもを保育する事業（幼稚園・保育所等）」の割合が36.1%で最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（地域子育て支援拠点等）」（27.1%）、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）」（10.2%）などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、『2歳』『4歳』では「大規模施設で子どもを保育する事業（幼稚園・保育所等）」の割合が最も高くなっています。

子どもを不定期に預ける場合に望ましい事業形態



子どもを不定期に預ける場合に望ましい事業形態／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	大規模施設で子どもを保育する事業（幼稚園・保育所等）	小規模施設で子どもを保育する事業（地域子育て支援拠点等）	地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）	その他	利用する必要はない	無回答
全体	687	36.1	27.1	10.2	0.9	41.2	4.9
0歳	63	34.9	25.4	15.9	1.6	49.2	3.2
1歳	100	35.0	34.0	15.0	0.0	43.0	3.0
2歳	107	38.3	30.8	4.7	0.0	37.4	4.7
3歳	122	37.7	23.0	7.4	0.0	40.2	4.9
4歳	107	40.2	25.2	8.4	0.9	38.3	6.5
5～6歳	141	36.2	24.8	12.1	2.1	39.7	6.4

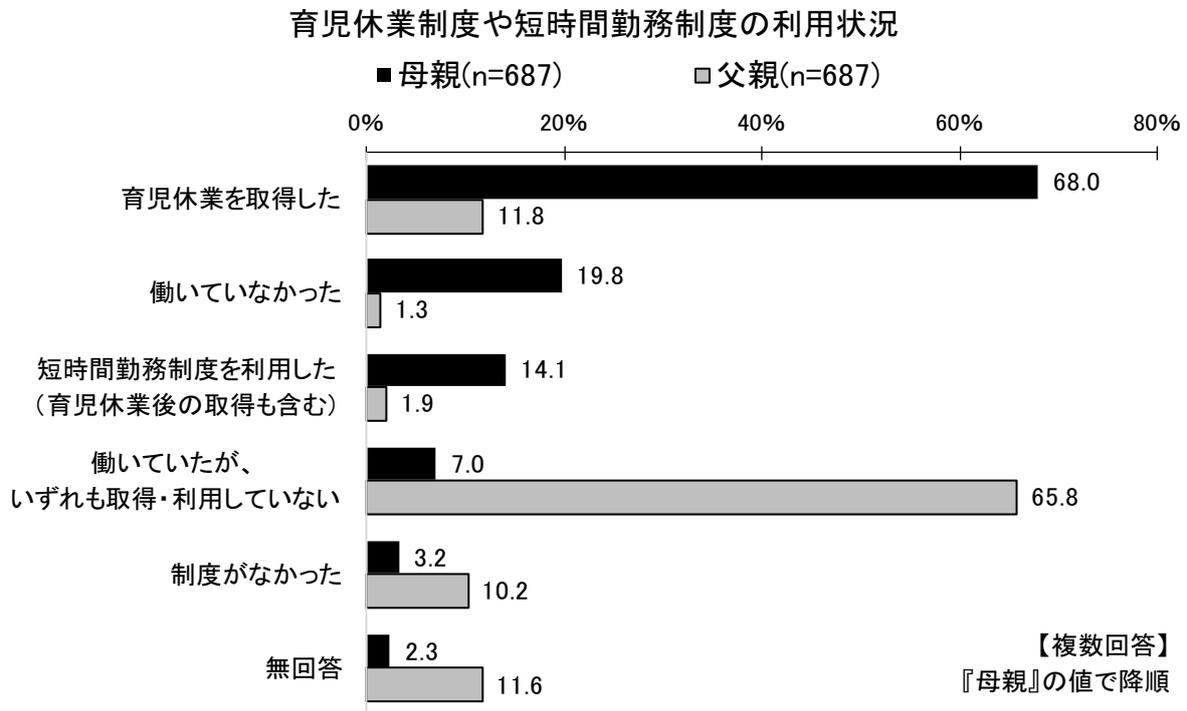
10 育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援について

(1) 育児休業制度や短時間勤務制度の利用状況

問26・28 お子さんが生まれたとき、育児休業制度又は短時間勤務制度を利用しましたか。
(当てはまるものすべてに○)

育児休業制度や短時間勤務制度の利用状況については、母親では「育児休業を取得した」の割合が68.0%で最も高く、父親では11.8%に留まります。一方、父親では「働いていたが、いずれも取得・利用していない」の割合が65.8%で最も高く、母親では7.0%に留まることから、父親に比べて母親の方が育児休業制度を利用していることがうかがえます。

子どもの年齢別でみると、父親の『0歳』では「働いていたが、いずれも取得・利用していない」の割合が全体に比べて10.2ポイント低くなっています。



育児休業制度や短時間勤務制度の利用状況／子どもの年齢別

(単位：%)

		全体(n)	働いてい な か つ た	育児休業を取 得 し た	短時間勤務制 度を利用した (育児休業後 の取得も含 む)	制度がなかつ た	働いていた が、いずれも 取得・利用し ていない	無回答
母 親	全体	687	19.8	68.0	14.1	3.2	7.0	2.3
	0歳	63	15.9	73.0	3.2	4.8	6.3	1.6
	1歳	100	17.0	69.0	7.0	4.0	7.0	3.0
	2歳	107	18.7	68.2	15.9	1.9	8.4	1.9
	3歳	122	18.9	69.7	19.7	3.3	5.7	2.5
	4歳	107	25.2	64.5	15.0	3.7	4.7	3.7
	5～6歳	141	24.1	63.1	12.1	2.1	8.5	1.4
父 親	全体	687	1.3	11.8	1.9	10.2	65.8	11.6
	0歳	63	0.0	22.2	1.6	9.5	55.6	12.7
	1歳	100	2.0	15.0	1.0	8.0	68.0	8.0
	2歳	107	0.9	20.6	2.8	11.2	58.9	10.3
	3歳	122	4.9	5.7	0.0	8.2	72.1	11.5
	4歳	107	0.0	7.5	5.6	13.1	67.3	11.2
	5～6歳	141	0.0	7.1	0.7	13.5	63.1	17.0

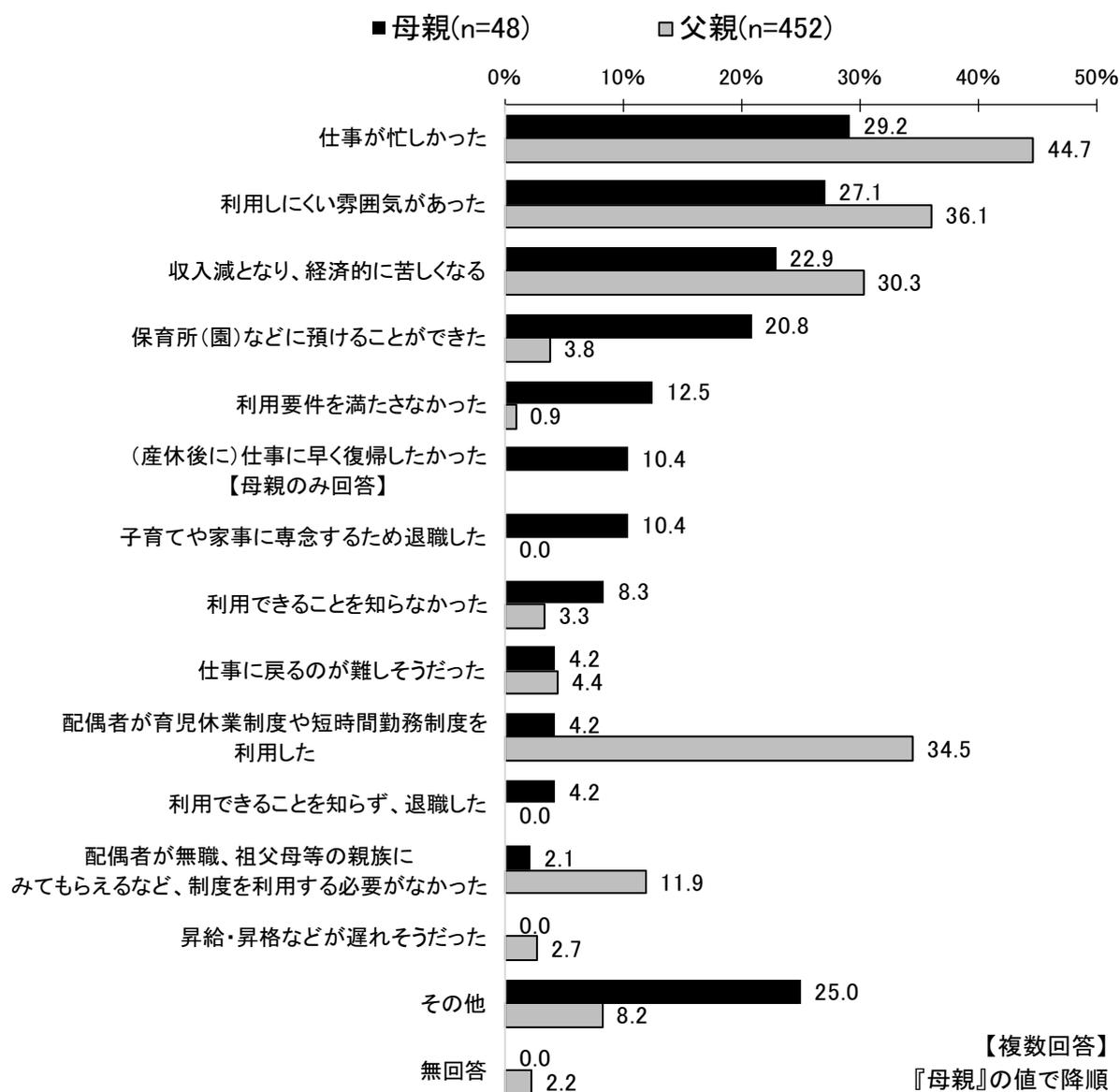
(2) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由

【問26・28で「働いていたが、いずれも取得・利用していない」を選んだ方にうかがいます。】
 問26・28-1 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由については、母親では「仕事が忙しかった」の割合が29.2%で最も高く、次いで「利用しにくい雰囲気があった」（27.1%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（22.9%）などの順となっています。一方、父親では「仕事が忙しかった」の割合が44.7%で最も高く、次いで「利用しにくい雰囲気があった」（36.1%）、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」（34.5%）などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、母親の『5～6歳』では「利用要件を満たさなかった」の割合が全体に比べて12.5ポイント高くなっています。父親の『1歳』では「利用しにくい雰囲気があった」の割合が最も高く、それ以外の年齢では「仕事が忙しかった」の割合が最も高くなっています。

育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由



育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由／子どもの年齢別

(単位：%)

		全体(n)	利用しにくい 雰囲気があった	仕事が忙し かった	(産休後に) 仕事に早く復 帰したかった	仕事に戻るの が難しそう だった	昇給・昇格な どが遅れそう だった	収入減とな り、経済的に 苦しくなる	保育所(園) などに預ける ことができた	配偶者が育児 休業制度や短 時間勤務制度 を利用した
母親	全体	48	27.1	29.2	10.4	4.2	0.0	22.9	20.8	4.2
	0歳	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
	1歳	7	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3
	2歳	9	55.6	33.3	11.1	11.1	0.0	22.2	11.1	0.0
	3歳	7	14.3	42.9	14.3	0.0	0.0	28.6	28.6	0.0
	4歳	5	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0
	5～6歳	12	16.7	25.0	8.3	0.0	0.0	25.0	16.7	0.0
父親	全体	452	36.1	44.7	-	4.4	2.7	30.3	3.8	34.5
	0歳	35	25.7	37.1	-	0.0	0.0	28.6	2.9	28.6
	1歳	68	39.7	36.8	-	1.5	2.9	26.5	1.5	38.2
	2歳	63	36.5	47.6	-	7.9	6.3	46.0	6.3	36.5
	3歳	88	35.2	45.5	-	8.0	4.5	28.4	2.3	38.6
	4歳	72	40.3	45.8	-	6.9	1.4	20.8	2.8	36.1
	5～6歳	89	32.6	49.4	-	1.1	1.1	30.3	5.6	36.0
		全体(n)	配偶者が無 職、祖父母等 の親族にみて もらえるなど、 制度を利用する 必要がなかった	子育てや家事 に専念するた め退職した	利用要件を満 たさなかった	利用できるこ とを知らな かった	利用できるこ とを知らず、 退職した	その他	無回答	
母親	全体	48	2.1	10.4	12.5	8.3	4.2	25.0	0.0	
	0歳	4	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
	1歳	7	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	57.1	0.0	
	2歳	9	0.0	11.1	22.2	11.1	11.1	33.3	0.0	
	3歳	7	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	
	4歳	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
	5～6歳	12	0.0	8.3	25.0	8.3	0.0	25.0	0.0	
父親	全体	452	11.9	0.0	0.9	3.3	0.0	8.2	2.2	
	0歳	35	17.1	0.0	2.9	2.9	0.0	11.4	0.0	
	1歳	68	19.1	0.0	1.5	1.5	0.0	11.8	0.0	
	2歳	63	7.9	0.0	1.6	1.6	0.0	6.3	0.0	
	3歳	88	11.4	0.0	0.0	1.1	0.0	8.0	5.7	
	4歳	72	13.9	0.0	0.0	5.6	0.0	2.8	2.8	
	5～6歳	89	10.1	0.0	1.1	7.9	0.0	6.7	3.4	

(3) 育児休業取得後の職場復帰

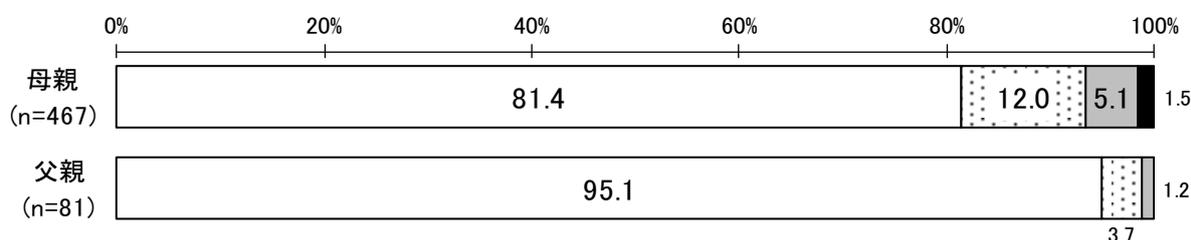
【問26・28で「育児休業を取得した」を選んだ方にうかがいます。】
 問26・28-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(当てはまるもの1つに○)

育児休業取得後の職場復帰については、母親・父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が最も高く、母親が81.4%、父親が95.1%で、母親に比べて父親の割合が高くなっています。一方、母親では「現在も育児休業中である」と回答した割合が12.0%で、父親に比べて高くなっています。

子どもの年齢別でみると、母親の『0歳』では「現在も育児休業中である」の割合が最も高くなっています。

育児休業取得後の職場復帰

- 育児休業取得後、職場に復帰した 現在も育児休業中である
 育児休業中に離職した 無回答



育児休業取得後の職場復帰／子どもの年齢別

(単位：%)

		全体 (n)	育児休業取得後、職場に復帰した	現在も育児休業中である	育児休業中に離職した	無回答
母親	全体	467	81.4	12.0	5.1	1.5
	0歳	46	19.6	78.3	2.2	0.0
	1歳	69	85.5	10.1	2.9	1.4
	2歳	73	90.4	4.1	2.7	2.7
	3歳	85	85.9	1.2	11.8	1.2
	4歳	69	92.8	2.9	2.9	1.4
	5～6歳	89	89.9	2.2	5.6	2.2
父親	全体	81	95.1	3.7	1.2	0.0
	0歳	14	85.7	14.3	0.0	0.0
	1歳	15	100.0	0.0	0.0	0.0
	2歳	22	100.0	0.0	0.0	0.0
	3歳	7	100.0	0.0	0.0	0.0
	4歳	8	100.0	0.0	0.0	0.0
	5～6歳	10	80.0	10.0	10.0	0.0

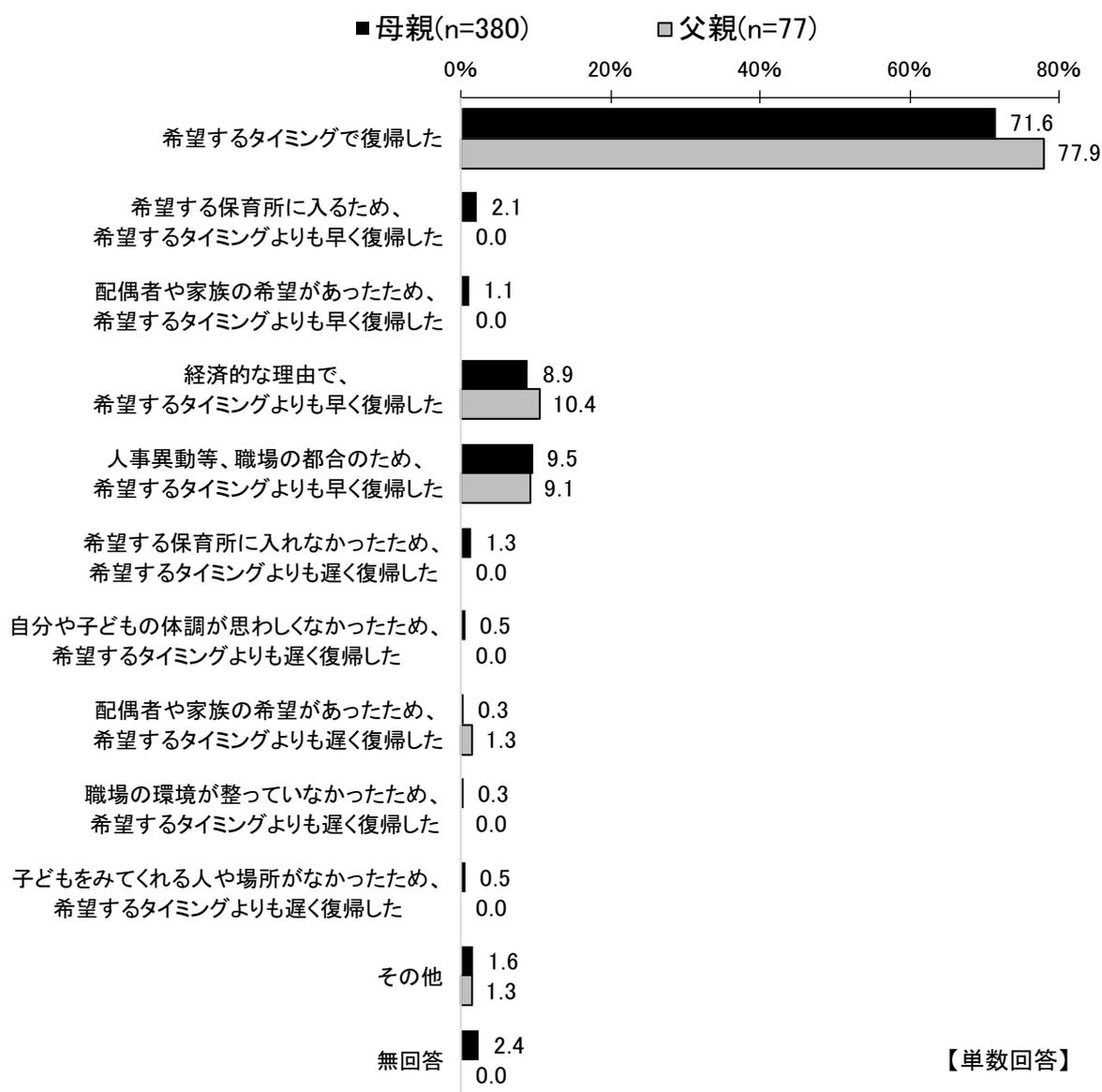
(4) 育児休業から職場復帰のタイミング

【問26・28-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方にうかがいます。】
 問26・28-3 希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができましたか。
 (当てはまるもの1つに○)

育児休業から職場復帰のタイミングについては、母親・父親ともに「希望するタイミングで復帰した」の割合が最も高く、母親が71.6%、父親が77.9%で、母親に比べて父親の割合が高くなっています。

子どもの年齢別でみると、父親の『0歳』では「希望するタイミングで復帰した」の割合が全体に比べて13.8ポイント高くなっています。

育児休業から職場復帰のタイミング



育児休業から職場復帰のタイミング／子どもの年齢別

(単位：%)

		全体(n)	希望するタイミングで復帰した	希望する保育所に入るため、希望するタイミングよりも早く復帰した	配偶者や家族の希望があったため、希望するタイミングよりも早く復帰した	経済的な理由で、希望するタイミングよりも早く復帰した	人事異動等、職場の都合のため、希望するタイミングよりも早く復帰した	希望する保育所に入れなかったため、希望するタイミングよりも遅く復帰した
母親	全体	380	71.6	2.1	1.1	8.9	9.5	1.3
	0歳	9	66.7	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0
	1歳	59	71.2	1.7	0.0	8.5	10.2	3.4
	2歳	66	66.7	0.0	1.5	10.6	15.2	1.5
	3歳	73	75.3	1.4	2.7	11.0	6.8	1.4
	4歳	64	70.3	1.6	1.6	9.4	9.4	1.6
	5～6歳	80	77.5	3.8	0.0	5.0	5.0	0.0
父親	全体	77	77.9	0.0	0.0	10.4	9.1	0.0
	0歳	12	91.7	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
	1歳	15	73.3	0.0	0.0	13.3	13.3	0.0
	2歳	22	81.8	0.0	0.0	4.5	9.1	0.0
	3歳	7	85.7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
	4歳	8	62.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	5～6歳	8	62.5	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0
		全体(n)	自分や子どもの体調が思わしくなかったため、希望するタイミングよりも遅く復帰した	配偶者や家族の希望があったため、希望するタイミングよりも遅く復帰した	職場の環境が整っていないため、希望するタイミングよりも遅く復帰した	子どもをみてくれる人や場所がなかったため、希望するタイミングよりも遅く復帰した	その他	無回答
母親	全体	380	0.5	0.3	0.3	0.5	1.6	2.4
	0歳	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1歳	59	1.7	0.0	0.0	0.0	1.7	1.7
	2歳	66	0.0	0.0	1.5	1.5	0.0	1.5
	3歳	73	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
	4歳	64	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	1.6
	5～6歳	80	1.3	1.3	0.0	1.3	2.5	2.5
父親	全体	77	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3	0.0
	0歳	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1歳	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2歳	22	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0
	3歳	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4歳	8	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	5～6歳	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(5) 職場復帰時の子どもの年齢

【問26・28-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方にうかがいます。】

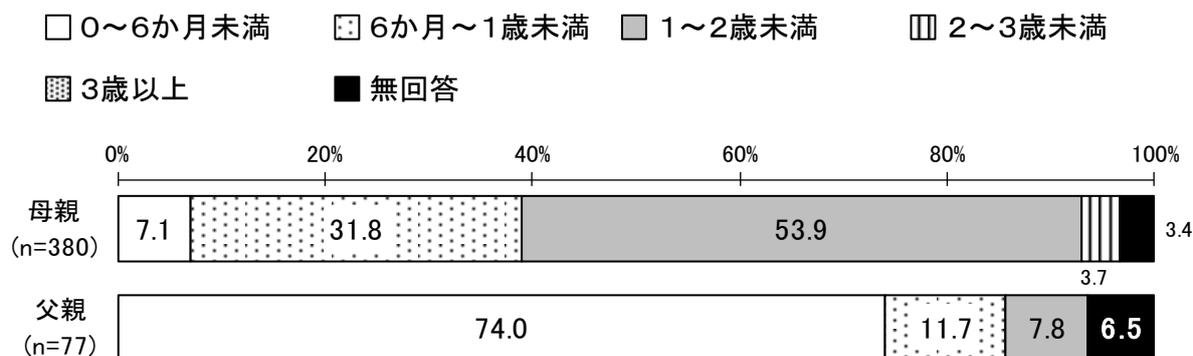
問26・28-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。数字でご記入ください。

実際に職場復帰した際の子どもの年齢については、母親では「1～2歳未満」(53.9%)、父親では「0～6か月未満」(74.0%)の割合が最も高くなっています。次いで、母親・父親ともに「6か月～1歳未満」(31.8%・11.7%)が続きます。

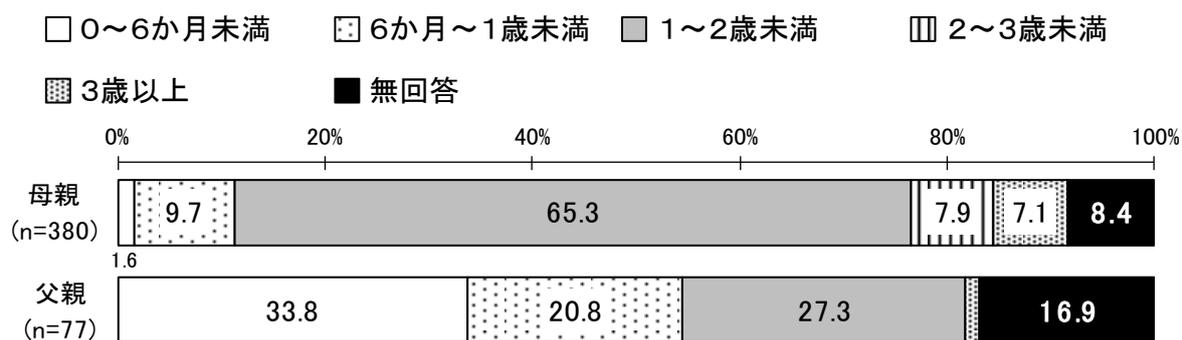
希望する職場復帰時の子どもの年齢については、母親では「1～2歳未満」(65.3%)、父親では「0～6か月未満」(33.8%)の割合が最も高くなっています。次いで母親では「6か月～1歳未満」(9.7%)、父親では「1～2歳未満」(27.3%)が続きます。

実際に職場復帰した際の子どもの年齢と、希望する職場復帰時の子どもの年齢を比べると、母親・父親ともに「0～6か月未満」「6か月～1歳未満」の割合が、希望に比べて実際の方が高いことから、希望する職場復帰時期よりも実際には早く復帰していることがうかがえます。

実際に職場復帰した際の子どもの年齢



希望する職場復帰時の子どもの年齢



1.3

実際に職場復帰した際の子どもの年齢／子どもの年齢別

(単位：%)

		全体(n)	0～6か月未 満	6か月～1歳 未満	1～2歳未 満	2～3歳未 満	3歳以上	無回答
母親	全体	380	7.1	31.8	53.9	3.7	0.0	3.4
	0歳	9	11.1	77.8	11.1	0.0	0.0	0.0
	1歳	59	13.6	25.4	57.6	0.0	0.0	3.4
	2歳	66	4.5	33.3	48.5	6.1	0.0	7.6
	3歳	73	5.5	27.4	60.3	5.5	0.0	1.4
	4歳	64	6.3	35.9	54.7	1.6	0.0	1.6
	5～6歳	80	6.3	27.5	57.5	5.0	0.0	3.8
父親	全体	77	74.0	11.7	7.8	0.0	0.0	6.5
	0歳	12	91.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	1歳	15	86.7	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0
	2歳	22	63.6	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1
	3歳	7	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3
	4歳	8	75.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5
	5～6歳	8	50.0	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5

希望する職場復帰時の子どもの年齢／子どもの年齢別

(単位：%)

		全体(n)	0～6か月未 満	6か月～1歳 未満	1～2歳未 満	2～3歳未 満	3歳以上	無回答
母親	全体	380	1.6	9.7	65.3	7.9	7.1	8.4
	0歳	9	0.0	44.4	33.3	0.0	11.1	11.1
	1歳	59	1.7	10.2	69.5	6.8	6.8	5.1
	2歳	66	0.0	9.1	59.1	7.6	10.6	13.6
	3歳	73	2.7	11.0	58.9	11.0	12.3	4.1
	4歳	64	0.0	7.8	75.0	3.1	4.7	9.4
	5～6歳	80	3.8	8.8	62.5	12.5	3.8	8.8
父親	全体	77	33.8	20.8	27.3	0.0	1.3	16.9
	0歳	12	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7
	1歳	15	40.0	20.0	33.3	0.0	0.0	6.7
	2歳	22	40.9	22.7	13.6	0.0	0.0	22.7
	3歳	7	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	42.9
	4歳	8	25.0	0.0	62.5	0.0	0.0	12.5
	5～6歳	8	12.5	12.5	50.0	0.0	12.5	12.5

(6) 育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望期間

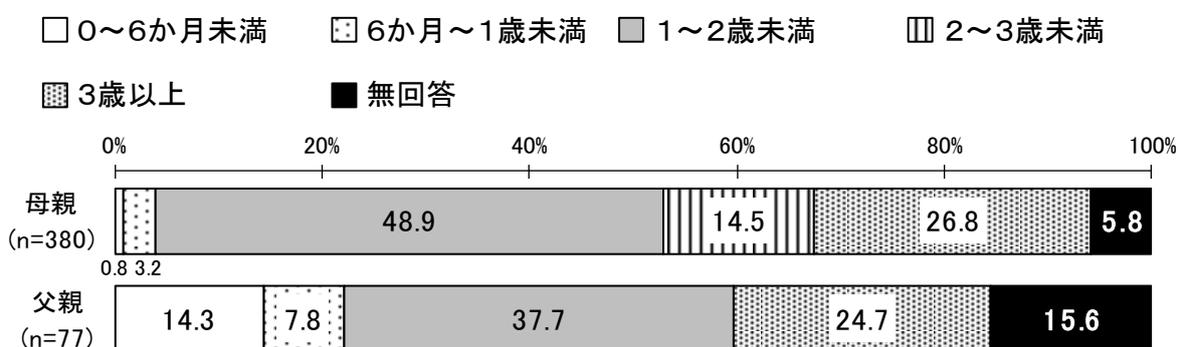
【問26・28-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方にうかがいます。】

問26・28-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。数字でご記入ください。

育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望期間については、母親・父親ともに「1～2歳未満」（48.9%・37.7%）の割合が最も高く、次いで「3歳以上」（26.8%・24.7%）が続きます。以下、母親では「2～3歳未満」（14.5%）、父親では「0～6か月未満」（14.3%）などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、父親の『1歳』では「3歳以上」の割合が最も高くなっています。

育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望期間



育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望期間／子どもの年齢別

(単位：%)

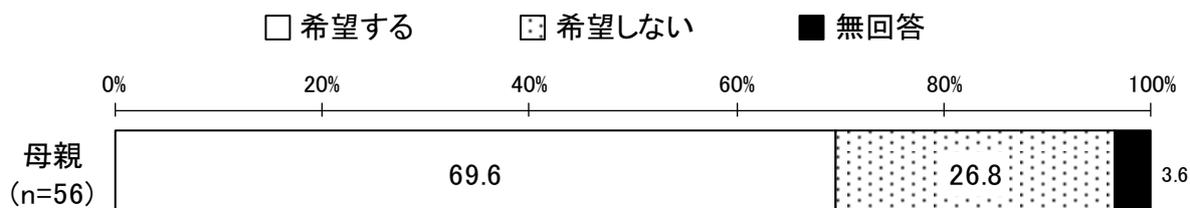
		全体(n)	0～6か月未満	6か月～1歳未満	1～2歳未満	2～3歳未満	3歳以上	無回答
母親	全体	380	0.8	3.2	48.9	14.5	26.8	5.8
	0歳	9	0.0	22.2	33.3	11.1	11.1	22.2
	1歳	59	0.0	3.4	55.9	8.5	25.4	6.8
	2歳	66	0.0	6.1	36.4	16.7	33.3	7.6
	3歳	73	2.7	1.4	43.8	19.2	31.5	1.4
	4歳	64	0.0	3.1	54.7	15.6	25.0	1.6
	5～6歳	80	1.3	1.3	50.0	12.5	25.0	10.0
父親	全体	77	14.3	7.8	37.7	0.0	24.7	15.6
	0歳	12	25.0	8.3	33.3	0.0	25.0	8.3
	1歳	15	20.0	13.3	26.7	0.0	33.3	6.7
	2歳	22	9.1	0.0	45.5	0.0	18.2	27.3
	3歳	7	14.3	42.9	28.6	0.0	0.0	14.3
	4歳	8	12.5	0.0	50.0	0.0	25.0	12.5
	5～6歳	8	12.5	0.0	25.0	0.0	37.5	25.0

(7) 子どもが1歳になった時に必ず利用できる事業があった場合の職場復帰

【問26・28-2で「現在も育児休業中である」を選んだ方にうかがいます。】
 問26・28-6 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、お子さんを預けて職場復帰を希望しますか。(当てはまるもの1つに○)

子どもが1歳になった時に必ず利用できる事業があった場合の職場復帰については、母親では「希望する」の割合が69.6%、「希望しない」の割合が26.8%となっています。

【母親】子どもが1歳になった時に必ず利用できる事業があった場合の職場復帰



【母親】子どもが1歳になった時に必ず利用できる事業があった場合の職場復帰／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	希望する	希望しない	無回答
全体	56	69.6	26.8	3.6
0歳	36	77.8	19.4	2.8
1歳	7	42.9	57.1	0.0
2歳	3	33.3	66.7	0.0
3歳	1	100.0	0.0	0.0
4歳	2	50.0	50.0	0.0
5～6歳	2	50.0	50.0	0.0

父親では「希望する」が1人、「希望しない」が2人となっています。

【父親】子どもが1歳になった時に必ず利用できる事業があった場合の職場復帰

項目	回答数 (n)
希望する	1
希望しない	2
無回答	0
非該当	684
全体 (非該当除く)	3

(8) 育児休業給付、保険料免除についての認知

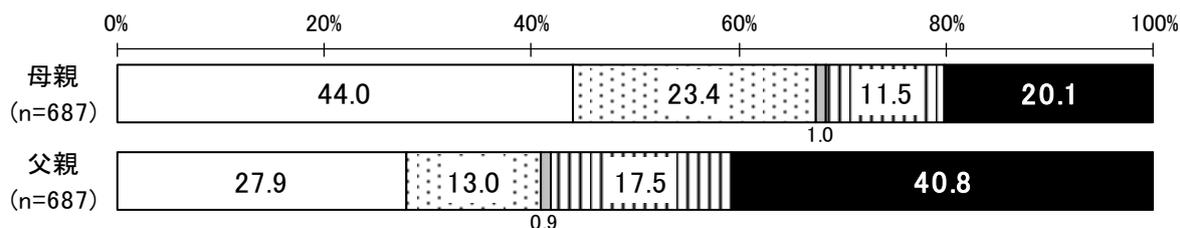
問27・29 育児休業給付、保険料免除について知っていましたか。（当てはまるもの1つに○）

育児休業給付、保険料免除についての認知については、母親・父親ともに「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」（44.0%・27.9%）の割合が最も高く、父親に比べて母親の割合が高くなっています。次いで母親では「育児休業給付のみ知っていた」（23.4%）、父親では「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」（17.5%）が続きます。

子どもの年齢別でみると、父親の『1歳』では「育児休業給付のみ知っていた」、『5～6歳』では「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が最も高くなっています。

育児休業給付、保険料免除についての認知

- 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- 育児休業給付のみ知っていた
- 保険料免除のみ知っていた
- 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった
- 無回答



育児休業給付、保険料免除についての認知／子どもの年齢別

(単位：%)

		全体 (n)	育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	育児休業給付のみ知っていた	保険料免除のみ知っていた	育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	無回答
母親	全体	687	44.0	23.4	1.0	11.5	20.1
	0歳	63	50.8	30.2	1.6	9.5	7.9
	1歳	100	38.0	35.0	0.0	11.0	16.0
	2歳	107	49.5	23.4	0.0	9.3	17.8
	3歳	122	48.4	17.2	0.8	9.0	24.6
	4歳	107	43.9	21.5	0.9	9.3	24.3
	5～6歳	141	34.0	22.0	1.4	18.4	24.1
父親	全体	687	27.9	13.0	0.9	17.5	40.8
	0歳	63	38.1	12.7	1.6	15.9	31.7
	1歳	100	22.0	25.0	0.0	17.0	36.0
	2歳	107	33.6	10.3	0.9	15.9	39.3
	3歳	122	27.9	12.3	1.6	16.4	41.8
	4歳	107	28.0	9.3	1.9	18.7	42.1
	5～6歳	141	19.1	12.8	0.0	19.9	48.2

育児休業給付…子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み（一定の要件を満たす場合は1歳6か月）
 保険料免除…子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み

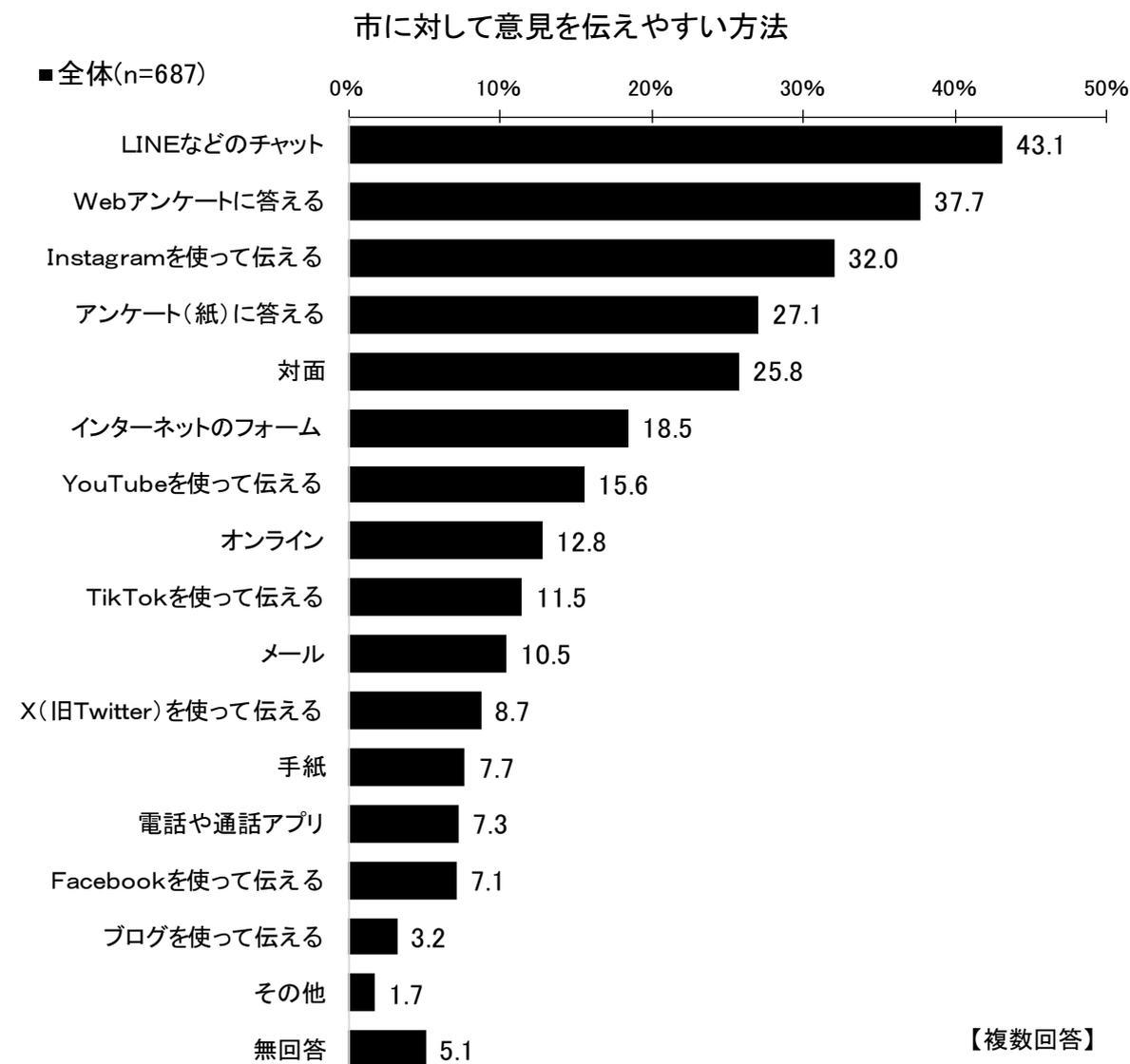
11 子どもや若者の意見反映について

(1) 市に対して意見を伝えやすい方法

問30 国や益田市では、まちづくり等を行うに当たって、子どもや若者の意見の反映に取り組んでいます。どのような方法や手段があれば、お子さんは益田市に対して意見を伝えやすいと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

市に対して意見を伝えやすい方法については、全体では「LINEなどのチャット」の割合が43.1%で最も高く、次いで「Webアンケートに答える」（37.7%）、「Instagramを使って伝える」（32.0%）などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、全体的に「LINEなどのチャット」の割合が高くなっています。



市に対して意見を伝えやすい方法／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体(n)	対面	オンライン	電話や通話アプリ	手紙	メール	インターネットのフォーム	LINEなどのチャット	X(旧Twitter)を使って伝える	Facebookを使って伝える
全体	687	25.8	12.8	7.3	7.7	10.5	18.5	43.1	8.7	7.1
0歳	63	25.4	17.5	4.8	6.3	11.1	20.6	31.7	6.3	6.3
1歳	100	25.0	16.0	4.0	8.0	12.0	22.0	50.0	11.0	8.0
2歳	107	27.1	10.3	7.5	8.4	4.7	16.8	39.3	14.0	3.7
3歳	122	25.4	9.8	8.2	3.3	10.7	21.3	45.9	5.7	7.4
4歳	107	29.9	8.4	14.0	11.2	14.0	19.6	44.9	5.6	7.5
5～6歳	141	22.7	14.2	3.5	10.6	10.6	12.8	39.7	10.6	10.6

	全体(n)	Instagramを使って伝える	TikTokを使って伝える	YouTubeを使って伝える	ブログを使って伝える	アンケート(紙)に答える	Webアンケートに答える	その他	無回答
全体	687	32.0	11.5	15.6	3.2	27.1	37.7	1.7	5.1
0歳	63	38.1	14.3	17.5	0.0	25.4	36.5	1.6	4.8
1歳	100	32.0	11.0	16.0	6.0	32.0	41.0	2.0	4.0
2歳	107	40.2	14.0	18.7	3.7	28.0	35.5	0.9	1.9
3歳	122	26.2	7.4	10.7	0.8	26.2	40.2	2.5	3.3
4歳	107	24.3	5.6	10.3	2.8	31.8	32.7	1.9	8.4
5～6歳	141	34.8	17.7	24.1	5.7	24.8	39.0	0.7	7.1

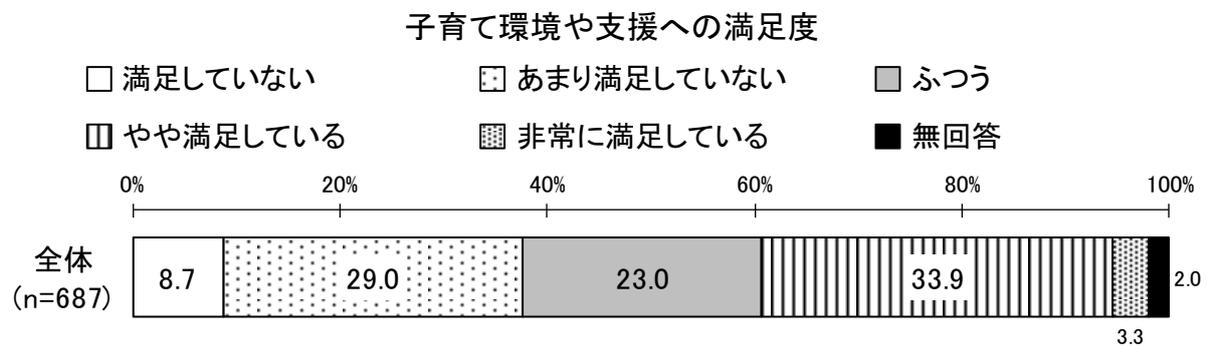
12 さいごに

(1) 子育て環境や支援への満足度

問31 お住まいの地域における、子育て環境や支援への満足度についてお答えください。
(当てはまるもの1つに○)

子育て環境や支援への満足度については、全体では「やや満足している」の割合が33.9%で最も高く、これに「非常に満足している」(3.3%)を合わせた“満足”の割合が37.2%となっています。一方、“不満”(「満足していない」8.7%と「あまり満足していない」29.0%の合計)の割合は37.7%となっています。

子どもの年齢別でみると、『2歳』では「あまり満足していない」の割合が最も高くなっています。



子育て環境や支援への満足度／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	満足して いない	あまり満足 していない	ふつう	やや満足して いる	非常に満足 している	無回答
全体	687	8.7	29.0	23.0	33.9	3.3	2.0
0歳	63	6.3	19.0	31.7	38.1	4.8	0.0
1歳	100	11.0	27.0	17.0	40.0	2.0	3.0
2歳	107	6.5	35.5	19.6	33.6	1.9	2.8
3歳	122	9.0	28.7	23.8	31.1	4.1	3.3
4歳	107	6.5	22.4	30.8	34.6	3.7	1.9
5～6歳	141	8.5	31.2	22.0	34.0	2.8	1.4

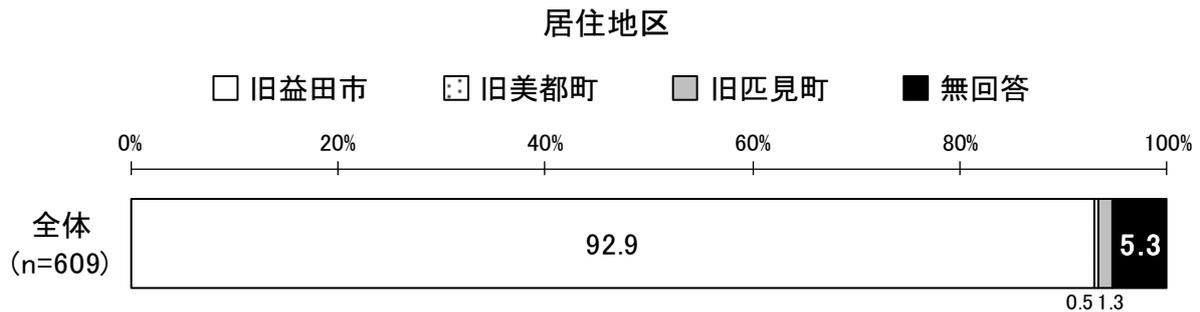
Ⅲ. 小学校就学児童保護者アンケート調査結果

1 お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区名を記入してください。

居住地区については、全体では「旧益田市」の割合が92.9%で最も高く、次いで「旧匹見町」(1.3%)、「旧美都町」(0.5%)などの順となっています。

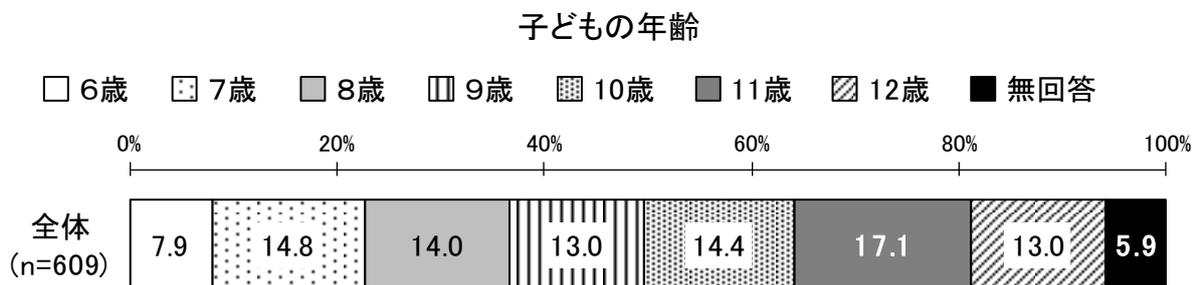


2 子どもと家族の状況について

(1) 子どもの年齢

問2 お子さんの年齢（令和6年1月1日時点）をお答えください。（当てはまるもの1つに○）

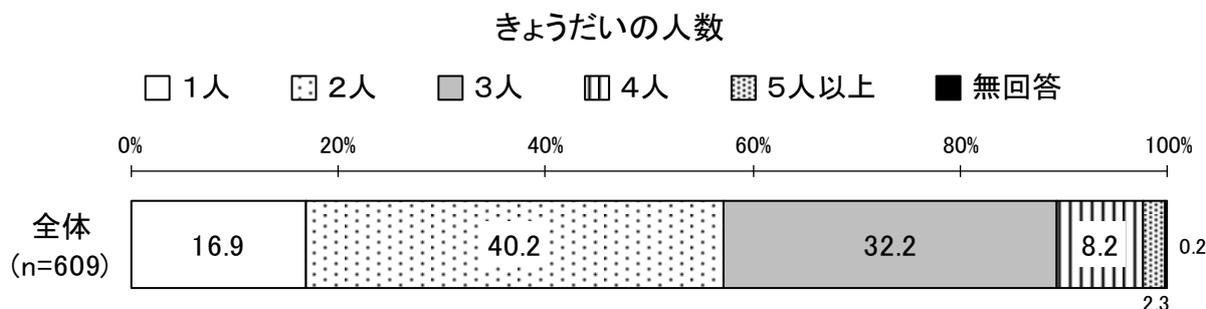
子どもの年齢については、全体では「11歳」の割合が17.1%で最も高く、次いで「7歳」(14.8%)、「10歳」(14.4%)、「8歳」(14.0%)、「9歳」「12歳」(同率13.0%)、「6歳」(7.9%)の順となっています。



(2) きょうだいの人数

問3 お子さんのきょうだいの数（調査対象のお子さんを含めた人数）をお答えください。（当てはまるもの1つに○）

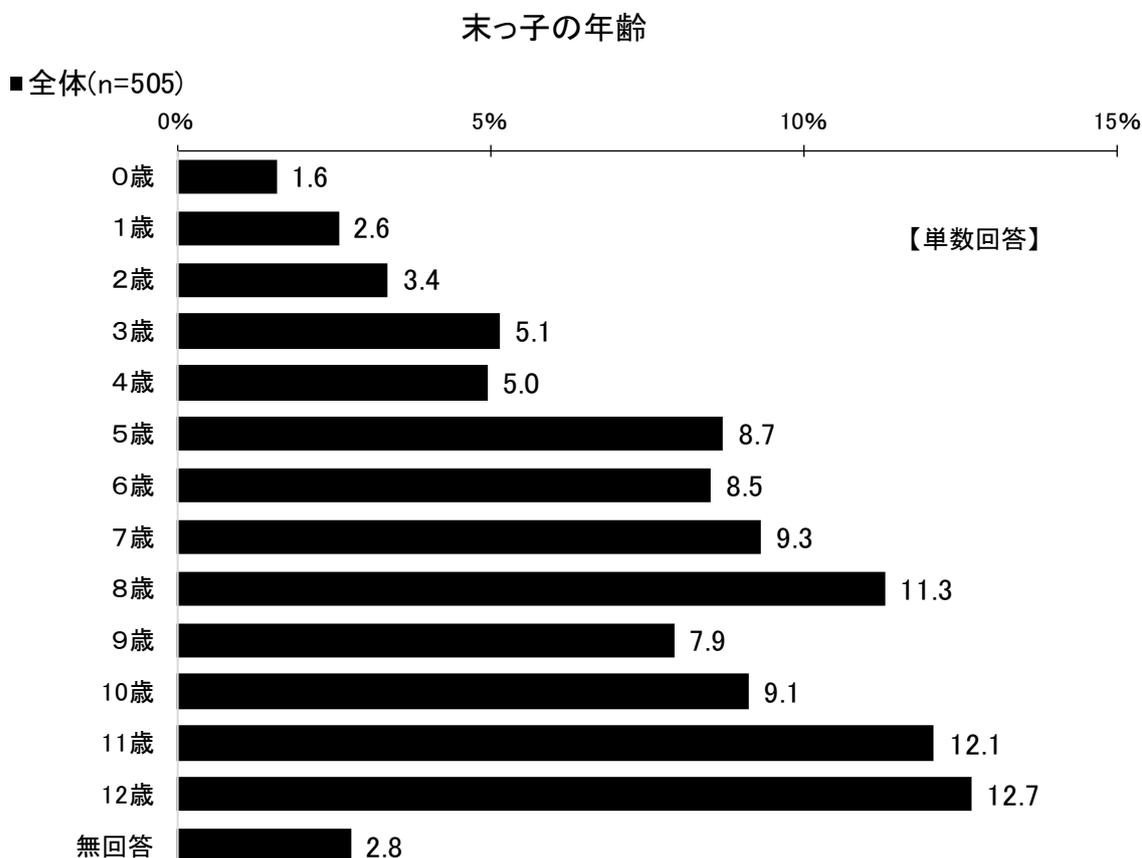
きょうだいの人数については、全体では「2人」の割合が40.2%で最も高く、次いで「3人」（32.2%）、「1人」（16.9%）、「4人」（8.2%）、「5人以上」（2.3%）の順となっています。



(3) 末っ子の年齢

問3-1 2人以上お子さんがいらっしゃる場合、一番下の子の年齢（令和6年1月1日時点※）をお答えください。（当てはまるもの1つに○）
 ※令和6年1月1日以降に生まれたお子さんは「1.0歳」とお答えください。

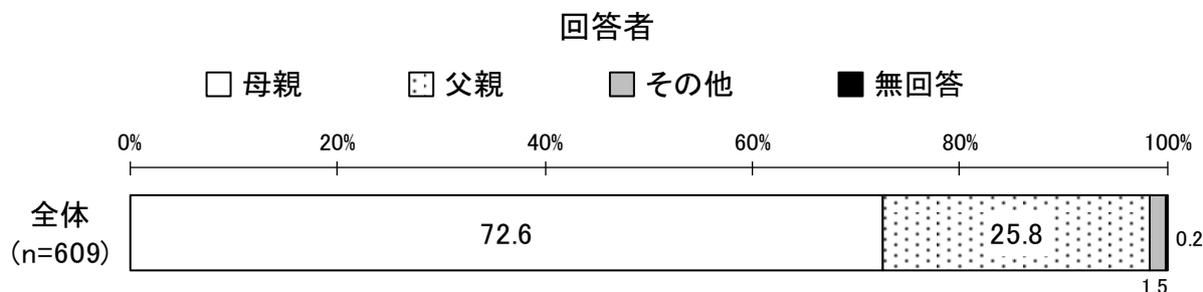
末っ子の年齢については、全体では「12歳」の割合が12.7%で最も高く、次いで「11歳」（12.1%）、「8歳」（11.3%）などの順となっています。



(4) 回答者

問4 この調査にご回答いただく方はどなたですか。(当てはまるもの1つに○)

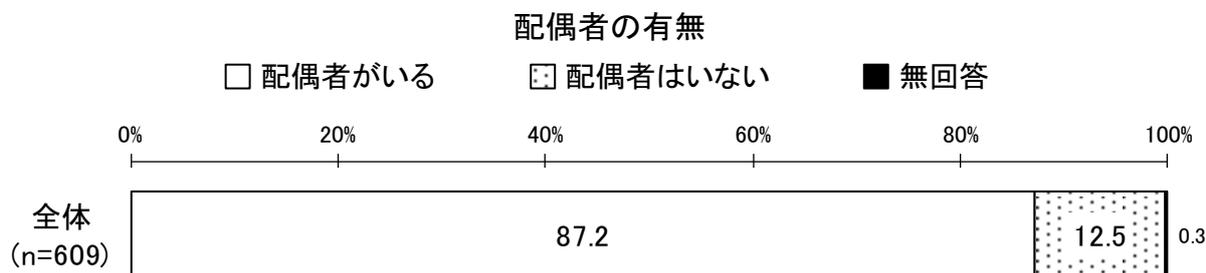
回答者については、全体では「母親」の割合が72.6%で最も高く、次いで「父親」(25.8%)、「その他」(1.5%)の順となっています。



(5) 配偶者の有無

問5 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(当てはまるもの1つに○)

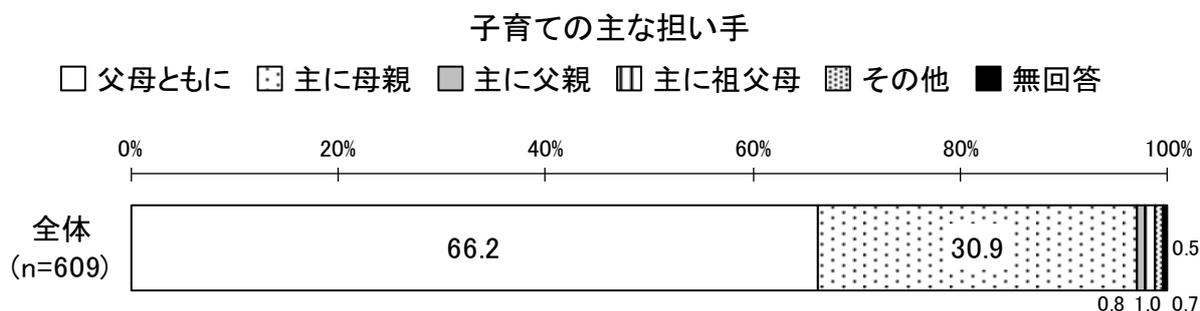
配偶者の有無については、全体では「配偶者がいる」の割合が87.2%を占めており、一方、「配偶者はいない」の割合は12.5%となっています。



(6) 子育ての主な担い手

問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方をお答えください。(当てはまるもの1つに○)

子育ての主な担い手については、全体では「父母ともに」の割合が66.2%で最も高く、次いで「主に母親」(30.9%)、「主に祖父母」(1.0%)、「主に父親」(0.8%)などの順となっています。

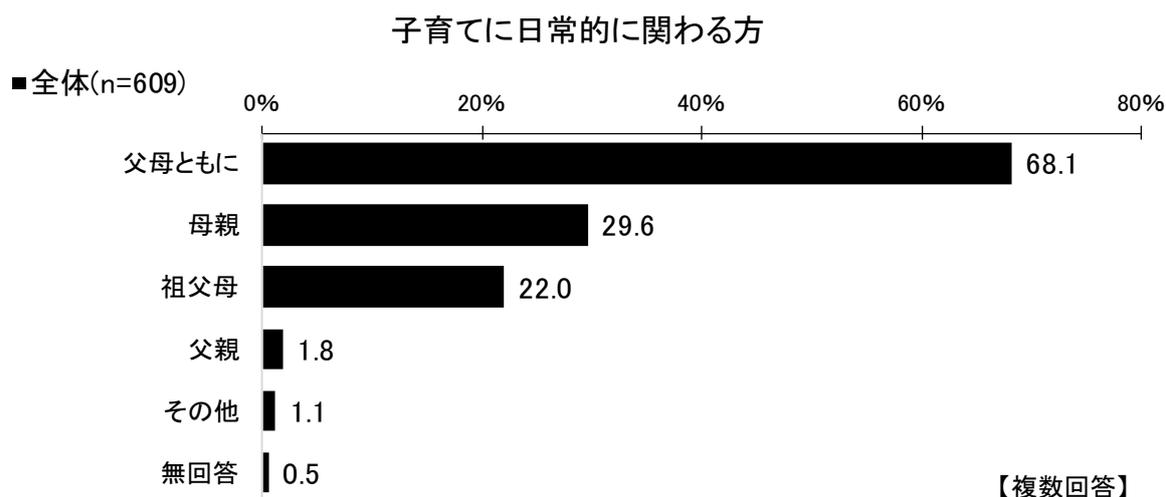


3 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わる方

問7 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（当てはまるものすべてに○）

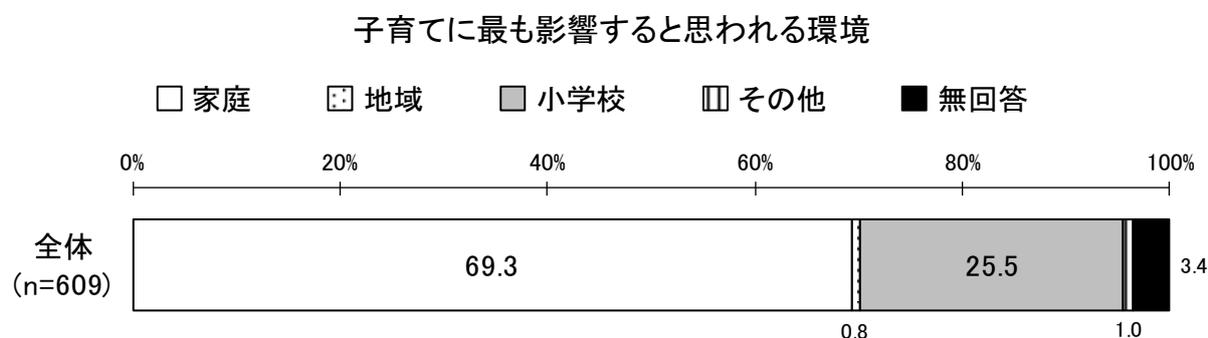
子育てに日常的に関わる方については、全体では「父母ともに」の割合が68.1%で最も高く、次いで「母親」（29.6%）、「祖父母」（22.0%）、「父親」（1.8%）などの順となっています。



(2) 子育てに最も影響すると思われる環境

問8 お子さんの子育て（教育を含む）に、最も影響すると思われる環境についてお答えください。（当てはまるもの1つに○）

子育てに最も影響すると思われる環境については、全体では「家庭」の割合が69.3%で最も高く、次いで「小学校」（25.5%）、「地域」（0.8%）などの順となっています。



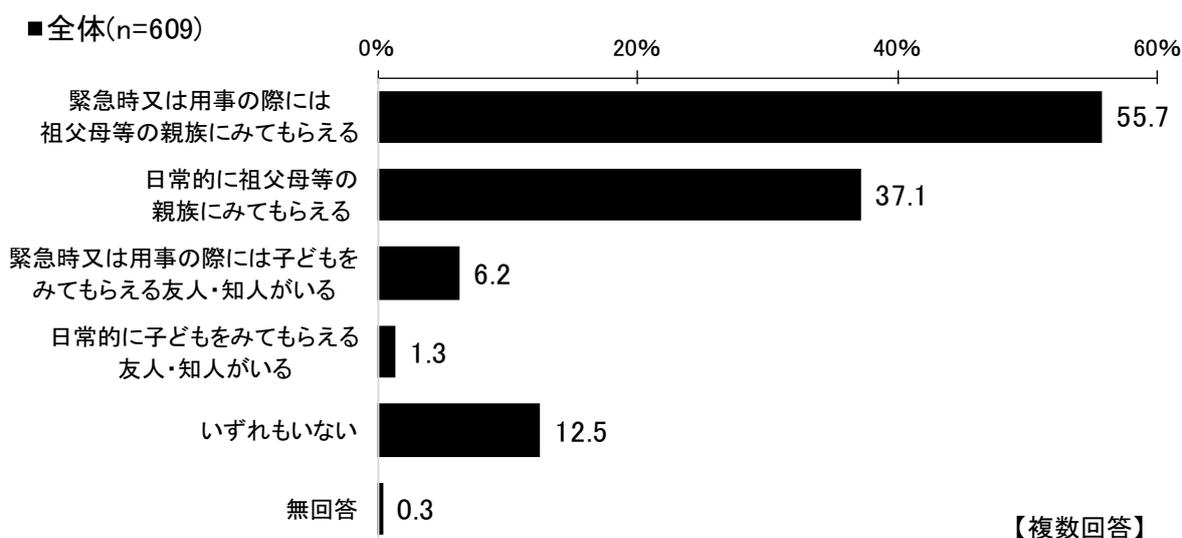
(3) 日頃子どもをみてもらえる親族・知人

問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(当てはまるものすべてに○)

日頃子どもをみてもらえる親族・知人については、全体では「緊急時又は用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が55.7%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(37.1%)、「緊急時又は用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(6.2%)などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、『12歳』では「緊急時又は用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が全体に比べて11.4ポイント低くなっています。

日頃子どもをみてもらえる親族・知人



日頃子どもをみてもらえる親族・知人／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体(n)	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時又は用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時又は用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
全体	609	37.1	55.7	1.3	6.2	12.5	0.3
6歳	48	31.3	64.6	4.2	8.3	12.5	0.0
7歳	90	46.7	53.3	0.0	3.3	7.8	0.0
8歳	85	34.1	64.7	0.0	3.5	14.1	0.0
9歳	79	38.0	57.0	2.5	6.3	6.3	0.0
10歳	88	33.0	53.4	1.1	10.2	14.8	1.1
11歳	104	33.7	60.6	1.0	1.9	14.4	0.0
12歳	79	38.0	44.3	2.5	10.1	17.7	0.0

(4) 親族や知人に子どもをみてもらっている状況

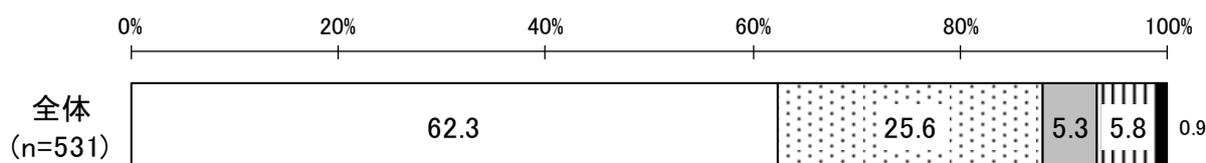
【問9で「いずれもない」以外を選んだ方にうかがいます。】

問9-1 親族や知人（お相手）にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（当てはまるもの1つに○）

親族や知人に子どもをみてもらっている状況については、全体では「相手の負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が62.3%で最も高く、次いで「相手の金銭的・体力的負担や時間的制約が大きく心苦しい」（25.6%）、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」（5.3%）などの順となっています。

親族や知人に子どもをみてもらっている状況

- 相手の負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 相手の金銭的・体力的負担や時間的制約が大きく心苦しい
- 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- その他
- 無回答



親族や知人に子どもをみてもらっている状況／子どもの年齢別

(単位：%)

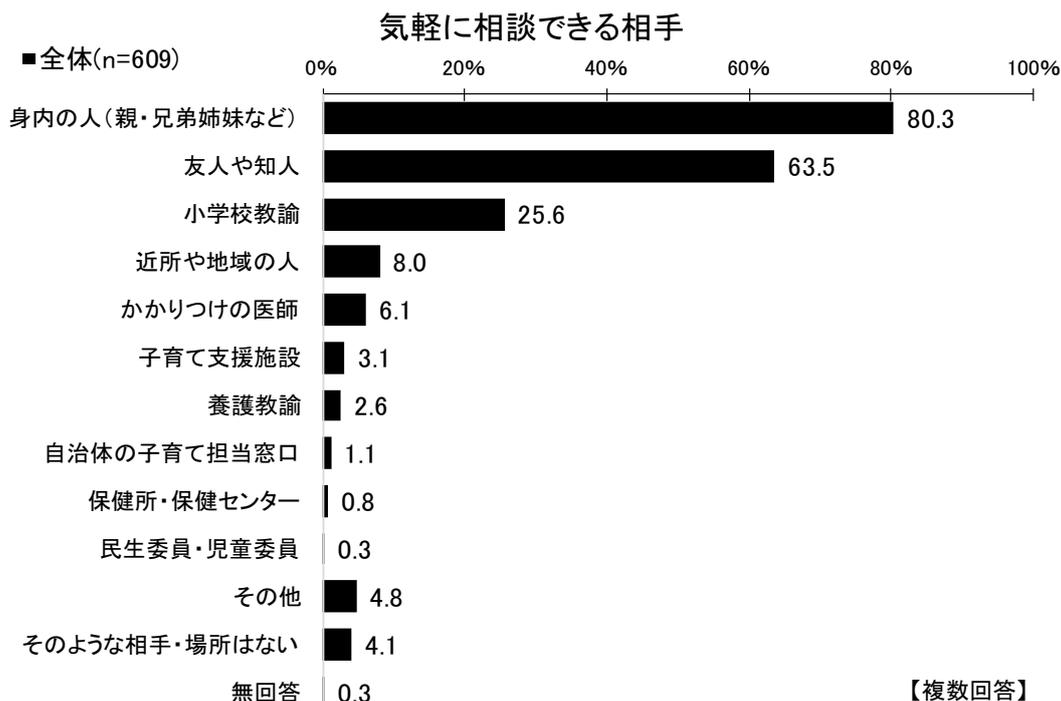
	全体 (n)	相手の負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	相手の金銭的・体力的負担や時間的制約が大きく心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答
全体	531	62.3	25.6	5.3	5.8	0.9
6歳	42	66.7	19.0	7.1	7.1	0.0
7歳	83	60.2	26.5	7.2	4.8	1.2
8歳	73	61.6	23.3	4.1	9.6	1.4
9歳	74	64.9	25.7	4.1	5.4	0.0
10歳	74	67.6	24.3	5.4	1.4	1.4
11歳	89	53.9	32.6	4.5	7.9	1.1
12歳	65	67.7	24.6	0.0	6.2	1.5

(5) 気軽に相談できる相手

問10 子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所は誰（どこ）ですか。
（当てはまるものすべてに○）

気軽に相談できる相手については、全体では「身内の人（親・兄弟姉妹など）」の割合が80.3%で最も高く、次いで「友人や知人」（63.5%）、「小学校教諭」（25.6%）などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、『12歳』では「小学校教諭」の割合が全体に比べて10.4ポイント低くなっています。



気軽に相談できる相手／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体(n)	身内の人 (親・兄弟姉妹など)	友人や知人	近所や地域の 人	子育て支援施 設	保健所・保健 センター	小学校教諭	養護教諭
全体	609	80.3	63.5	8.0	3.1	0.8	25.6	2.6
6歳	48	89.6	72.9	12.5	4.2	2.1	29.2	0.0
7歳	90	83.3	54.4	6.7	2.2	0.0	20.0	3.3
8歳	85	80.0	56.5	8.2	4.7	2.4	32.9	3.5
9歳	79	87.3	68.4	10.1	1.3	0.0	26.6	2.5
10歳	88	71.6	60.2	5.7	5.7	0.0	30.7	4.5
11歳	104	78.8	67.3	8.7	1.9	1.9	25.0	1.0
12歳	79	74.7	67.1	7.6	0.0	0.0	15.2	1.3

	全体(n)	民生委員・児 童委員	かかりつけの 医師	自治体の子育 て担当窓口	その他	そのような相 手・場所はない	無回答
全体	609	0.3	6.1	1.1	4.8	4.1	0.3
6歳	48	2.1	6.3	4.2	8.3	0.0	0.0
7歳	90	0.0	3.3	1.1	4.4	4.4	0.0
8歳	85	0.0	9.4	2.4	4.7	4.7	0.0
9歳	79	1.3	5.1	0.0	1.3	1.3	0.0
10歳	88	0.0	9.1	1.1	10.2	3.4	1.1
11歳	104	0.0	3.8	0.0	4.8	6.7	0.0
12歳	79	0.0	6.3	0.0	2.5	7.6	0.0

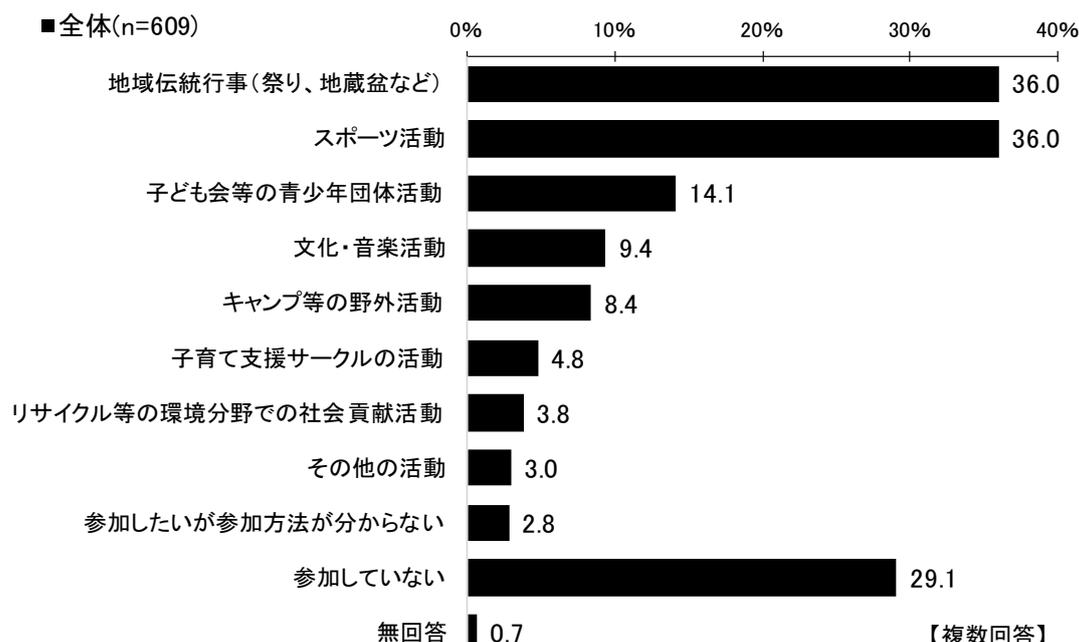
(6) 子どもが参加している地域の催し

問11 お子さんは次のような地域での催しへ参加していますか。（当てはまるものすべてに○）

子どもが参加している地域の催しについては、全体では「地域伝統行事（祭り、地蔵盆など）」「スポーツ活動」の割合が同率36.0%で最も高く、次いで「子ども会等の青少年団体活動」（14.1%）などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、『6歳』では「参加していない」の割合が最も高く、全体に比べて12.6ポイント高くなっています。

子どもが参加している地域の催し



子どもが参加している地域の催し／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体(n)	子育て支援サークルの活動	文化・音楽活動	子ども会等の青少年団体活動	地域伝統行事(祭り、地蔵盆など)	スポーツ活動	キャンプ等の野外活動
全体	609	4.8	9.4	14.1	36.0	36.0	8.4
6歳	48	2.1	6.3	12.5	33.3	18.8	10.4
7歳	90	6.7	14.4	12.2	32.2	34.4	5.6
8歳	85	4.7	9.4	14.1	38.8	32.9	5.9
9歳	79	6.3	8.9	16.5	32.9	38.0	11.4
10歳	88	6.8	10.2	9.1	38.6	39.8	8.0
11歳	104	5.8	8.7	14.4	41.3	32.7	11.5
12歳	79	1.3	6.3	13.9	27.8	41.8	3.8

	全体(n)	リサイクル等の環境分野での社会貢献活動	その他の活動	参加したいが参加方法が分からない	参加していない	無回答
全体	609	3.8	3.0	2.8	29.1	0.7
6歳	48	4.2	6.3	2.1	41.7	0.0
7歳	90	4.4	1.1	6.7	27.8	1.1
8歳	85	1.2	3.5	3.5	34.1	0.0
9歳	79	6.3	2.5	1.3	25.3	1.3
10歳	88	4.5	5.7	1.1	29.5	1.1
11歳	104	5.8	3.8	3.8	24.0	0.0
12歳	79	0.0	0.0	1.3	34.2	1.3

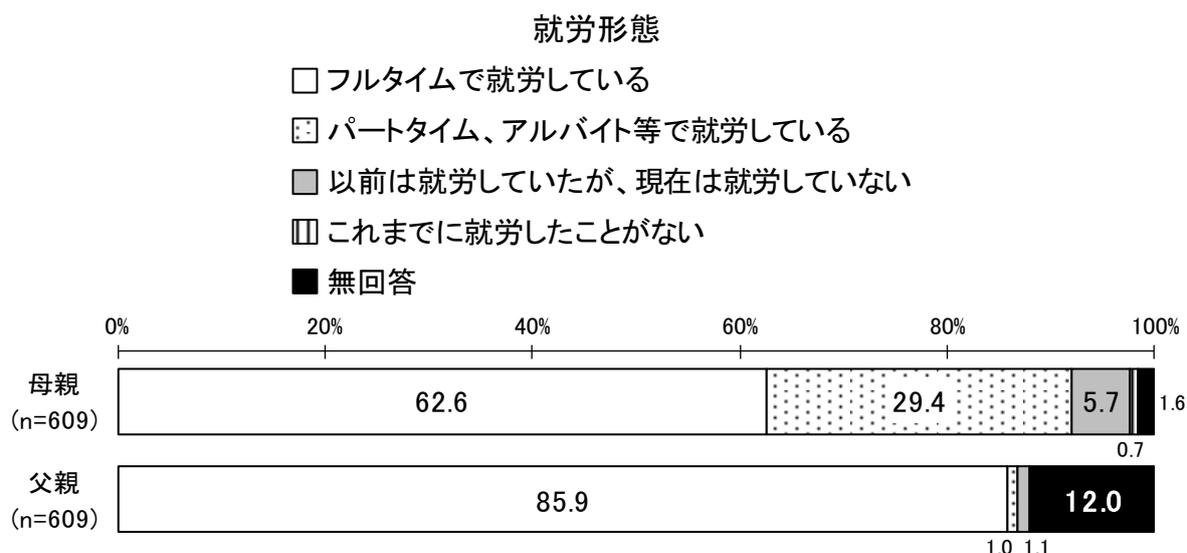
4 保護者の就労状況について

(1) 就労形態

問13・14 就労形態についてお答えください。(当てはまるもの1つに○)

就労形態については、母親・父親ともに「フルタイムで就労している」の割合が最も高く、母親が62.6%、父親が85.9%で、母親に比べて父親の割合が高くなっています。一方、母親では「パートタイム、アルバイト等で就労している」と回答した割合が29.4%で、父親に比べて高くなっています。

子どもの年齢別でみると、母親の『12歳』では「パートタイム、アルバイト等で就労している」と回答した割合が全体に比べて11.1ポイント高くなっています。



就労形態／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	フルタイムで就労している	パートタイム、アルバイト等で就労している	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまでに就労したことがない	無回答	
		全体	609	62.6	29.4	5.7	0.7
母親	6歳	48	64.6	29.2	2.1	0.0	4.2
	7歳	90	64.4	31.1	2.2	2.2	0.0
	8歳	85	57.6	24.7	14.1	1.2	2.4
	9歳	79	62.0	31.6	5.1	0.0	1.3
	10歳	88	64.8	26.1	6.8	0.0	2.3
	11歳	104	68.3	23.1	6.7	1.0	1.0
	12歳	79	57.0	40.5	2.5	0.0	0.0
父親	全体	609	85.9	1.0	1.1	0.0	12.0
	6歳	48	87.5	0.0	2.1	0.0	10.4
	7歳	90	88.9	0.0	0.0	0.0	11.1
	8歳	85	83.5	0.0	0.0	0.0	16.5
	9歳	79	84.8	1.3	2.5	0.0	11.4
	10歳	88	87.5	1.1	1.1	0.0	10.2
	11歳	104	85.6	2.9	0.0	0.0	11.5
12歳	79	84.8	1.3	2.5	0.0	11.4	

(2) 普段の就労時間

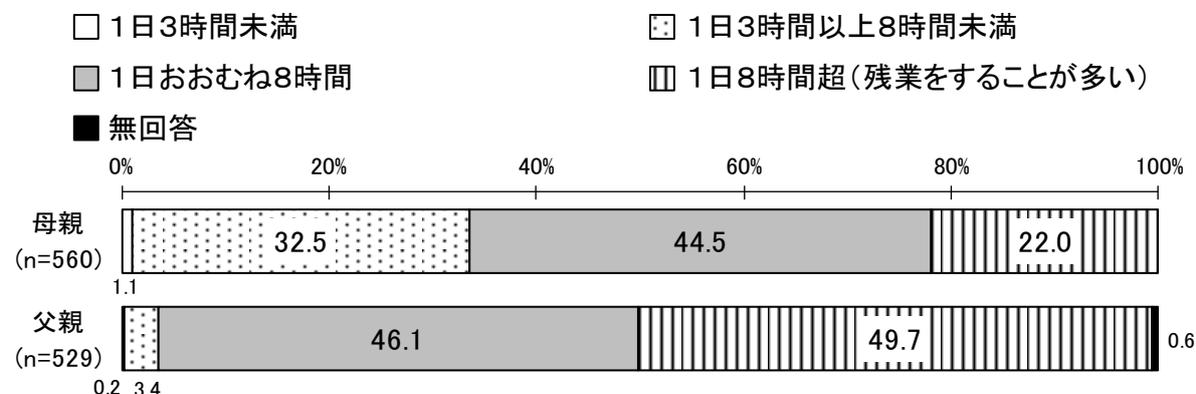
【問13・14で「フルタイムで就労している」「パートタイム、アルバイト等で就労している」を選んだ方にうかがいます。】

問13・14-1 普段の就労時間について、最も多いパターンをお答えください。（当てはまるもの1つに○）

普段の就労時間については、母親では「1日おおむね8時間」の割合が44.5%で最も高く、父親では「1日8時間超（残業をすることが多い）」の割合が49.7%で最も高くなっています。次いで母親では「1日3時間以上8時間未満」（32.5%）、父親では「1日おおむね8時間」（46.1%）が続き、父親は母親に比べて普段の就労時間が長くなっています。

子どもの年齢別でみると、母親の『12歳』では「1日3時間以上8時間未満」の割合が最も高く、それ以外の年齢では「1日おおむね8時間」の割合が最も高くなっています。一方、父親の『6歳』では「1日おおむね8時間」の割合が最も高く、それ以外の年齢では「1日8時間超（残業をすることが多い）」の割合が最も高くなっています。

普段の就労時間



普段の就労時間／子どもの年齢別

(単位：%)

		全体 (n)	1日3時間未満	1日3時間以上8時間未満	1日おおむね8時間	1日8時間超(残業をすることが多い)	無回答
母親	全体	560	1.1	32.5	44.5	22.0	0.0
	6歳	45	2.2	26.7	51.1	20.0	0.0
	7歳	86	0.0	31.4	48.8	19.8	0.0
	8歳	70	1.4	27.1	54.3	17.1	0.0
	9歳	74	2.7	32.4	45.9	18.9	0.0
	10歳	80	0.0	33.8	43.8	22.5	0.0
	11歳	95	1.1	26.3	40.0	32.6	0.0
	12歳	77	1.3	44.2	35.1	19.5	0.0
父親	全体	529	0.2	3.4	46.1	49.7	0.6
	6歳	42	0.0	0.0	61.9	35.7	2.4
	7歳	80	0.0	1.3	42.5	56.3	0.0
	8歳	71	0.0	2.8	43.7	52.1	1.4
	9歳	68	0.0	4.4	45.6	50.0	0.0
	10歳	78	0.0	2.6	46.2	50.0	1.3
	11歳	92	1.1	5.4	44.6	48.9	0.0
	12歳	68	0.0	4.4	45.6	50.0	0.0

(3) 普段の就労時間帯

【問13・14で「フルタイムで就労している」「パートタイム、アルバイト等で就労している」を選んだ方にうかがいます。】

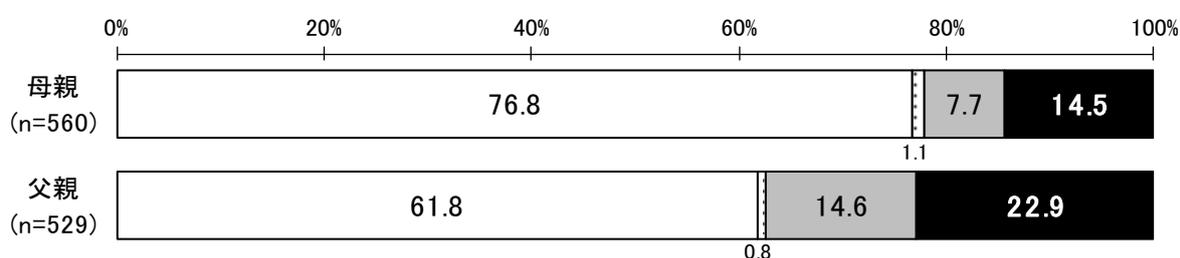
問13・14-2 普段の就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。（当てはまるもの1つに○）

普段の就労時間帯については、母親・父親ともに「主に昼間の就労」（76.8%・61.8%）の割合が最も高くなっています。

子どもの年齢別でみると、父親の『9歳』では「主に昼間の就労」の割合が全体に比べて13.3ポイント低くなっています。

普段の就労時間帯

□ 主に昼間の就労 ◻ 主に夜間の就労 ■ 昼間・夜間の就労、いずれもある ■ 無回答



普段の就労時間帯／子どもの年齢別

(単位：%)

		全体 (n)	主に昼間の就労	主に夜間の就労	昼間・夜間の就労、いずれもある	無回答
母親	全体	560	76.8	1.1	7.7	14.5
	6歳	45	80.0	2.2	0.0	17.8
	7歳	86	82.6	2.3	4.7	10.5
	8歳	70	78.6	0.0	8.6	12.9
	9歳	74	71.6	0.0	10.8	17.6
	10歳	80	73.8	0.0	12.5	13.8
	11歳	95	82.1	0.0	6.3	11.6
	12歳	77	70.1	3.9	9.1	16.9
父親	全体	529	61.8	0.8	14.6	22.9
	6歳	42	64.3	0.0	11.9	23.8
	7歳	80	70.0	2.5	16.3	11.3
	8歳	71	70.4	0.0	15.5	14.1
	9歳	68	48.5	2.9	14.7	33.8
	10歳	78	61.5	0.0	14.1	24.4
	11歳	92	58.7	0.0	17.4	23.9
	12歳	68	55.9	0.0	11.8	32.4

(4) フルタイム就労への転換希望

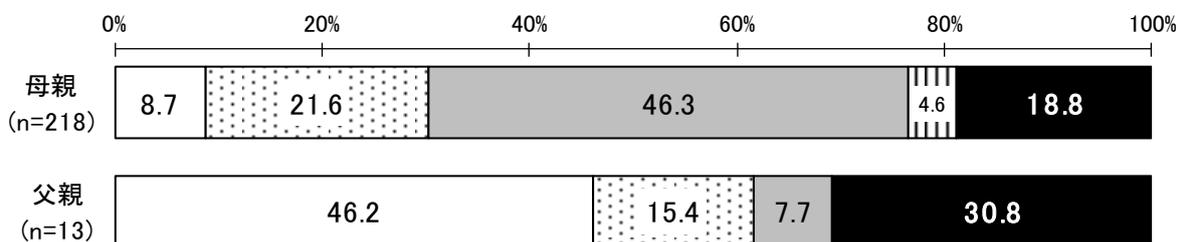
【問13・14で「フルタイムで就労している」以外を選んだ方にうかがいます。】
 問13・14-3 今後、フルタイム就労への転換を希望されますか。(当てはまるもの1つに○)

フルタイム就労への転換希望については、母親では「今後(も)パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」の割合が46.3%で最も高く、次いで「出来ればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」(21.6%)、「出来ればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(8.7%)、「今後(も)就労せず、子育てや家事に専念したい」(4.6%)の順となっています。一方、父親では「出来ればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」(15.4%)、「今後(も)パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」(7.7%)の順となっています。

子どもの年齢別でみると、母親の『6歳』では「出来ればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が全体と比べて18ポイント高くなっています。

フルタイム就労への転換希望

- 出来ればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- 出来ればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない
- 今後(も)パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する
- 今後(も)就労せず、子育てや家事に専念したい
- 無回答



フルタイム就労への転換希望／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	出来ればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	出来ればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない	今後(も)パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する	今後(も)就労せず、子育てや家事に専念したい	無回答	
全体	218	8.7	21.6	46.3	4.6	18.8	
母親	6歳	15	26.7	20.0	46.7	0.0	6.7
	7歳	32	6.3	31.3	53.1	3.1	6.3
	8歳	34	5.9	20.6	44.1	17.6	11.8
	9歳	29	17.2	10.3	44.8	0.0	27.6
	10歳	29	3.4	27.6	41.4	6.9	20.7
	11歳	32	9.4	9.4	43.8	3.1	34.4
	12歳	34	2.9	20.6	58.8	0.0	17.6
父親	全体	13	46.2	15.4	7.7	0.0	30.8
	6歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9歳	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
	10歳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	11歳	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0

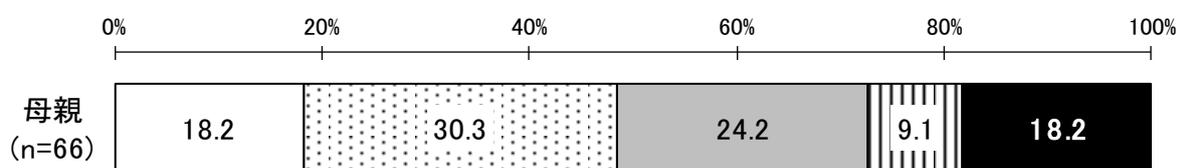
(5) フルタイム就労への転換希望時期

【問13・14-3で「出来ればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「出来ればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」を選んだ方にうかがいます。】
 問13・14-4 フルタイム就労への転換希望時期をお答えください。（当てはまるもの1つに○）

フルタイム就労への転換希望時期については、母親では「子どもが小学生のうちに」の割合が30.3%で最も高く、次いで「子どもが中学生になったら」（24.2%）、「今すぐに」（18.2%）などの順となっています。

【母親】フルタイム就労への転換希望時期

- 今すぐに 子どもが小学生のうちに 子どもが中学生になったら
 子どもが高校生になったら 無回答



【母親】フルタイム就労への転換希望時期／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	今すぐに	子どもが小学生のうちに	子どもが中学生になったら	子どもが高校生になったら	無回答
全体	66	18.2	30.3	24.2	9.1	18.2
6歳	7	14.3	57.1	14.3	0.0	14.3
7歳	12	16.7	33.3	33.3	0.0	16.7
8歳	9	11.1	33.3	33.3	11.1	11.1
9歳	8	37.5	37.5	12.5	0.0	12.5
10歳	9	22.2	11.1	22.2	11.1	33.3
11歳	6	16.7	33.3	33.3	0.0	16.7
12歳	8	25.0	0.0	12.5	25.0	37.5

父親では「今すぐに」が4人、「子どもが小学生のうちに」と「子どもが中学生になったら」が1人ずつとなっています。

【父親】フルタイム就労への転換希望時期

項目	回答数 (n)
今すぐに	4
子どもが小学生のうちに	1
子どもが中学生になったら	1
子どもが高校生になったら	0
無回答	2
非該当	601
全体（非該当除く）	8

5 子どもの病気やけがの際の対応について

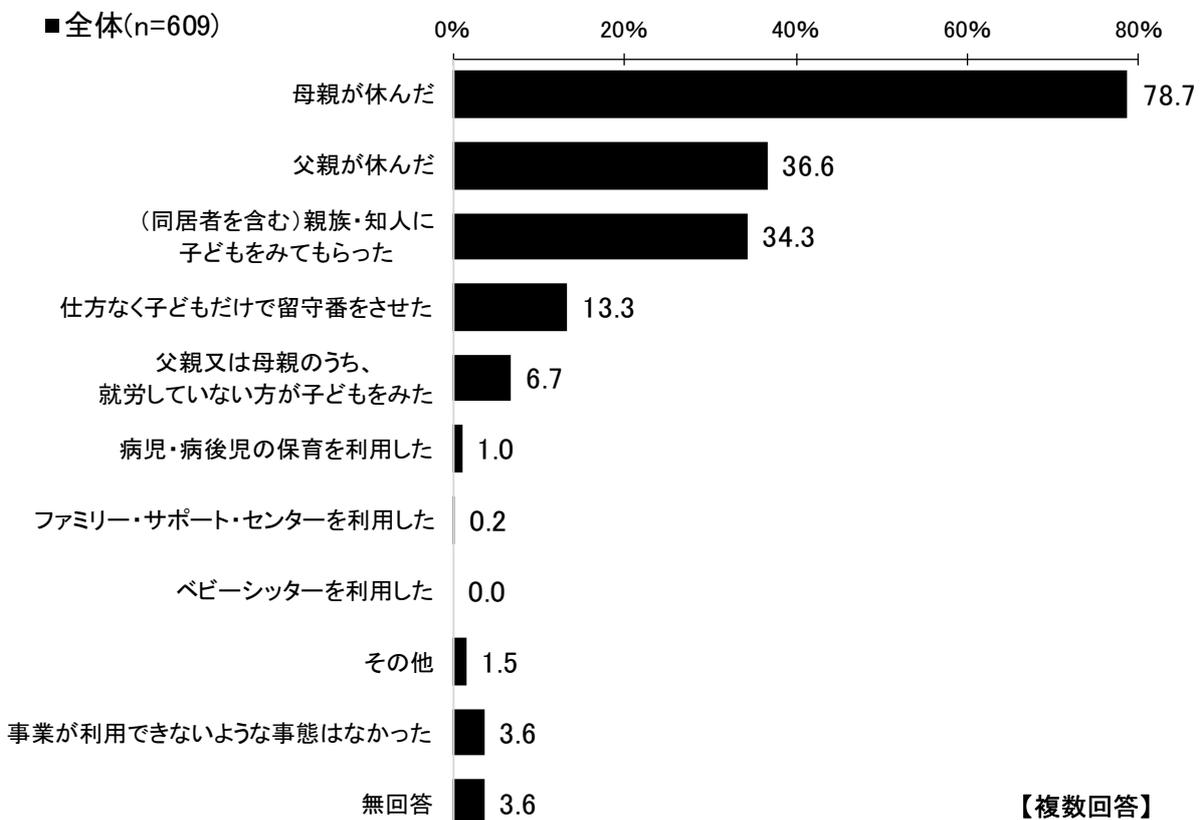
(1) 子どもが傷病の場合の1年間の対処方法

問15 お子さんが、病気やけがで通常の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法について、当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も具体的な数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

子どもが傷病の場合の1年間の対処方法については、全体では「母親が休んだ」の割合が78.7%で最も高く、次いで「父親が休んだ」（36.6%）、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」（34.3%）などの順となっています。

子どもの年齢別で見ると、『12歳』では「父親が休んだ」の割合が全体と比べて17.6ポイント低くなっています。また、『6歳』では「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が全体と比べて15.7ポイント高く、一方、『11～12歳』では10ポイント以上低くなっています。

子どもが傷病の場合の1年間の対処方法



子どもが傷病の場合の1年間の対処方法／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち、就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した
全体	609	36.6	78.7	34.3	6.7	1.0	0.0
6歳	48	45.8	85.4	50.0	4.2	0.0	0.0
7歳	90	47.8	85.6	43.3	4.4	3.3	0.0
8歳	85	32.9	71.8	36.5	14.1	0.0	0.0
9歳	79	38.0	83.5	40.5	7.6	0.0	0.0
10歳	88	35.2	73.9	38.6	6.8	0.0	0.0
11歳	104	37.5	73.1	19.2	6.7	1.9	0.0
12歳	79	19.0	81.0	21.5	3.8	0.0	0.0

	全体 (n)	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	事業が利用できないような事態はなかった	無回答
全体	609	0.2	13.3	1.5	3.6	3.6
6歳	48	0.0	12.5	4.2	4.2	0.0
7歳	90	0.0	6.7	2.2	1.1	2.2
8歳	85	0.0	10.6	3.5	2.4	3.5
9歳	79	0.0	16.5	0.0	2.5	1.3
10歳	88	0.0	13.6	1.1	5.7	1.1
11歳	104	0.0	17.3	1.0	3.8	8.7
12歳	79	1.3	16.5	0.0	7.6	2.5

1年間の対処方法と日数

(上段：n、下段：%)

1年間の対処方法と日数	全体	1～2日	3～4日	5～10日	11～15日	16～20日	21～25日	26～30日	31日以上	無回答
		n	n	n	n	n	n	n	n	
1. 父親が休んだ	223	83	54	71	5	3	0	0	1	6
		37.2	24.2	31.8	2.2	1.3	0.0	0.0	0.4	2.7
2. 母親が休んだ	479	91	89	211	23	21	4	7	5	28
		19.0	18.6	44.1	4.8	4.4	0.8	1.5	1.0	5.8
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	209	61	51	68	6	5	0	3	0	15
		29.2	24.4	32.5	2.9	2.4	0.0	1.4	0.0	7.2
4. 父親又は母親のうち、就労していない方が子どもをみた	41	8	6	15	3	4	1	0	1	3
		19.5	14.6	36.6	7.3	9.8	2.4	0.0	2.4	7.3
5. 病児・病後児の保育を利用した	6	2	2	1	1	0	0	0	0	0
		33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. ベビーシッターを利用した	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	81	32	23	19	1	2	0	0	0	4
		39.5	28.4	23.5	1.2	2.5	0.0	0.0	0.0	4.9
9. その他	9	1	2	2	0	0	0	0	1	3
		11.1	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	33.3

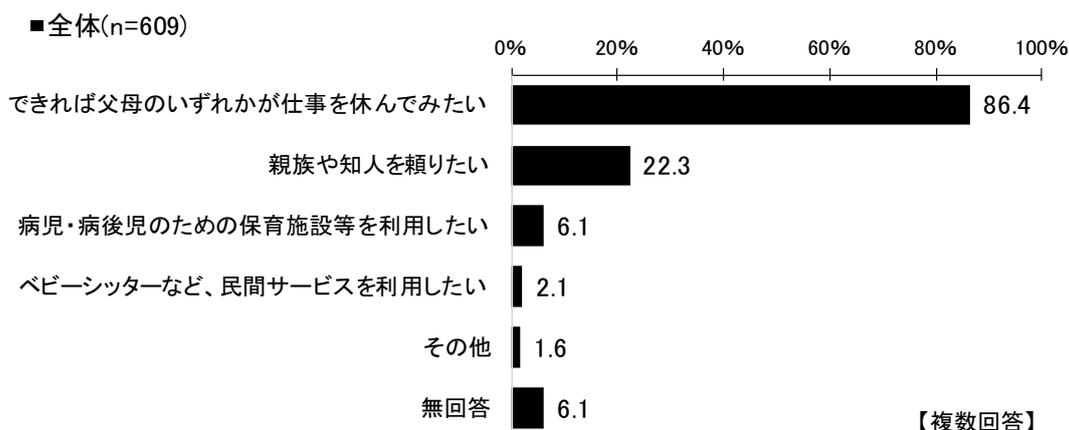
(2) 子どもが傷病の際に希望する対処法

問16 お子さんが病気やけがの際、どのように対応することを希望しますか。当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も具体的な数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

子どもが傷病の際に希望する対処法については、全体では「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」の割合が86.4%で最も高く、次いで「親族や知人を頼りたい」（22.3%）、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」（6.1%）などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、『12歳』では「親族や知人を頼りたい」の割合が全体に比べて10.9ポイント低くなっています。

子どもが傷病の際に希望する対処法



子どもが傷病の際に希望する対処法／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい	病児・病後児のための保育施設等を利用したい	ベビーシッターなど、民間サービスを利用したい	親族や知人を頼りたい	その他	無回答
全体	609	86.4	6.1	2.1	22.3	1.6	6.1
6歳	48	91.7	4.2	0.0	33.3	2.1	2.1
7歳	90	86.7	13.3	4.4	21.1	0.0	4.4
8歳	85	84.7	4.7	1.2	25.9	3.5	5.9
9歳	79	94.9	5.1	2.5	25.3	0.0	1.3
10歳	88	88.6	2.3	1.1	26.1	1.1	5.7
11歳	104	79.8	4.8	3.8	16.3	3.8	10.6
12歳	79	86.1	5.1	0.0	11.4	1.3	6.3

子どもが傷病の際に希望する年間対処日数

(上段：n、下段：%)

子どもが傷病の際に希望する年間対処日数	全体	1～2日	3～4日	5～10日	11～15日	16～20日	21～25日	26～30日	31日以上	無回答
1. できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい	526	27 5.1	40 7.6	306 58.2	24 4.6	31 5.9	2 0.4	19 3.6	3 0.6	74 14.1
2. 病児・病後児のための保育施設等を利用したい	37	7 18.9	4 10.8	14 37.8	2 5.4	0 0.0	0 0.0	3 8.1	1 2.7	6 16.2
3. ベビーシッターなど、民間サービスを利用したい	13	4 30.8	1 7.7	6 46.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4
4. 親族や知人を頼りたい	136	20 14.7	28 20.6	57 41.9	3 2.2	2 1.5	0 0.0	2 1.5	0 0.0	24 17.6
5. その他	10	1 10.0	0 0.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	5 50.0

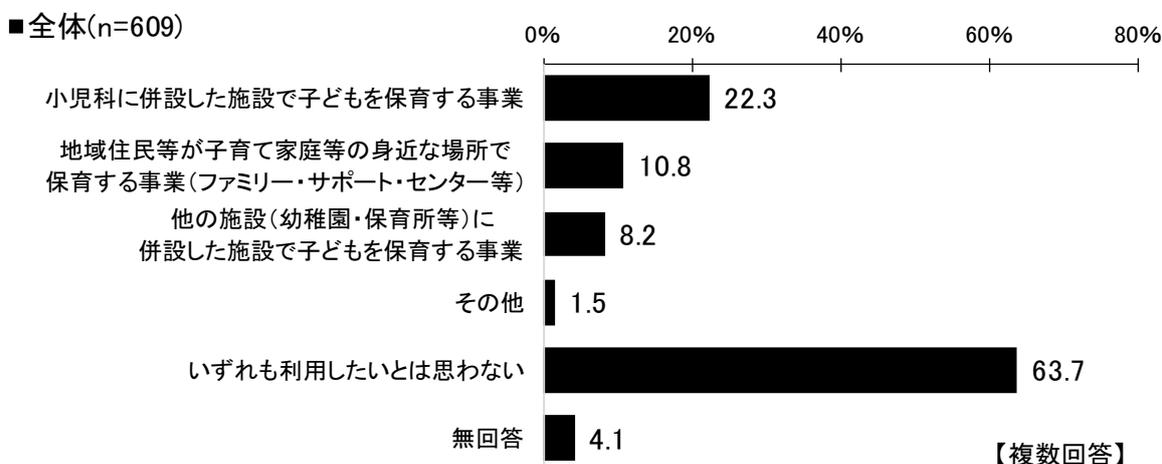
(3) 子どもが傷病の際に利用したい病児・病後児のための保育事業

問17 今後、お子さんが病気やけがの際、利用したい病児・病後児のための保育事業等がありますか。(当てはまるものすべてに○)

子どもが傷病の際に利用したい病児・病後児のための保育事業については、全体では「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が22.3%で最も高く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(ファミリー・サポート・センター等)」(10.8%)、「他の施設(幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」(8.2%)などの順となっています。なお、「いずれも利用したいと思わない」の割合は63.7%となっています。

子どもの年齢別でみると、『7歳』では「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が全体と比べて14.4ポイント高く、一方、「いずれも利用したいと思わない」の割合は全体と比べて19.3ポイント低くなっています。また、『12歳』では「いずれも利用したいと思わない」の割合が全体と比べて13.5ポイント高くなっています。

子どもが傷病の際に利用したい病児・病後児のための保育事業



子どもが傷病の際に利用したい病児・病後児のための保育事業／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体(n)	他の施設(幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業	小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(ファミリー・サポート・センター等)	その他	いずれも利用したいと思わない	無回答
全体	609	8.2	22.3	10.8	1.5	63.7	4.1
6歳	48	12.5	20.8	8.3	2.1	68.8	2.1
7歳	90	17.8	36.7	14.4	2.2	44.4	2.2
8歳	85	8.2	27.1	11.8	2.4	61.2	3.5
9歳	79	12.7	22.8	13.9	1.3	60.8	2.5
10歳	88	1.1	20.5	5.7	2.3	69.3	4.5
11歳	104	2.9	16.3	11.5	1.0	68.3	5.8
12歳	79	3.8	12.7	5.1	0.0	77.2	6.3

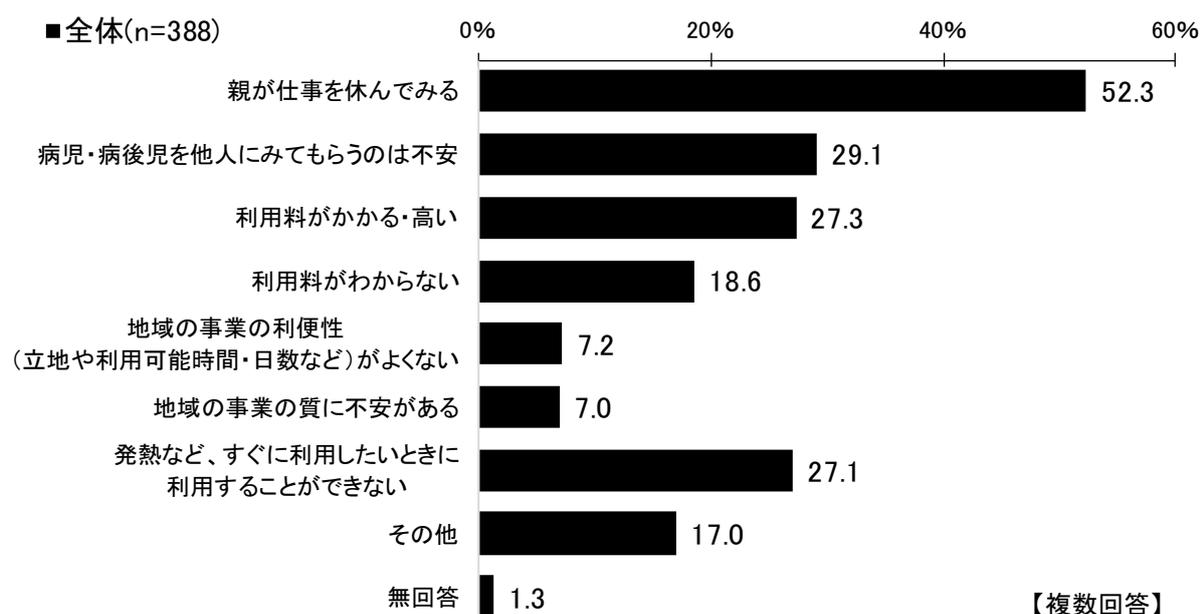
(4) 病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由

【問17で「いずれも利用したいとは思わない」を選んだ方にかがいます。】
 問17-1 病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由については、全体では「親が仕事を休んでみる」の割合が52.3%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」（29.1%）、「利用料がかかる・高い」（27.3%）などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、『6～7歳』では「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が全体と比べて10ポイント以上高くなっています。

病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由



病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由／子どもの年齢別

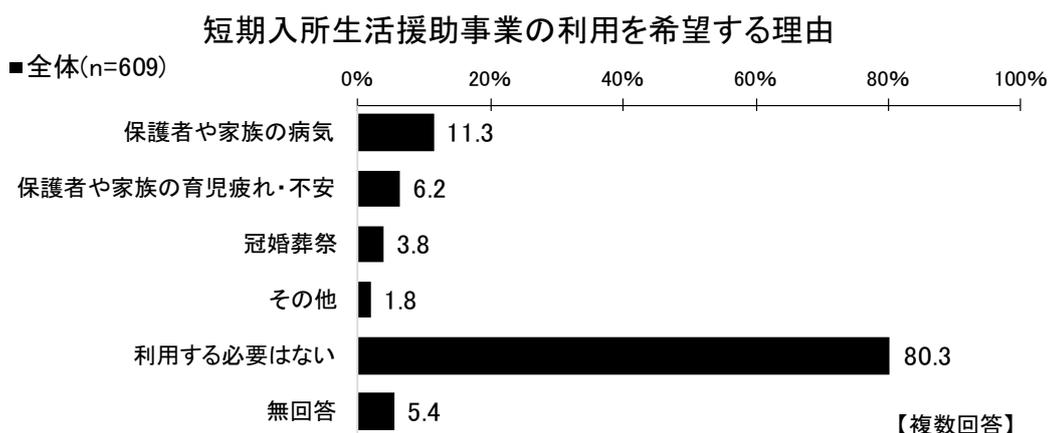
		(単位：%)								
	全体 (n)	病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	地域の事業の質に不安がある	地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	利用料がかかる・高い	利用料がわからない	親が仕事を休んでみる	発熱など、すぐに利用したいときに利用することができない	その他	無回答
全体	388	29.1	7.0	7.2	27.3	18.6	52.3	27.1	17.0	1.3
6歳	33	42.4	6.1	6.1	36.4	15.2	48.5	27.3	12.1	0.0
7歳	40	40.0	7.5	10.0	30.0	27.5	52.5	20.0	7.5	0.0
8歳	52	19.2	5.8	5.8	25.0	15.4	55.8	26.9	21.2	3.8
9歳	48	27.1	12.5	4.2	35.4	16.7	52.1	22.9	18.8	0.0
10歳	61	24.6	6.6	8.2	24.6	26.2	49.2	31.1	18.0	3.3
11歳	71	28.2	4.2	8.5	19.7	15.5	57.7	33.8	22.5	0.0
12歳	61	31.1	4.9	6.6	19.7	13.1	50.8	21.3	18.0	1.6

6 不定期の一時預かり等の利用について

(1) 短期入所生活援助事業の利用を希望する理由

問18 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気等）により、お子さんを泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用を希望する理由について、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も数字でご記入ください。

短期入所生活援助事業の利用を希望する理由については、全体では「保護者や家族の病気」の割合が11.3%で最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」（6.2%）、「冠婚葬祭」（3.8%）などの順となっています。



短期入所生活援助事業の利用を希望する理由／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	冠婚葬祭	保護者や家族の育児疲れ・不安	保護者や家族の病気	その他	利用する必要はない	無回答
全体	609	3.8	6.2	11.3	1.8	80.3	5.4
6歳	48	2.1	4.2	6.3	2.1	87.5	6.3
7歳	90	4.4	11.1	15.6	2.2	75.6	3.3
8歳	85	3.5	7.1	14.1	1.2	78.8	4.7
9歳	79	6.3	3.8	11.4	1.3	79.7	7.6
10歳	88	1.1	5.7	6.8	2.3	87.5	1.1
11歳	104	4.8	4.8	7.7	1.9	83.7	5.8
12歳	79	3.8	3.8	15.2	0.0	74.7	7.6

希望する年間宿泊数

(上段：n、下段：%)

希望する年間宿泊数	全体	1～2泊	3～4泊	5～10泊	11～15泊	16～20泊	21～25泊	26～30泊	31泊以上	無回答
1. 冠婚葬祭	23	14 60.9	7 30.4	2 8.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2. 保護者や家族の育児疲れ・不安	38	11 28.9	11 28.9	8 21.1	4 10.5	0 0.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0	3 7.9
3. 保護者や家族の病気	69	28 40.6	16 23.2	16 23.2	3 4.3	0 0.0	0 0.0	1 1.4	0 0.0	5 7.2
4. その他	11	3 27.3	2 18.2	4 36.4	1 9.1	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0

7 放課後等の過ごし方について

(1) 子どもが放課後や休日に過ごす場所

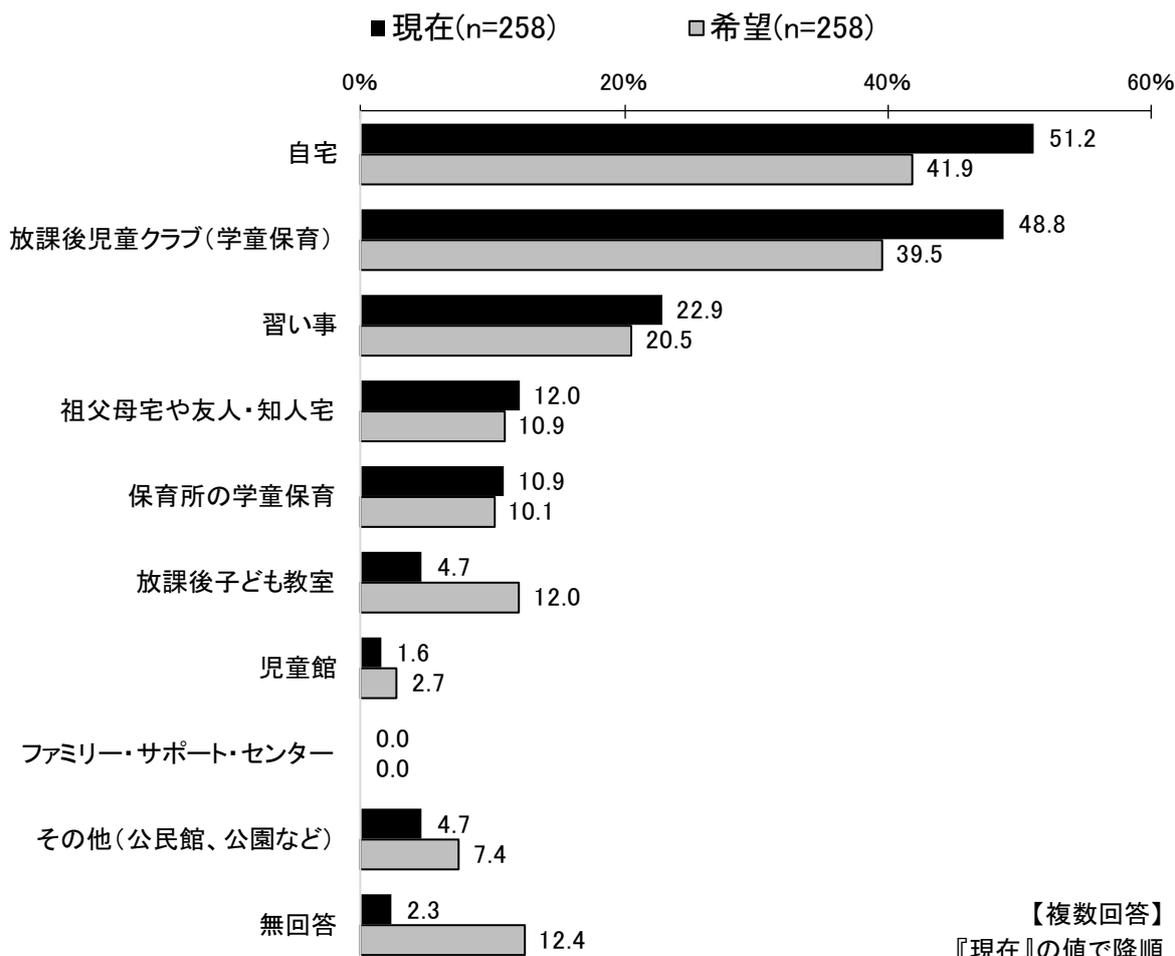
問19 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）や休日（土曜日、日曜・祝日）の時間をどのような場所で過ごしていますか。又は、過ごさせたいですか。お子さんの学年に○をつけた後、放課後・休日の過ごし方の実態、希望のそれぞれ最も当てはまる番号3つに○をつけ、週当たり日数を数字でご記入ください。また、放課後児童クラブ（学童保育）、保育所の学童保育を選択された場合には、実態、希望共に利用時間も数字でご記入ください。時間は必ず【（例）18時まで】のように24時間制でご記入ください。

1～3年生の子どもが平日の放課後を過ごす場所については、現在では「自宅」の割合が51.2%で最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」（48.8%）、「習い事」（22.9%）などの順となっています。

希望では「自宅」の割合が41.9%で最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」（39.5%）、「習い事」（20.5%）などの順となっています。

現在と希望を比較すると、「自宅」「放課後児童クラブ（学童保育）」などは希望より現在の割合が高く、「放課後子ども教室」では現在より希望の割合が高くなっています。

平日の放課後を過ごす場所【1～3年生】



現在の平日放課後週当たり利用日数【1～3年生】

(上段：n、下段：%)

現在の平日放課後週当たり利用日数【1～3年生】	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	132	20 15.2	18 13.6	12 9.1	9 6.8	61 46.2	3 2.3	4 3.0	5 3.8
2. 祖父母宅や友人・知人宅	31	10 32.3	6 19.4	5 16.1	3 9.7	5 16.1	0 0.0	0 0.0	2 6.5
3. 習い事	59	25 42.4	21 35.6	11 18.6	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.7
4. 児童館	4	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5. 放課後子ども教室	12	5 41.7	1 8.3	3 25.0	0 0.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0	1 8.3
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	126	2 1.6	6 4.8	6 4.8	16 12.7	83 65.9	5 4.0	0 0.0	8 6.3
7. 保育所の学童保育	28	1 3.6	4 14.3	2 7.1	4 14.3	12 42.9	0 0.0	1 3.6	4 14.3
8. ファミリー・サポート・センター	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
9. その他（公民館、公園など）	12	3 25.0	6 50.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3

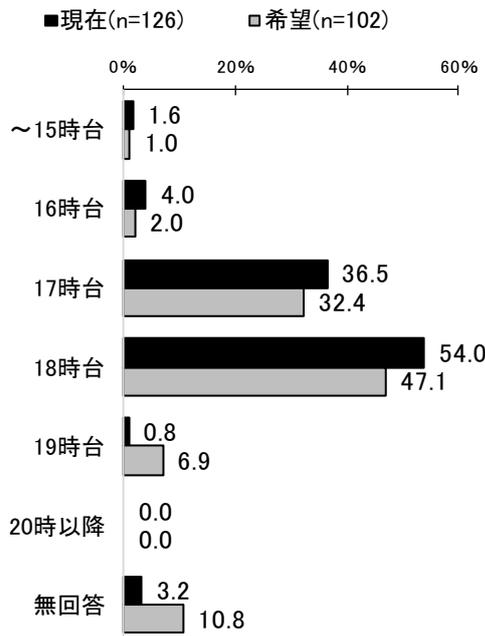
平日放課後週当たり利用希望日数【1～3年生】

(上段：n、下段：%)

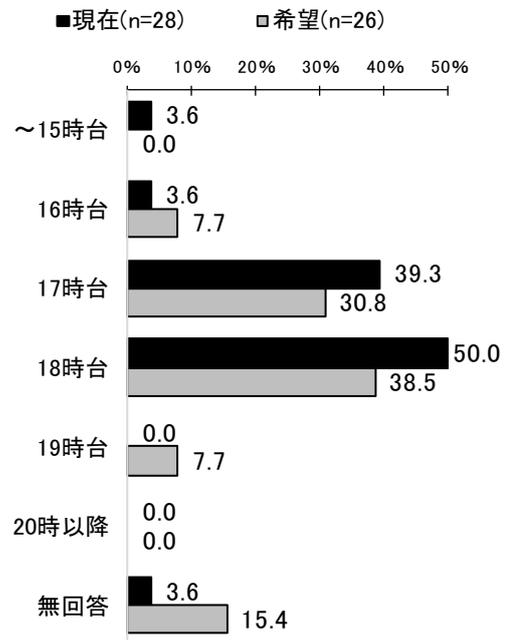
平日放課後週当たり利用希望日数【1～3年生】	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	108	20 18.5	11 10.2	11 10.2	6 5.6	49 45.4	1 0.9	4 3.7	6 5.6
2. 祖父母宅や友人・知人宅	28	9 32.1	7 25.0	4 14.3	2 7.1	3 10.7	0 0.0	1 3.6	2 7.1
3. 習い事	53	23 43.4	21 39.6	8 15.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9
4. 児童館	7	0 0.0	4 57.1	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5. 放課後子ども教室	31	10 32.3	10 32.3	4 12.9	1 3.2	6 19.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	102	2 2.0	1 1.0	14 13.7	7 6.9	65 63.7	3 2.9	1 1.0	9 8.8
7. 保育所の学童保育	26	1 3.8	1 3.8	4 15.4	3 11.5	14 53.8	0 0.0	0 0.0	3 11.5
8. ファミリー・サポート・センター	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
9. その他（公民館、公園など）	19	4 21.1	5 26.3	2 10.5	1 5.3	5 26.3	0 0.0	0 0.0	2 10.5

平日の学童保育の終了時刻【1～3年生】

放課後児童クラブ(学童保育)



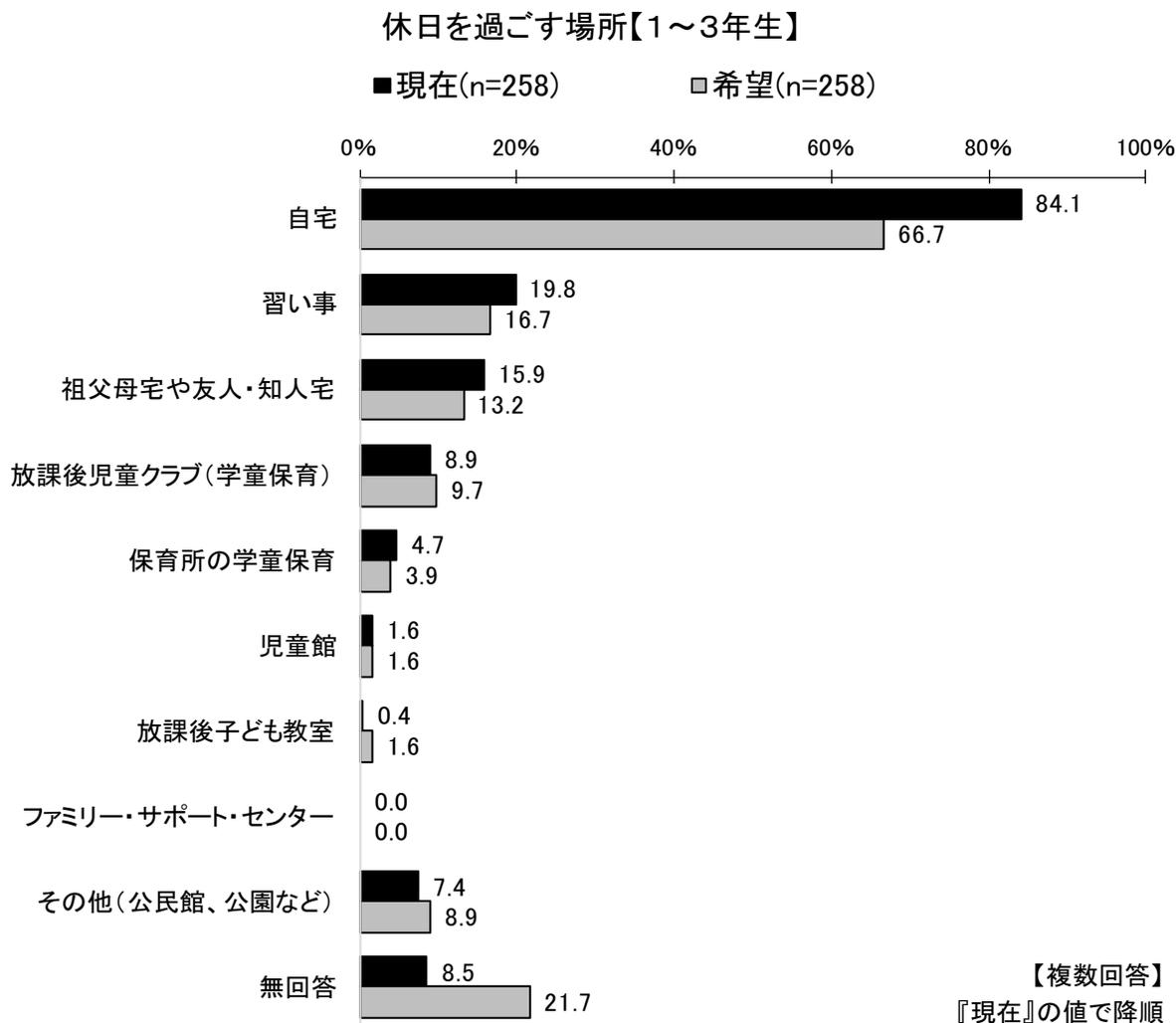
保育所の学童保育



1～3年生の子どもが休日を過ごす場所については、現在では「自宅」の割合が84.1%で最も高く、次いで「習い事」（19.8%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（15.9%）などの順となっています。

希望では「自宅」の割合が66.7%で最も高く、次いで「習い事」（16.7%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（13.2%）などの順となっています。

現在と希望を比較すると、「自宅」などでは希望より現在の割合が高くなっています。



現在の休日週当たり利用日数【1～3年生】

(上段：n、下段：%)

現在の休日週当たり利用日数【1～3年生】	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	265	47 17.7	191 72.1	2 0.8	1 0.4	4 1.5	0 0.0	13 4.9	7 2.6
2. 祖父母宅や友人・知人宅	45	33 73.3	9 20.0	1 2.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.4
3. 習い事	89	59 66.3	27 30.3	1 1.1	1 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.1
4. 児童館	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5. 放課後子ども教室	1	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	11	9 81.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2
7. 保育所の学童保育	1	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
8. ファミリー・サポート・センター	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
9. その他（公民館、公園など）	17	10 58.8	4 23.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 17.6

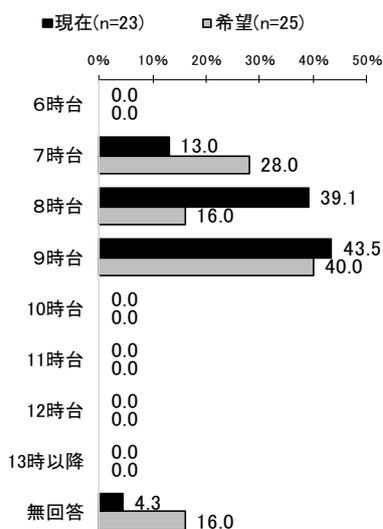
休日週当たり利用希望日数【1～3年生】

(上段：n、下段：%)

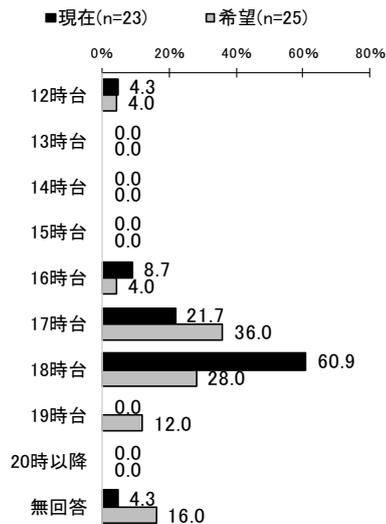
休日週当たり利用希望日数【1～3年生】	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	172	40 23.3	117 68.0	4 2.3	0 0.0	2 1.2	1 0.6	4 2.3	4 2.3
2. 祖父母宅や友人・知人宅	34	22 64.7	11 32.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.9
3. 習い事	43	34 79.1	6 14.0	1 2.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.7
4. 児童館	4	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5. 放課後子ども教室	4	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	25	15 60.0	3 12.0	0 0.0	1 4.0	0 0.0	1 4.0	0 0.0	5 20.0
7. 保育所の学童保育	10	7 70.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0
8. ファミリー・サポート・センター	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
9. その他（公民館、公園など）	23	15 65.2	8 34.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

休日の放課後児童クラブ(学童保育)の利用時刻【1～3年生】

利用開始時刻

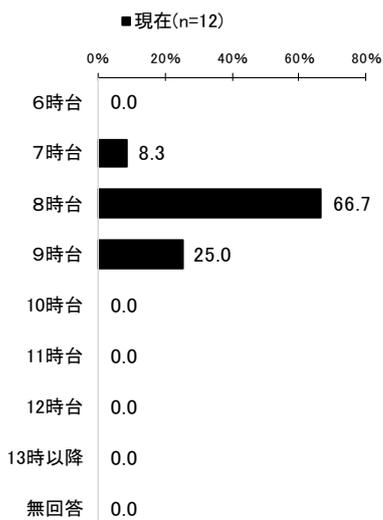


利用終了時刻



休日の保育所の学童保育の利用時刻【1～3年生】

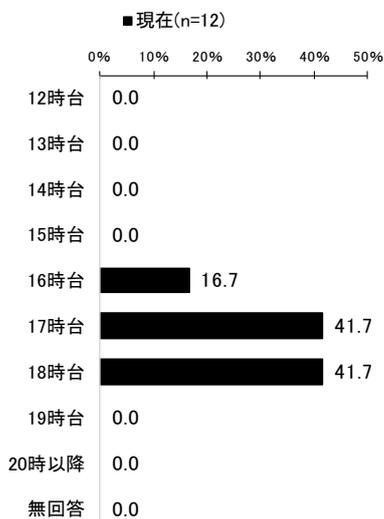
現在の利用開始時刻



希望する利用開始時刻

項目	回答数(n)
6時台	0
7時台	5
8時台	1
9時台	3
10時台	0
11時台	0
12時台	0
13時以降	0
無回答	1
非該当	248
全体(非該当除く)	10

現在の利用終了時刻



希望する利用終了時刻

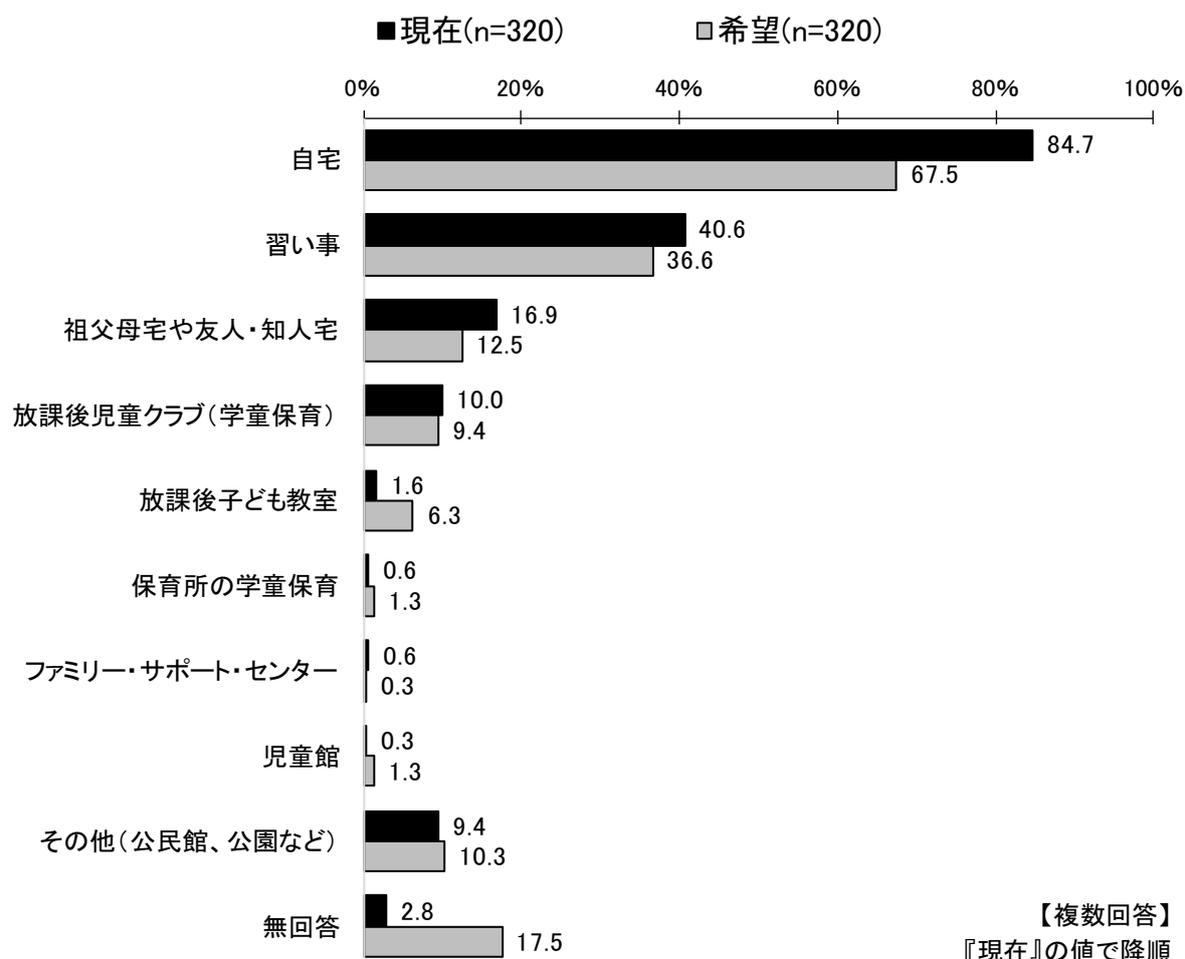
項目	回答数(n)
12時台	0
13時台	1
14時台	0
15時台	0
16時台	2
17時台	0
18時台	4
19時台	2
20時以降	0
無回答	1
非該当	248
全体(非該当除く)	10

4～6年生の子どもが平日の放課後を過ごす場所については、現在では「自宅」の割合が84.7%で最も高く、次いで「習い事」（40.6%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（16.9%）などの順となっています。

希望では「自宅」の割合が67.5%で最も高く、次いで「習い事」（36.6%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（12.5%）などの順となっています。

現在と希望を比較すると、「自宅」などは希望より現在の割合が高く、「放課後子ども教室」では現在より希望の割合が高くなっています。

平日の放課後を過ごす場所【4～6年生】



現在の平日放課後週当たり利用日数【4～6年生】

(上段：n、下段：%)

現在の平日放課後週当たり利用日数【4～6年生】	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	271	17 6.3	27 10.0	36 13.3	29 10.7	132 48.7	5 1.8	16 5.9	9 3.3
2. 祖父母宅や友人・知人宅	54	21 38.9	9 16.7	5 9.3	6 11.1	7 13.0	1 1.9	0 0.0	5 9.3
3. 習い事	130	37 28.5	51 39.2	34 26.2	6 4.6	2 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4. 児童館	1	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5. 放課後子ども教室	5	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	32	1 3.1	4 12.5	3 9.4	8 25.0	10 31.3	2 6.3	0 0.0	4 12.5
7. 保育所の学童保育	2	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
8. ファミリー・サポート・センター	2	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
9. その他（公民館、公園など）	30	9 30.0	9 30.0	3 10.0	2 6.7	4 13.3	0 0.0	0 0.0	3 10.0

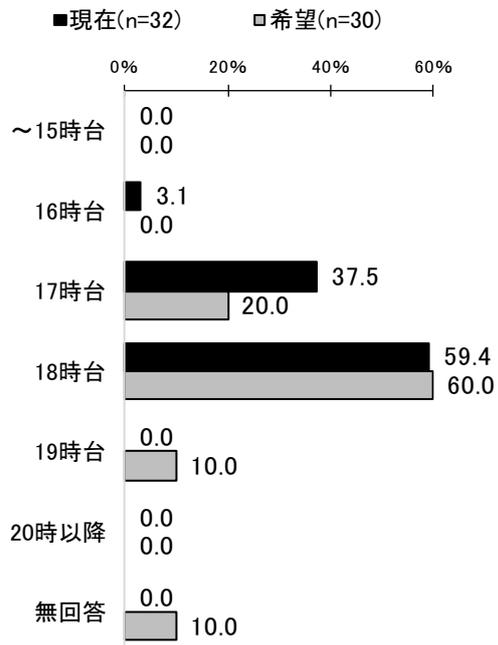
平日放課後週当たり利用希望日数【4～6年生】

(上段：n、下段：%)

平日放課後週当たり利用希望日数【4～6年生】	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	216	12 5.6	22 10.2	41 19.0	20 9.3	100 46.3	4 1.9	11 5.1	6 2.8
2. 祖父母宅や友人・知人宅	40	14 35.0	15 37.5	2 5.0	3 7.5	5 12.5	0 0.0	0 0.0	1 2.5
3. 習い事	117	40 34.2	41 35.0	26 22.2	5 4.3	3 2.6	0 0.0	0 0.0	2 1.7
4. 児童館	4	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5. 放課後子ども教室	20	9 45.0	7 35.0	0 0.0	1 5.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	30	1 3.3	3 10.0	2 6.7	6 20.0	13 43.3	1 3.3	0 0.0	4 13.3
7. 保育所の学童保育	4	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
8. ファミリー・サポート・センター	1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
9. その他（公民館、公園など）	33	7 21.2	14 42.4	1 3.0	4 12.1	5 15.2	0 0.0	0 0.0	2 6.1

平日の学童保育の終了時刻【4～6年生】

放課後児童クラブ(学童保育)



保育所の学童保育

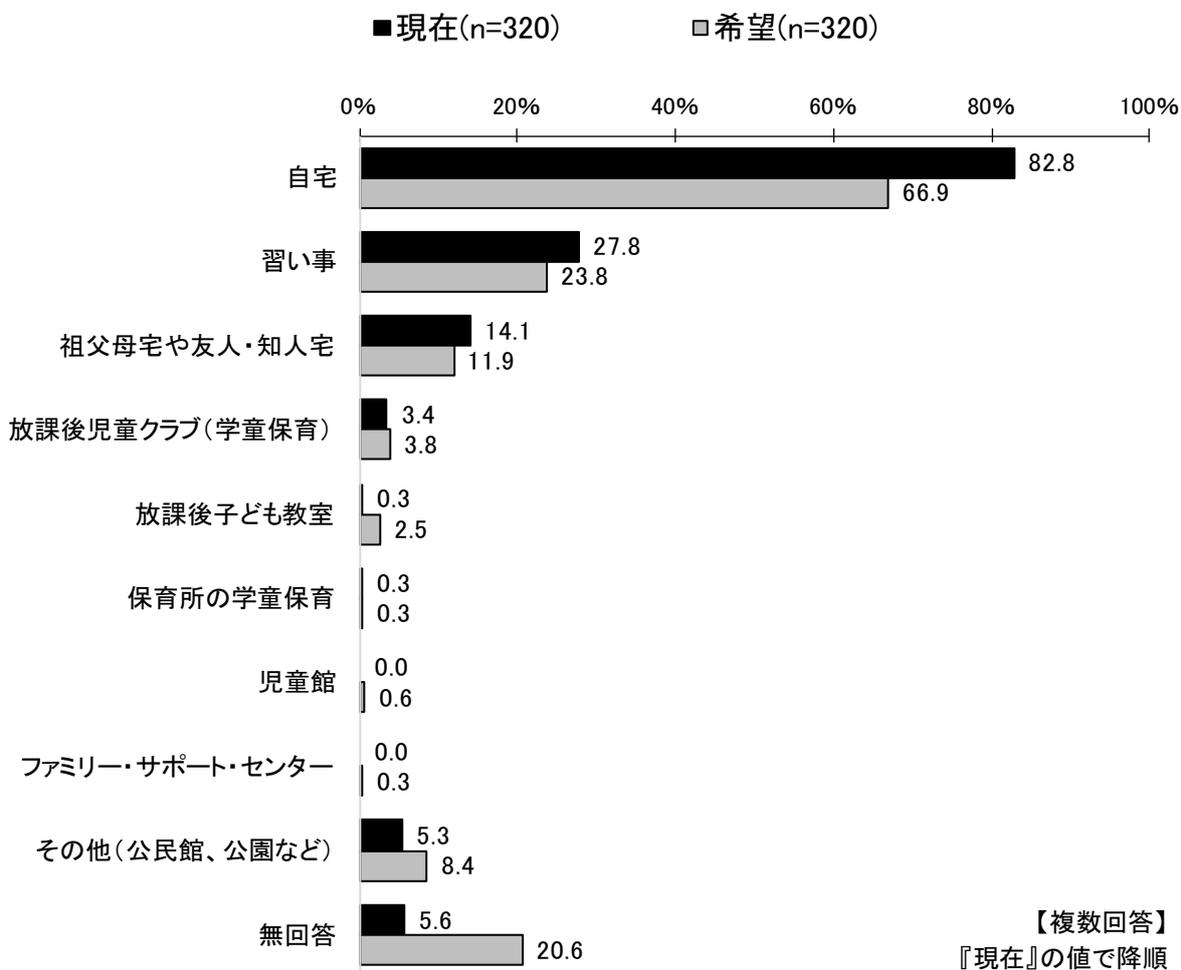
項目	回答数 (n)	
	現在	希望
～15時台	0	0
16時台	0	0
17時台	1	1
18時台	1	0
19時台	0	1
20時以降	0	0
無回答	0	2
非該当	318	316
全体 (非該当除く)	2	4

4～6年生の子どもが休日を過ごす場所については、現在では「自宅」の割合が82.8%で最も高く、次いで「習い事」（27.8%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（14.1%）などの順となっています。

希望では「自宅」の割合が66.9%で最も高く、次いで「習い事」（23.8%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（11.9%）などの順となっています。

現在と希望を比較すると、「自宅」などでは希望より現在の割合が高くなっています。

休日を過ごす場所【4～6年生】



現在の休日週当たり利用日数【4～6年生】

(上段：n、下段：%)

現在の休日週当たり利用日数【4～6年生】	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	217	38 17.5	161 74.2	6 2.8	0 0.0	2 0.9	2 0.9	3 1.4	5 2.3
2. 祖父母宅や友人・知人宅	41	28 68.3	10 24.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 7.3
3. 習い事	51	41 80.4	7 13.7	2 3.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0
4. 児童館	4	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5. 放課後子ども教室	1	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	23	19 82.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.3	0 0.0	3 13.0
7. 保育所の学童保育	12	9 75.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 16.7
8. ファミリー・サポート・センター	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
9. その他（公民館、公園など）	19	13 68.4	6 31.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

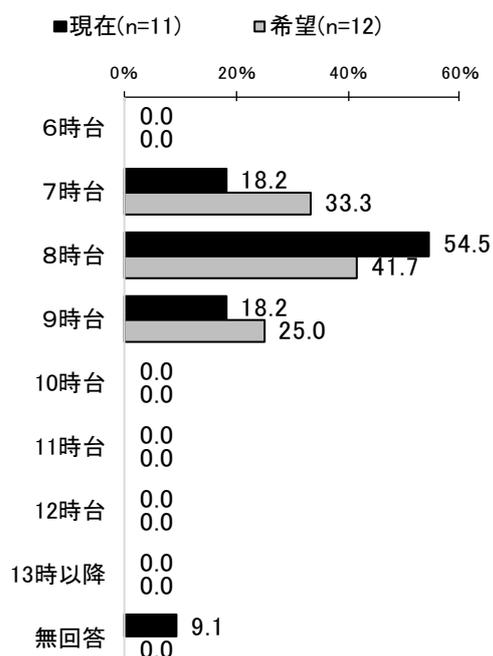
休日週当たり利用希望日数【4～6年生】

(上段：n、下段：%)

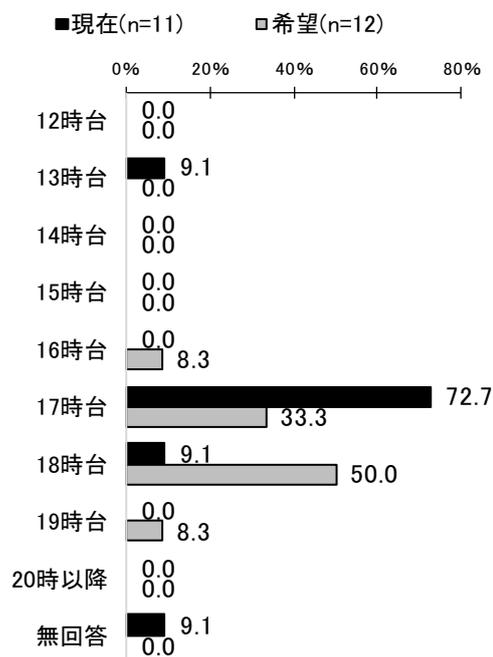
休日週当たり利用希望日数【4～6年生】	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	214	51 23.8	144 67.3	1 0.5	1 0.5	2 0.9	0 0.0	9 4.2	6 2.8
2. 祖父母宅や友人・知人宅	38	30 78.9	5 13.2	2 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6
3. 習い事	76	54 71.1	17 22.4	3 3.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.6
4. 児童館	2	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5. 放課後子ども教室	8	7 87.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	12	9 75.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
7. 保育所の学童保育	1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
8. ファミリー・サポート・センター	1	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
9. その他（公民館、公園など）	27	16 59.3	7 25.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.7	3 11.1

休日の放課後児童クラブ(学童保育)の利用時刻【4～6年生】

利用開始時刻



利用終了時刻



休日の保育所の学童保育の利用時刻【4～6年生】

利用開始時刻

項目	回答数(n)	
	現在	希望
6時台	0	0
7時台	1	0
8時台	0	0
9時台	0	0
10時台	0	0
11時台	0	0
12時台	0	0
13時以降	0	0
無回答	0	1
非該当	319	319
全体(非該当除く)	1	1

利用終了時刻

項目	回答数(n)	
	現在	希望
12時台	0	0
13時台	0	0
14時台	0	0
15時台	0	0
16時台	0	0
17時台	0	0
18時台	1	0
19時台	0	0
20時以降	0	0
無回答	0	1
非該当	319	319
全体(非該当除く)	1	1

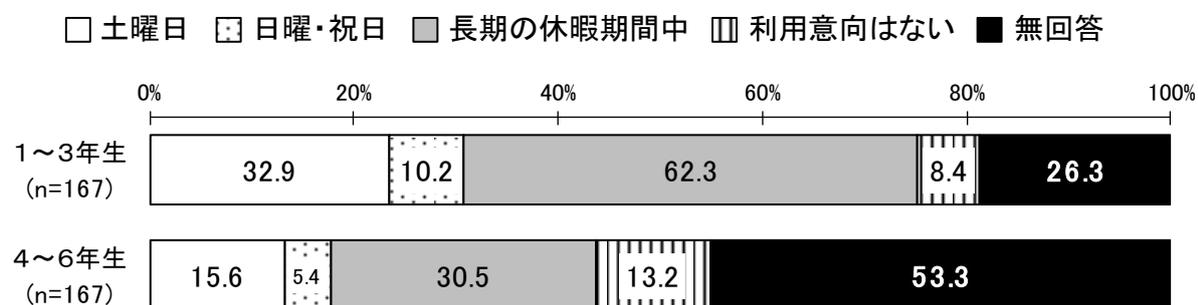
(2) 休日の学童保育の利用希望

【問19で「放課後児童クラブ（学童保育）」「保育所の学童保育」を選んだ方にうかがいます。】
 問19-1 お子さんについて、土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中に、放課後児童クラブ、保育所の学童保育の利用を希望しますか。低学年・高学年のそれぞれ当てはまる番号すべてに○をつけ、利用を希望する時間を数字でご記入ください。時間は必ず【（例）18時まで】のように24時間制でご記入ください。

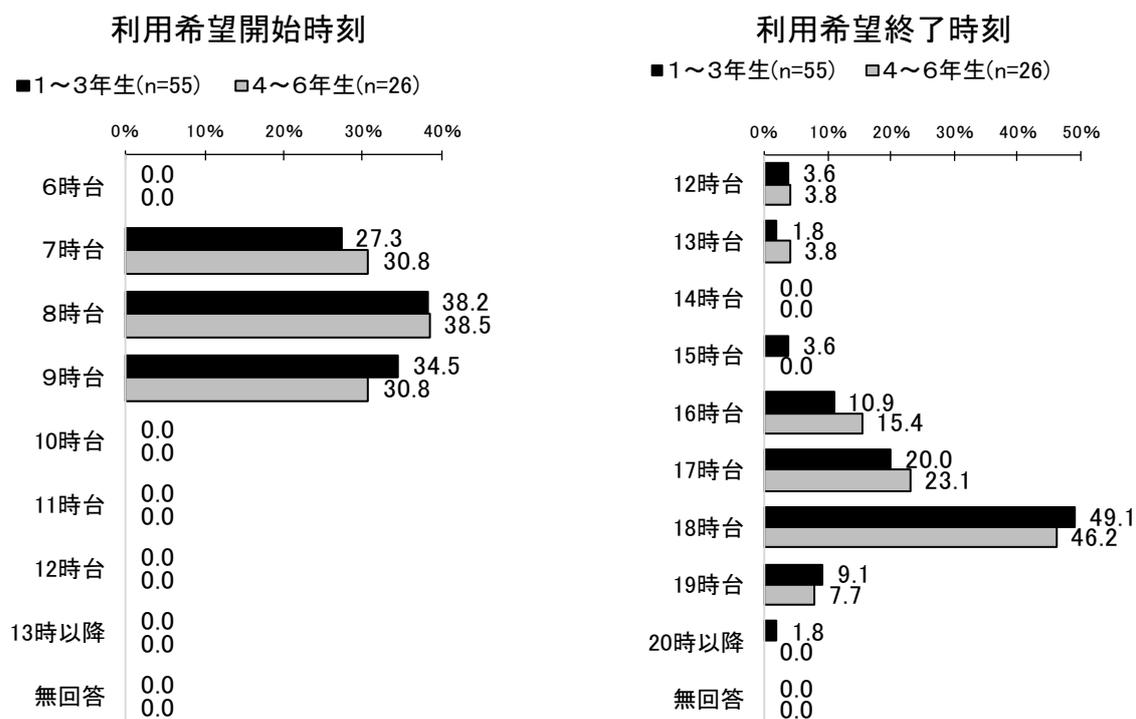
休日の学童保育の利用希望については、1～3年生では「長期の休暇期間中」の割合が62.3%で最も高く、次いで「土曜日」（32.9%）、「日曜・祝日」（10.2%）などの順となっています。

4～6年生では「長期の休暇期間中」の割合が30.5%で最も高く、次いで「土曜日」（15.6%）、「日曜・祝日」（5.4%）などの順となっています。

休日の学童保育の利用希望

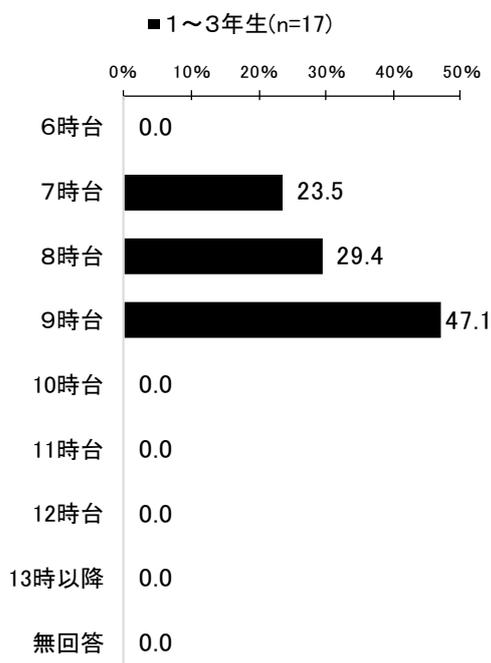


土曜日の学童保育の利用希望時刻



日曜・祝日の学童保育の利用希望開始時刻

1～3年生

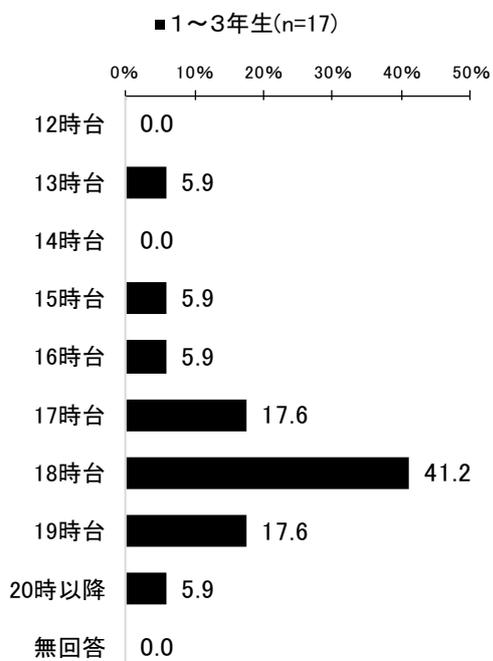


4～6年生

項目	回答数 (n)
6時台	0
7時台	3
8時台	2
9時台	4
10時台	0
11時台	0
12時台	0
13時以降	0
無回答	0
非該当	600
全体（非該当除く）	9

日曜・祝日の学童保育の利用希望終了時刻

1～3年生

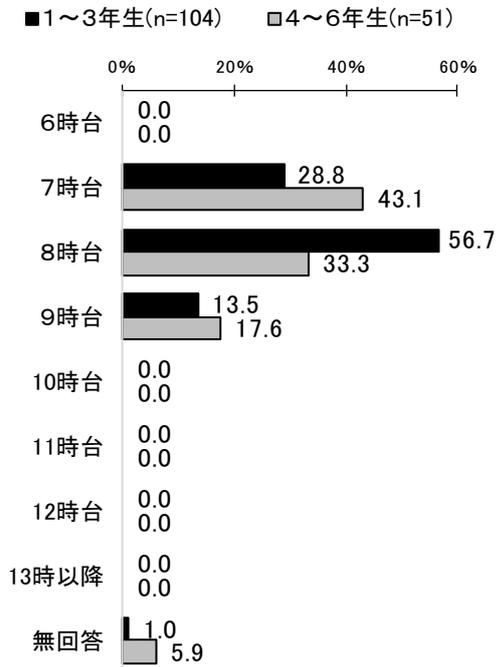


4～6年生

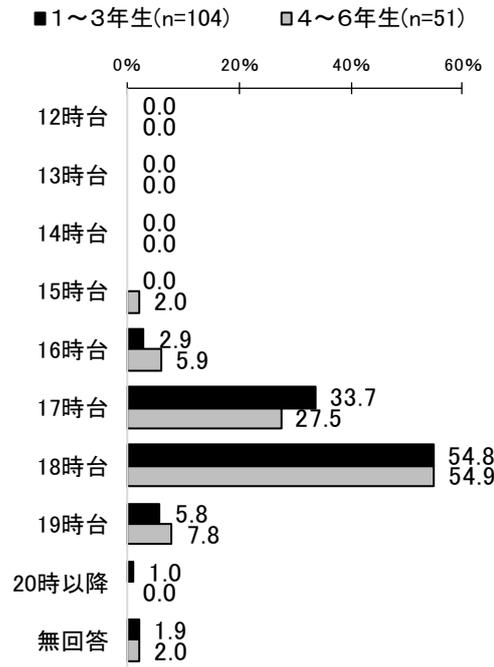
項目	回答数 (n)
12時台	0
13時台	0
14時台	0
15時台	0
16時台	1
17時台	1
18時台	5
19時台	2
20時以降	0
無回答	0
非該当	600
全体（非該当除く）	9

長期休暇期間中の学童保育の利用希望時刻

利用希望開始時刻



利用希望終了時刻

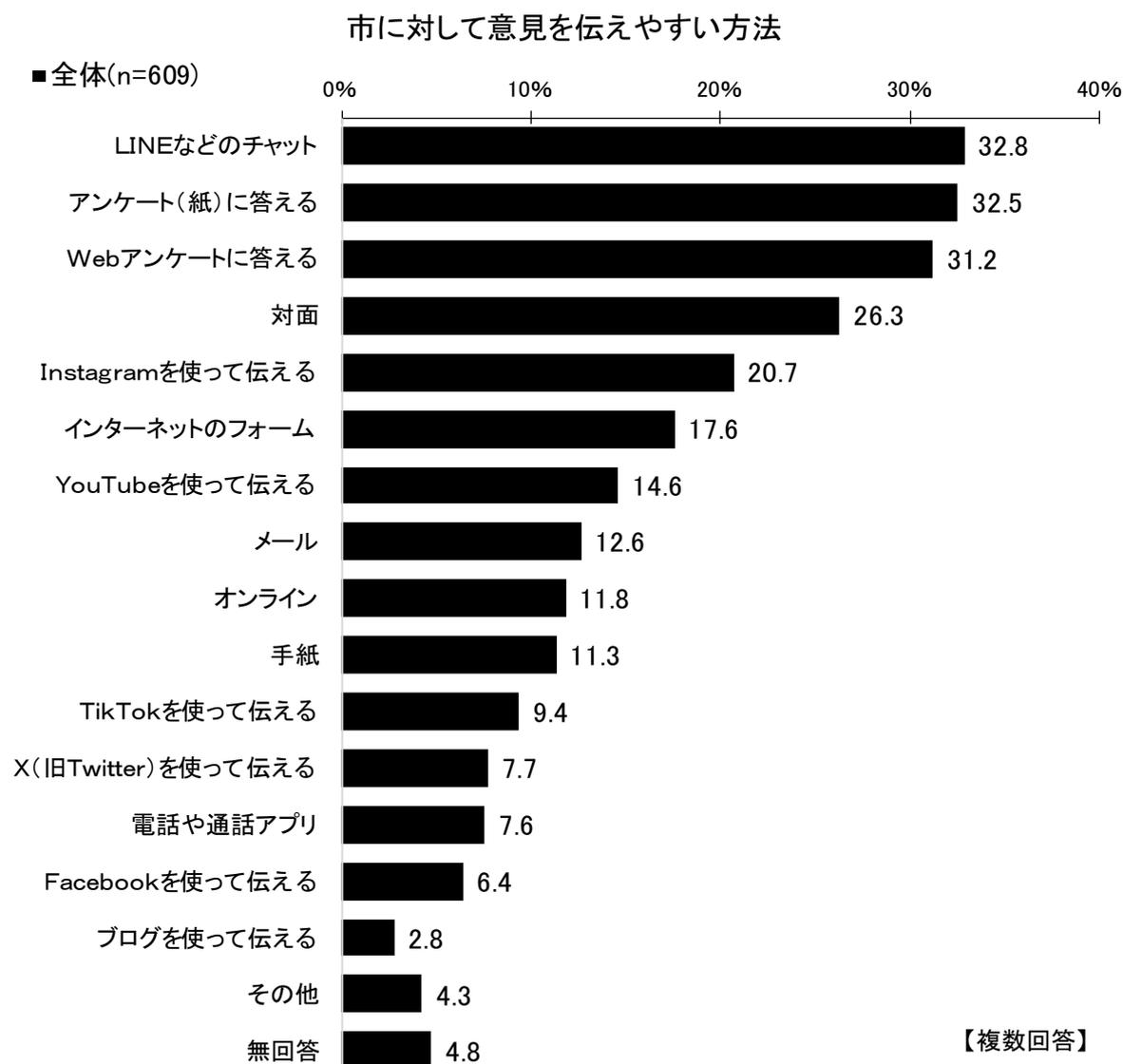


8 子どもや若者の意見反映について

(1) 市に対して意見を伝えやすい方法

問20 国や益田市では、まちづくり等を行うにあたって、子どもや若者の意見の反映に取り組んでいます。どのような方法や手段があれば、お子さんは益田市に対して意見を伝えやすいと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

市に対して意見を伝えやすい方法については、全体では「LINEなどのチャット」の割合が32.8%で最も高く、次いで「アンケート（紙）に答える」（32.5%）、「Webアンケートに答える」（31.2%）などの順となっています。



市に対して意見を伝えやすい方法／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体(n)	対面	オンライン	電話や通話アプリ	手紙	メール	インターネットのフォーム	LINEなどのチャット	X(旧Twitter)を使って伝える	Facebookを使って伝える
全体	609	26.3	11.8	7.6	11.3	12.6	17.6	32.8	7.7	6.4
6歳	48	22.9	10.4	12.5	8.3	10.4	14.6	37.5	6.3	6.3
7歳	90	31.1	12.2	11.1	15.6	13.3	21.1	28.9	7.8	8.9
8歳	85	31.8	7.1	5.9	16.5	14.1	21.2	35.3	7.1	4.7
9歳	79	20.3	7.6	7.6	12.7	11.4	12.7	34.2	1.3	2.5
10歳	88	26.1	15.9	6.8	13.6	18.2	23.9	28.4	8.0	6.8
11歳	104	25.0	12.5	3.8	6.7	10.6	14.4	33.7	10.6	7.7
12歳	79	20.3	12.7	8.9	6.3	11.4	13.9	32.9	8.9	7.6

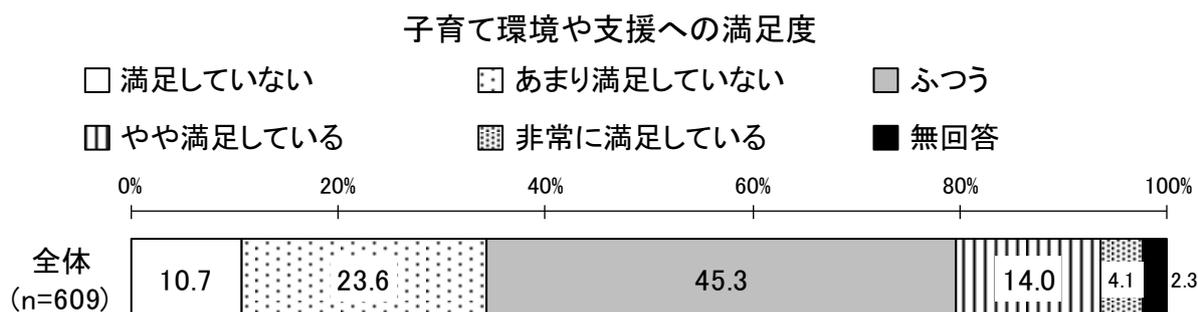
	全体(n)	Instagramを使って伝える	TikTokを使って伝える	YouTubeを使って伝える	ブログを使って伝える	アンケート(紙)に答える	Webアンケートに答える	その他	無回答
全体	609	20.7	9.4	14.6	2.8	32.5	31.2	4.3	4.8
6歳	48	22.9	10.4	16.7	6.3	29.2	37.5	4.2	6.3
7歳	90	18.9	6.7	11.1	1.1	31.1	34.4	4.4	4.4
8歳	85	16.5	10.6	14.1	2.4	36.5	28.2	3.5	3.5
9歳	79	20.3	5.1	8.9	1.3	39.2	31.6	6.3	5.1
10歳	88	22.7	12.5	19.3	1.1	36.4	36.4	4.5	2.3
11歳	104	23.1	12.5	18.3	4.8	28.8	27.9	2.9	3.8
12歳	79	20.3	8.9	16.5	5.1	26.6	22.8	5.1	5.1

9 さいごに

(1) 子育て環境や支援への満足度

問21 お住まいの地域における、子育て環境や支援への満足度についてお答えください。
(当てはまるもの1つに○)

子育て環境や支援への満足度については、全体では「ふつう」の割合が45.3%で最も高く、次いで「あまり満足していない」(23.6%)が続き、これに「満足していない」(10.7%)を合わせた“不満”の割合が34.3%となっています。一方、“満足”(「やや満足している」14.0%と「非常に満足している」4.1%の合計)の割合は18.1%となっています。



子育て環境や支援への満足度／子どもの年齢別

(単位：%)

	全体 (n)	満足して いない	あまり満 足して いない	ふつう	やや満 足して いる	非常に満 足して いる	無回 答
全体	609	10.7	23.6	45.3	14.0	4.1	2.3
6歳	48	8.3	27.1	41.7	12.5	6.3	4.2
7歳	90	12.2	16.7	51.1	13.3	2.2	4.4
8歳	85	14.1	23.5	37.6	21.2	3.5	0.0
9歳	79	10.1	24.1	49.4	13.9	1.3	1.3
10歳	88	6.8	27.3	45.5	14.8	4.5	1.1
11歳	104	10.6	18.3	51.0	15.4	3.8	1.0
12歳	79	11.4	27.8	43.0	7.6	3.8	6.3

IV. 自由回答

1 小学校就学前児童保護者

(1) 子育てをする上で周囲に望むサポート

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあれば良いとお考えでしょうか。ご自由にご記入ください。

子育てをする上で周囲に望むサポートについての回答件数は、181件となっています。具体的な回答内容を整理すると、次のようになっています。

回答内容分類	回答件数
一時預かり・子どもが病気の際のサポート	57
経済的負担への援助	29
相談・アドバイス	20
遊び場の確保・イベント開催	15
勤務・職場の改善	14
地域とのかかわり	11
その他のサポート・サービス	9
情報提供サービス	8
学童保育・子育て支援サービス等	5
子どもの健康の維持に関するサポート	4
保育所・幼稚園等のサービスの充実	3
その他	6
合計	181

各分類の回答内容内訳は下記のとおりです。

一時預かり・子どもが病気の際のサポート	回答件数
病児保育の充実と利用条件の緩和	14
緊急時や用事の際に子どもを預けられる信頼できる施設・サービスの充実	12
短時間で気軽に預けられる一時預かりサービス	11
保護者の急病時のサポート	8
土曜・日祝日の保育サポート	4
産後ケアの期間延長	3
仕事が遅くなる時の預け先のお迎えサポート	1
その他	4
合計	57

経済的負担への援助		回答件数
行政からの金銭的サポート		14
保育料の負担軽減を求める声		5
児童手当や補助金の増額希望		3
育児用品の無料提供を希望		2
離乳食の出前サービスの要望		1
全家庭に平等に援助金や支援金を配ってほしい		1
低コストでのサポート希望		1
ネット注文やデリバリーの要望		1
医療費負担の軽減を求める声		1
	合計	29

相談・アドバイス		回答件数
気軽に相談できる電話やLINEの必要性		5
保健師や専門家の対応の質の向上		5
家庭訪問や定期的なサポートによる相談体制		2
子育て支援センターや相談場所の充実		2
相談できる小児科医院の不足と受診のハードルの高さ		1
その他		5
	合計	20

遊び場の確保・イベント開催		回答件数
雨天でも遊べる屋内施設の増加		4
親子で楽しめる地域イベントの開催		3
子育て支援センター以外の遊び場提供		1
自由に利用できる場所の増設		1
子どもが安心して遊べる場所		1
0歳児がのびのび遊べる場		1
子どもが遊べるイベントの支援		1
その他		3
	合計	15

勤務・職場の改善		回答件数
職場の就業時間が長すぎて子育てが困難		1
自宅で事業を実施しているために仕事に出かけてないという理由で保育の利用ができなかった		1
看護休暇の取得が難しい		1
祖父母も使える年次休暇が必要		1
休みやすい職場環境の整備		6
働く時間やスタイルの自由化		1
子どもの看護休暇の増加		1
子育てサポートと職場の連携		1
その他		1
	合計	14

地域とのかかわり		回答件数
見守り、声掛けによる支援		5
子育て交流の場が欲しい		3
地域の子ども同士がつながれる環境が欲しい		2
地域自治組織や自治体、公民館が積極的に動いて欲しい		1
	合計	11

その他のサポート・サービス		回答件数
送迎サポート		3
子育て中のサポートが必要		2
時間に余裕が出来るようなサポートが欲しい		2
家事代行サービスの利用		1
ひとり親支援の必要性		1
	合計	9

情報提供サービス		回答件数
子育て支援事業の情報の周知と提供		2
家事代行サービスの情報提供が必要		1
育児に関する情報提供が不足		1
ネットでの情報検索の利便性		1
ビデオ通話やチャットで相談できる保育園の情報提供		1
親子で一緒に活動できる機会や困り事があった際の情報提供		1
習い事の紹介をして欲しい		1
	合計	8

学童保育・子育て支援サービス等		回答件数
放課後児童クラブの無償化		1
二条地区に学童（放課後児童クラブ）がほしい		1
子育て支援情報の提供強化		1
休日の夕食サポート		1
子育て支援センターを利小学校低学年でも利用できるようにしてほしい		1
	合計	5

子どもの健康の維持に関するサポート		回答件数
信頼できる小児科を増やして欲しい		2
集団検診を個別に受けさせて欲しい		1
集団検診の間隔を短くして欲しい		1
	合計	4

保育所・幼稚園等のサービスの充実		回答件数
保育園の土曜日利用の制限が厳しい		1
私立幼稚園の利用料が高い		1
保育所での習い事の希望		1
	合計	3

(2) 子育て環境や支援に関するご意見

問32 お住まいの地域の教育・保育環境の充実など、子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育て環境や支援に関するご意見についての回答件数は、273件となっています。具体的な回答内容を整理すると、次のようになっています。

回答内容	充実の要望 (不満含む)	満足・ 肯定的評価	軽減・無料 化・補助・ 経済的支援	合計 件数
子どもが出かけられる(遊べる)場所・施設・公園・イベント (雨の日なども)	58	3	0	61
子どもが病気の際のサポート、 小児科の増設	48	0	3	51
保育所・幼稚園	14	2	14	30
子育て世帯への経済的支援	0	0	24	24
病児・病後児保育	15	0	2	17
子育て支援センター	3	4	4	11
職務・職場・働きやすい環境	10	0	1	11
学童保育	6	0	1	7
乳幼児医療(医療費)制度の充実 (年齢引き上げ)	3	0	4	7
子育て施策全般(子育て施策・環境)	3	0	3	6
安心して住める安全なまちづくり、 安心して遊ばせることのできる場所	3	1	1	5
産後デイケアサービス	4	0	0	4
一人親家庭・多子世帯への支援	1	0	3	4
乳幼児健診等	3	0	0	3
障がい児への支援	3	0	1	4
子育てに関する情報の提供 (イベント情報、遊べる場所等)	2	0	0	2
助産師によるケア、出産・直後のケア	0	2	0	2
その他	9	0	15	24
合計	185	12	76	273

◆その他の回答事例

- ・保育士の待遇改善
- ・アンケートをWeb回答形式にして欲しい
- ・集団検診

2 小学校就学児童保護者

(1) 子育てをする上で周囲に望むサポート

問12 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあれば良いとお考えでしょうか。ご自由にご記入ください。

子育てをする上で周囲に望むサポートについての回答件数は、134件となっています。具体的な回答内容を整理すると、次のようになっています。

回答内容分類	回答件数
学童保育・放課後児童クラブ等放課後の居場所づくり	20
経済的負担への援助	18
地域とのかかわり	15
一時預かり・子どもが病気の際のサポート	14
相談・アドバイス	12
遊び場の確保・イベント開催	10
その他のサポート・サービス	9
小学校に関するサポート	8
情報提供サービス	6
医療	4
勤務・職場の改善	3
障がい児支援	2
その他	13
合計	134

各分類の回答内容内訳は下記のとおりです。

学童保育・放課後児童クラブ等放課後の居場所づくり		回答件数
放課後の学習サポートの必要性		6
週末や長期休暇中の子どもの居場所		5
学童保育の質と量の向上		3
平日の放課後の子どもの居場所支援		3
学童保育の送迎サポート		1
学童での習い事の実施		1
学童保育の費用負担の軽減		1
合計		20

経済的負担への援助		回答件数
金銭的サポートの必要性		10
医療費の無償化の要望		2
教育費の支援が必要		3
生活費の負担軽減		2
地域活動への資金援助		1
合計		18

地域とのかかわり		回答件数
地域の交流イベントの重要性		6
見守りや声掛け		5
地域のイベント情報の周知		2
スポ少のサポート		1
地域ボランティアグループ支援		1
合計		15

一時預かり・子どもが病気の際のサポート		回答件数
振替休日や祝日に子供を預けたい		2
夜間対応可能な施設が必要		2
突発的に子供を預けられる場が欲しい		2
子どもが病気の際にサポートが必要		2
安心して子どもを預けられる場所が欲しい		2
深夜預かり所やシッターの需要		1
土日祝に子供を預かる場所が欲しい		1
月に一回のリフレッシュサポート		1
休日仕事時の子供サポート		1
合計		14

相談・アドバイス		回答件数
子育ての悩みを聞いてもらえる相談しやすい場が欲しい		5
個別的な相談ができる環境が欲しい		2
メールやLINEでの相談サービス希望		1
ZOOMなどを活用したカジュアルな形での子育て助言が欲しい		1
適切な行政窓口や補助金の案内所が欲しい		1
土日祝日も対応できる相談の場が必要		1
子どもの悩みを聞いてくれるサポートが必要		1
合計		12

遊び場の確保・イベント開催		回答件数
子供が気軽に安心して遊べる場所の確保		4
学習や運動が出来る場所		2
雨天時に利用できる室内施設の要望		1
地域のスポーツ活動の充実		1
自然環境を整えた野外活動の推進		1
子どもが遊べる場所の情報がほしい		1
	合計	10

その他のサポート・サービス		回答件数
習い事の送迎サポート		5
親が病気など緊急時の支援		1
支援の充実		1
女性の社会進出を進めるための子育て支援の充実		1
親が子育てに関わることができるサポート		1
	合計	9

小学校に関するサポート		回答件数
学校の宿題のサポート		2
身近な学校の存続		1
小学校でも未就学児と同程度のサポートが欲しい		1
先生と気軽に声を掛け合えるような関係性づくりのサポート		1
子ども同士で学校での困り事を話せるような場所		1
朝の登校を支援する送迎サービス		1
通学路の街灯の増設		1
	合計	8

情報提供サービス		回答件数
支援やイベントの情報提供		3
どのようなサポートがあるのか、窓口の情報提供		1
スポーツ活動の種類と申し込み方法の情報が欲しい		1
各施設やサービスへの申し込み方法の情報や簡素化した説明が欲しい		1
	合計	6

医療		回答件数
小児科増設		3
安心して医療が受けられる環境		1
	合計	4

勤務・職場の改善		回答件数
仕事休暇を取りやすい仕組み作り		3
	合計	3

障がい児支援		回答件数
発達障がい児童へのサポート		2
	合計	2

(2) 子育て環境や支援に関するご意見

問22 お住まいの地域の教育・保育環境の充実など、子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育て環境や支援に関するご意見についての回答件数は、228件となっています。具体的な回答内容を整理すると、次のようになっています。

回答内容	充実の要望 (不満含む)	満足・ 肯定的評価	軽減・無料 化・補助・ 経済的支援	合計件数
子どもが出かけられる(遊べる)場所・施設・公園・イベント(雨の日なども)	50	1	2	53
子育て世帯への経済的支援	0	0	22	22
学童保育	5	0	11	16
学校の教育、学校の先生の反応	9	2	5	16
小児科増設要望	12	0	2	14
子育てしやすいまちづくりを目指す	6	0	3	9
一人親家庭・多子世帯への支援	1	0	7	8
登下校時の見守り	4	3	0	7
習い事・教室	3	1	2	6
医療費助成制度の充実	0	0	5	5
子どもの休み・長期休暇の際の預かり	0	3	2	5
子育て施策全般(子育て施策・環境)	1	2	1	4
障がいのある子どものケア	3	0	1	4
安心して住める安全なまちづくり、安心して遊ばせることのできる場所	4	0	0	4
病児・病後児保育	3	0	1	4
親の交流・勉強会	4	0	0	4
子どもの放課後の預かり・過ごせる場所	3	0	0	3
相談・カウンセラー	3	0	0	3
子育てに関する情報の提供(イベント情報、遊べる場所等)	3	0	0	3
職務・職場・働きやすい環境	2	0	0	2
子育て支援センター	2	0	0	2
僻地の子育て支援	2	0	0	2
小学校のエアコン設置・洋式トイレ設置	2	0	0	2
児童館	2	0	0	2
その他	8	1	19	28
合計	132	13	83	228

◆その他の回答事例

- ・保育士の待遇改善
- ・アンケートをWeb回答形式にして欲しい
- ・市役所の窓口がわかりにくい

V. 調査結果からみた課題

(1) 子どもの育ちをめぐる環境について

日頃子どもをみてもらえる親族・知人の存在について、「いずれもない」の割合が就学前児童では9.9%、就学児童では12.5%となっており、また、親族や知人に子どもをみてもらっている状況については「相手の金銭的・体力的負担や時間的制約が大きく心苦しい」の割合が就学前児童では27.7%、就学児童では25.6%と少なくない割合となっています。（問9、問9-1）

子育てについての相談者の存在について、就学前児童では「保育士」の割合が56.3%と半数以上となっている一方、就学児童では「小学校教諭」の割合が25.6%で3割以下となっています。また、相談できる人・場所として公的機関を選択する割合が就学前児童、就学児童ともに低くなっています。（問10）

子どもが参加している地域の催しについては、「地域伝統行事（祭り、地蔵盆など）」「スポーツ活動」の割合が同率36.0%となっている一方、「参加していない」の割合が29.1%で約3割を占めています。（就学児童のみ：問11）

(2) 保護者の就労状況について

保護者のフルタイム就労への転換希望について、「出来ればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」の割合は、就学前児童の母親で28.7%、就学児童の母親で21.6%、就学児童の父親で15.4%となっています。（就学前児童：問12・13-3、就学児童：問13・14-3）

フルタイム就労への転換希望時期について、「今すぐに」の割合は、就学前児童の母親で16.3%、就学児童の母親で18.2%となっています。（就学前児童：問12・13-4、就学児童：問13・14-4）

(3) 子どもの「定期的」な教育・保育の利用状況について

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況と利用希望を比較すると、上位3項目はどちらも「認可保育所」「認定こども園」「幼稚園」となっていますが、利用したいとする割合の方が利用状況の割合よりもやや高くなっています。また、「幼稚園」では現在の利用終了時刻が「～15時台」の割合が最も高くなっている一方、希望する利用終了時刻は「17時台」の割合が最も高くなっています。（就学前児童のみ：問14、問15）

休日の定期的な教育・保育事業の利用希望について、利用する必要がある人の割合は、土曜日では73.6%、日曜・祝日では24.0%、長期休暇中では43.8%となっています。（就学前児童のみ：問18～問19-2）

(4) 不定期の一時預かり等の利用について

不定期に利用している事業については、何かしらの事業を利用している人の割合が5.9%、短期入所生活援助事業の利用を希望する人の割合も14.4%となっています。（就学前児童のみ：問23～問25）

(5) 地域子育て支援事業の認知とニーズについて

地域子育て支援拠点事業の利用状況について、「いずれも利用していない」の割合は83.1%となっています。（就学前児童のみ：問16）

また、地域子育て支援拠点事業のサービス認知状況については、『子どもの就学についての相談先』『子どもの発達や発育の相談先』『保護者の健康や心配ごとの相談先』などで「知らない」の割合が半数以上を占めています。

サービス利用状況については、ほとんどの事業で「利用したことがない」の割合が「利用したことがある」の割合を上回っています。

利用希望者は、現時点ではすべての事業で3割前後となってはいますが、利用したことがある人に満足度を尋ねると、ほとんどの事業で“満足”の割合が7割以上を占めています。（就学前児童のみ：問17）

(6) 子どもの病気やけがの際の対応について

子どもの病気やけがの際の対応について、就学前児童の子どもの年齢0～2歳では、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」を希望する割合が最も高く、また、就学児童の全体でも22.3%と他の事業よりも高い割合となっています。一方、病児・病後児のための保育施設の利用を希望しない人の理由として「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」（就学前児童：41.7%、就学児童：29.1%）、「利用料がかかる・高い」（就学前児童：30.3%、就学児童：27.3%）などが上位にあります。（就学前児童：問22、問22-1、就学児童：問17、問17-1）

(7) 放課後児童クラブ（学童保育）の利用について

平日の放課後過ごさせたい場所として放課後児童クラブと回答した方は、1～3年生では39.5%で、現在実際に利用している割合（48.8%）より少なくなっています。

休日の利用希望については、「長期の休暇期間中」の割合が1～3年生では62.3%、4～6年生では30.5%となっています。（就学児童のみ：問19、問19-1）

(8) 職場の両立支援制度について

育児休業を取得した割合は、母親で68.0%、父親で11.8%となっています。

育児休業を取得していない割合は母親では7.0%で、その理由として「仕事が忙しかった」が29.2%、「利用しにくい雰囲気があった」が27.1%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が22.9%となっています。父親で育児休業を取得していない割合は65.8%で、その理由として「仕事が忙しかった」が44.7%、「利用しにくい雰囲気があった」が36.1%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が34.5%となっています。

育児休業給付・保険料免除についての認知は、父親よりも母親の方が「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が高くなっています（母親44.0%・父親27.9%）。

父親が育児休業を取得する割合は母親に比べて低く、また、育児休業給付・保険料免除についての認知度は父親に比べて母親の方が高いにも関わらず、育児休業を取得せずに退職するケースも多くみられます。（就学前児童のみ：問26～問29）

(9) 子どもや若者の意見反映について

市に対して意見を伝えやすい方法については、就学前児童、就学児童ともに「LINEなどのチャット」の割合が最も高くなっています。その他、「Webアンケートに答える」「アンケート(紙)に答える」「Instagramを使って伝える」「対面」なども上位に挙げられます。(就学前児童：問30、就学児童：問20)

(10) 子育て環境や支援への満足度について

子育ての環境や支援への満足度は、就学前児童では“満足”37.2%、“不満”37.7%となっており、一方、就学児童では“満足”18.1%、“不満”34.3%となっています。(就学前児童：問31、就学児童：問21)

益田市 子ども・子育て支援に関する調査
結果報告書

発行日 令和6年7月
発行 益田市 福祉環境部子ども福祉課

〒698-0024 島根県益田市駅前町17番1号
益田駅前ビル EAGA1階
TEL : 0856-31-0243